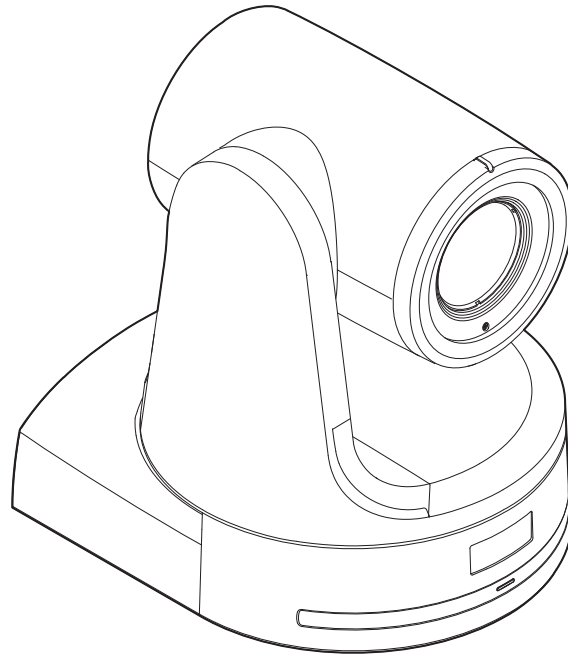


Panasonic®

取扱説明書

HD インテグレートドカメラ

品番 **AW-HN130W**
品番 **AW-HN130K**



HDMI™

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

JAPANESE

DVQP1712XA

■ 商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Internet Explorer®、ActiveX® および DirectX® は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、OS X、iPhone、iPod Touch、iPad、Safari は、米国Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Android™ はGoogle Inc. の商標または登録商標です。
- Intel®、Intel® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe®およびReader®は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

■ 略称について


本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32/64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 8と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32/64ビット日本語版をWindows 8.1と表記しています。
- Windows® Internet Explorer® 8.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 9.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 10.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 11.0 日本語版をInternet Explorerと表記しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-HN130W	AW-HN130
AW-HN130K	
AW-HS50N	AW-HS50
AW-RP50N	AW-RP50
AW-RP120G	AW-RP120
AK-HRP200G	AK-HRP200

■ 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Windowsのみ利用可能な機能には、マークを付けて記載しています。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。



もくじ

安全上のご注意	4	Others 1/4画面	55
接地に関するご注意	7	Others 2/4画面	55
はじめに	8	Others 3/4画面	56
概要	8	Others 4/4画面	56
必要なパーソナルコンピューター的环境	8	Maintenance画面	57
免責について	9	Firmware VER 1/2画面	57
ネットワークに関するお願い	9	Firmware VER 2/2画面	57
IP Network画面	58		
特長	10	カメラメニュー項目一覧	59
対応コントローラー	11	Web画面の表示	62
付属品	12	パーソナルコンピューターによるWeb画面の表示	62
別売品	12	ライブ画面[Live]/Web設定画面[Setup]の切り替え	63
使用上のお願ひ	13	Web画面からの操作	64
ワイヤレスリモコン(別売品)について	15	ライブ画面[Live]: シングル表示モード	64
各部の名前とはたらき	16	ライブ画面[Live]: マルチ表示モード	68
カメラ部	16	Web画面からの設定	69
ワイヤレスリモコン(別売品)	19	Web設定画面[Setup]へのログイン	69
リモコンIDの設定	21	Web設定画面[Setup]	69
ネットワークの設定を行う	22	基本画面[Basic]	70
IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う	22	カメラ画面[Image]	71
表示用プラグインソフトウェアをインストールする	23	マルチスクリーン設定画面[Multi-screen setup]	84
ユーザー認証機能について	23	ユーザー管理画面[User mng.]	85
撮影の基本操作	24	ネットワーク設定画面 [Network]	87
電源の入れ方と切り方	24	メンテナンス画面[Maintenance]	100
電源の入れ方	24	携帯端末によるWeb画面表示	103
電源の切り方	24	システムログ表示について	107
本機を選択	25	リミッターについて	108
撮影モード(シーンファイル)の選択	26	リミッターの設定と解除	109
撮影モードの種類	26	リミッターの基本操作	109
選択のしかた	26	リミッターの設定	109
撮影する	27	リミッターの解除	109
撮影の基本操作で困ったときは	28	リミッターの再設定	109
より高度な使い方	28	セーフモード	110
マニュアル撮影	29	セーフモードについて	110
フォーカスのマニュアル調整	29	機器の異常検知について	110
アイリスのマニュアル調整	29	故障と思ったら	111
シャッタースピードのマニュアル調整	29	保証とアフターサービス(よくお読みください)	121
ゲインのマニュアル調整	29	修理を依頼される時	121
プリセットメモリー	30	定 格	122
ホワイトバランス調整	31	さくいん	124
自動調整(AWB: AWB A/AWB B)	31		
自動追尾式ホワイト調整(ATW)	32		
3200K・5600Kプリセット	32		
VAR	32		
ブラックバランス調整	33		
自動調整	33		
黒レベル(マスターペDESTAL)調整	34		
ゲンロック調整	35		
水平位相調整	35		
設定の基本操作	36		
ワイヤレスリモコンでの操作	37		
リモートカメラコントローラーAW-RP50での操作	38		
リモートカメラコントローラーAW-RP120での操作	40		
リモートオペレーションパネルAK-HRP200での操作	42		
カメラメニュー項目	45		
カメラメニュー項目の設定	45		
トップメニュー(Top Menu)画面	45		
Camera画面	46		
Brightness 1/2画面	46		
Brightness 2/2画面	47		
Picture 1/3画面	48		
Picture 2/3画面	48		
Picture 3/3画面	49		
Matrix 1/5画面	49		
Matrix 2/5画面	50		
Matrix 3/5画面	50		
Matrix 4/5画面	51		
Matrix 5/5画面	51		
System画面	52		
Genlock画面	52		
Output画面	53		



安全上のご注意 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。




警告

カメラは…


 電源プラグを抜く	■ 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグおよびPoE+給電のLANケーブルを抜く 〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕 (そのまま使うと、火災・感電の原因になります。) ⇒ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 ⇒販売店にご相談ください。
	■ 回転動作中は本体部に手を触れない (回転部に指をとられ、けがの原因になります。)
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない (落雷すると、感電につながります。)
 分解禁止	■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 水場使用禁止	■ 水場で使用しない (火災・感電の原因になります。)
	■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災や感電の原因になります。) ⇒雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。
	■ 工事は販売店に依頼する (工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。) ⇒設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご相談ください。
	■ 付属品・オプションは指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。)
	■ 使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください ⇒販売店にご相談ください。

 **警告** (つづき)




ACアダプター、PoE+は…

	<p>■ 電源コード・プラグ、LANケーブルを破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]</p> <p>■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない</p> <p>■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない (感電・火災の原因になります。) ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ 不安定な場所に設置しない (落下や転倒によるけがや事故の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない (感電・火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 電源プラグ、LANケーブルは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。</p> <p>■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>

小さな付属品は…

	<p>■ 本体取付ねじ、金具取付ねじ、落下防止ワイヤー取付ねじは乳幼児の手に届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
---	---

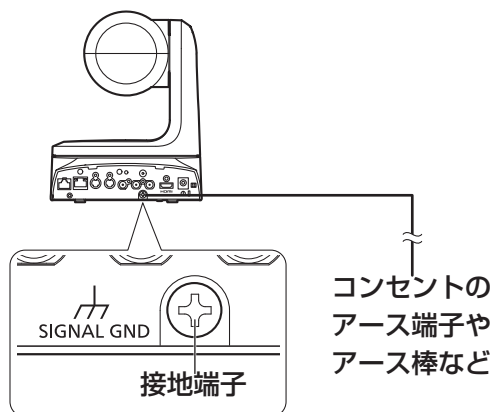
⚠ 注意

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ ろうそく等の炎を機器の近くに置かない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因になります。)</p>
	<p>■ ケーブルなどは引っ張らない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 三脚を取り付けた状態で、本機を持って運搬しない (三脚の重さで取り付け部が破損し、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 定期的に点検する (金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。) ⇒点検は販売店にご依頼ください。</p>
	<p>■ 病院内では、病院の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)</p>
 <p>電源プラグを抜く</p>	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検(1年に1回をめやすに)をお願いします。

接地に関するご注意

- 本体の接地端子<SIGNAL GND>から接地を行ってください。



はじめに

概要

- 本製品は、新開発の1/2.86型フルHD 3MOSセンサーとデジタルシグナルプロセッサ(DSP)を採用した、回転台一体型フルHDカメラです。
- 光学20倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備えており、水平解像度1000本の高画質で臨場感あふれる撮影が可能です。また、高感度で、画揺れ補正やナイトモードの機能を備え、幅広い環境下での撮影が可能です。
- 本製品はNewTek社のNDI|HXに準拠しています。
- 本機は、ネットワーク上でのNewTek NDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して、映像を送出することが可能です。
- コントローラーを接続すると、IP制御またはシリアル制御によるスムーズなカメラ操作が可能です。
- ナイトモードを備え、低照度下においても被写体に赤外線を照射することで撮影が可能です。
- パersonalコンピュータと本機をIPネットワーク経由で接続することで、Web画面から本機を操作することができます。
- 新開発のコーデックエンジン搭載により、ネットワーク経由で、FullHD画質で最大毎秒60フレームの出力ができます。
- 標準シリアル通信方式に対応しており、市販のコントローラーとの接続が可能です。
- Panasonic 独自のシリアル通信により、Panasonic 製のカメラのコントローラーとの接続が可能です。
- ご使用の用途や環境に応じて、AW-HN130W(ホワイト)、AW-HN130K(ブラック)のカラーバリエーションがあります。

必要なパーソナルコンピュータの環境

CPU	Intel® Core™2 DUO 2.4 GHz以上 推奨
メモリー	【Windowsの場合】 1 GB以上 (ただし、Microsoft® Windows® 8.1 / Microsoft® Windows® 8 / Microsoft® Windows® 7の64ビットの場合は、2 GB以上) 【Macの場合】 2 GB以上
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX 1ポート
画像表示機能	解像度：1024×768ピクセル以上、 発色：True Color 24ビット以上
対応OSとWebブラウザ	【Windows】 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット / 32ビット *1 Windows® Internet Explorer® 11.0 *1*3 Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット / 32ビット *1 Windows® Internet Explorer® 10.0 *1*3 Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット / 32ビット *2 Windows® Internet Explorer® 11.0 / 10.0 / 9.0 / 8.0 *3 【Mac】 OS X 10.9 Safari 7.0.2 OS X 10.8 Safari 6.1.2 OS X 10.7 Safari 6.1.2 【iPhone / iPad / iPod touch】 iOS 7.1 標準Webブラウザ 【Android】 Android OS 標準Webブラウザ
その他	Adobe® Reader® (Webサイトに掲載されている取扱説明書を閲覧するため)

*1 デスクトップ用Internet Explorerをご利用ください。(Windows UIのInternet Explorerには対応していません)

*2 Windows® XP 互換モードでは使用できません。

*3 Internet Explorer® 64ビット版では使用できません。

重要

- 必要なパーソナルコンピューターの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、Webブラウザが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。

〈NOTE〉

- 本体ソフトのバージョンによっては、アップデートが必要になります。
- デスクトップ用Internet Explorerをご利用ください。(Windows UIのInternet Explorerには対応していません)
- 対応OSとWebブラウザに関する最新情報については、下記のWebサイトのサポートデスクをご覧ください。
日本語 : <https://panasonic.biz/cns/sav/>
英語 : <https://pro-av.panasonic.net/>

免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥お客様による撮影映像(記録を含む)が何らかの理由により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ずすべてのWebブラウザを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 公衆回線を利用した接続はしない。

〈NOTE〉

ユーザー認証について

- 本機では、ユーザー認証機能はダイジェスト認証またはベーシック認証を使用しています。認証機能を有した専用機を用いないでベーシック認証を使用した場合、パスワードが漏えいする危険性があります。ダイジェスト認証を使用するか、ホスト認証を使用することを推奨します。

使用時の制約事項

- 本機とコントローラーもしくはパーソナルコンピューターを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

■ マルチフォーマットに対応

- 以下の複数のフォーマットをカメラメニューまたはWeb操作で切り替えが可能です。

【対応フォーマット】

1080/59.94p、1080/29.97p*¹、1080/23.98p*²、
1080/59.94i、1080/29.97PsF*²、1080/23.98PsF、
720/59.94p、480/59.94p (HDMI) または 480/59.94i
(SDI)、1080/50p、1080/25p*¹、1080/50i、
1080/25PsF*³、720/50p、576/50p (HDMI) または
576/50i (SDI)

*¹ Native出力

*² OVER 59.94i出力(ご使用になるモニターは、59.94iの信号として認識されます)

*³ OVER 50i出力(ご使用になるモニターは、50iの信号として認識されます)

VIDEO OUT出力には、フォーマット設定には関係なく
480/59.94i、576/50iの信号を出力します。

モニター用として使用できます。

ただし、VIDEO OUT出力はHD信号に対して、720pのとき120H
(HDライン)、それ以外は90H (HDライン)の遅れがあります。

- SDフォーマットでは、「Squeeze」、「LetterBox」または「SideCut」の選択が可能です。

■ 1/2.86型MOSセンサー・高性能20倍ズームレンズを採用

- 新開発の1/2.86型フルHD 3MOSセンサーとDSP (Digital Signal Processor) を搭載。多彩な映像処理で、高画質な映像が得られます。
- 光学20倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備え、高画質で臨場感あふれる映像が得られます。
- 白とびや黒つぶれを補正するダイナミックレンジストレッチャー(DRS)、暗い場所でも残像を抑えてクリアに撮影するデジタルノイズリダクション(DNR)を搭載し、幅広い用途で鮮明な映像を再現します。

■ 高性能回転台との一体型で快適操作

- 60°/sの高速動作。
- パン範囲：±175°、チルト範囲：-30°～210°の広い旋回角度。
- 騒音レベルNC35の静かな動作。
- 最大100ポジションのプリセットメモリーが可能。
(コントローラーによって、使用できるプリセットメモリー数は異なります。)

■ ナイトモードを搭載

- 赤外線撮影に対応しています。
通常では撮影が困難な低照度下においても、被写体に赤外線を照射することで、撮影が可能となります。
(映像出力は白黒画像となります。)
- IRISは開放固定となります。

■ IP映像出力機能を搭載

- 画像圧縮、IP伝送LSIを搭載。FullHD画質で、最大毎秒60フレームの出力ができます。
- IPコントロールと共に用いることで、遠隔地からのカメラ制御など、幅広い用途での使用が可能となります。

■ 標準シリアル通信方式に対応

- 市販のコントローラーにRS-232Cで本機7台まで接続できます。

■ 現行の当社製コントローラーとの高い親和性で、フレキシブルなシステム構築を実現

- 現行の当社製コントローラー(AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200)からシリアル制御で最大5台までの本機の操作が可能。
現行の当社製カメラや回転台システムとの併用も可能で、既存システムを活用した柔軟なシステム構築が行えます。

〈NOTE〉

- コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
日本語：https://panasonic.biz/cns/sav/
英語：https://pro-av.panasonic.net/
本機とコントローラー間の最大距離は1000mです。(シリアル制御時)
映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です。

■ 回転台・カメラ・レンズ一体型で、システム構築が容易

- カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、簡単にシステム構築が行えます。

■ 簡単操作なワイヤレスリモコン(別売品)が使用可能

- 本機を最大4台まで操作できるワイヤレスリモコンを使用できます。
各種機能の設定や切り替えも、メニュー画面を見ながら簡単に行うことができます。

■ かんたん接続&設置で柔軟なカメラレイアウト

- IP制御と軽量の本体、ひとりで施工(屋内限定)できるターンロック機構で優れた接続性・設置性を実現しました。
〈NOTE〉
・本機は屋内専用です。
屋外での使用はできませんのでご注意ください。

■ 従来機種から容積、質量、外形を維持し、機能アップを実現

- 従来機種と同様のコンパクトな容積、質量、外形を維持したうえで、機能面は大幅にアップいたしました。

■ IPコントロールによる簡単接続・設定

- 当社製コントローラー(AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200)からIP接続により、最大100台までの本機の操作が可能です。
(LANケーブルの最大長は、100mまでです。)

■ PoE+*⁴ 搭載によりカメラ電源工事が不要

- PoE+規格対応のネットワーク機器(IEEE802.3at準拠)*⁵に接続することによって、カメラ電源工事が不要となります。

〈NOTE〉

- ソフト認証の必要なPoE+給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまでの時間が数分かかる場合があります。
- ACアダプターとPoE+給電の両方を接続した場合は、ACアダプターが優先となります。両方を接続した状態から、ACアダプターを抜くと自動で再起動となり、映像が切れます。
- PoE+給電に使用するケーブルは、カテゴリ5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100mです。カテゴリ5以下のケーブルをご使用されますと給電能力が低下するおそれがあります。
- ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターとPoE+インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロスLANケーブルで接続(またはクロス接続)してください。

*⁴ Power over Ethernet Plusの略です。以降「PoE+」と表記いたします。

*⁵ 動作確認済みのPoE+給電装置については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

対応コントローラー

- AW-RP120
- AW-RP50
- AK-HRP200

- ・コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。
アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
日本語 : <https://panasonic.biz/cns/sav/>
英語 : <https://pro-av.panasonic.net/>

〈NOTE〉

- ・以下の現行コントローラーについては、コントローラーからの動作ができません。

項目	AW-RP555	AW-RP655
カメラOSDメニュー操作	使用可能	使用可能
Scene	使用可能* ¹ (1/2/3/USER)	使用可能 (HALOGEN/FLUORESCENT/OUTDOOR/USER)
Iris Mode	使用可能	使用可能
Shutter Mode	制限付きで使用可能* ² (Stepのみ)	使用不可
Gain	使用可能* ¹	制限付きで使用可能* ³
ND Filter	使用不可	使用不可
Day/Night	制限付きで使用可能* ⁴	制限付きで使用可能* ⁴
White Balance Mode	使用可能* ¹ (AWB A/AWB B/ATWのみ)	使用可能 (AWB A/AWB B/ATWのみ)
AWB/ABB	使用可能	使用可能
Color Temperature	使用不可	使用不可
R Gain / B Gain	使用不可	使用可能
Pedestal	使用不可	使用可能
R Pedestal / B Pedestal	使用不可	制限付きで使用可能* ⁵
Detail	使用不可	使用不可
V Detail Level	使用不可	使用不可
CAM/BAR	使用可能* ¹	使用可能
Pan	使用可能	使用可能
Tilt	使用可能	使用可能
Preset	使用可能	使用可能
Preset Speed	使用不可	使用不可
Preset Speed Table	使用不可	使用不可
Preset Scope	使用不可	使用不可
Freeze During Preset	使用不可	使用不可
Focus Mode	制限付きで使用可能* ⁴	制限付きで使用可能* ⁴
Zoom	使用可能	使用可能
Digital Extender	使用不可	使用不可
OIS	使用不可	使用不可
Tally	使用可能	使用可能

*¹ 他の機器で設定値が変更された場合、設定値の反映が遅くなる場合があります。

*² 設定後にShutter ModeをOFF/ONしないと値が切り替わりません。

*³ Gainが19(dB)以上のときの動作が不正になります。

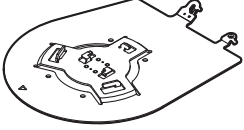

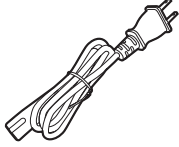
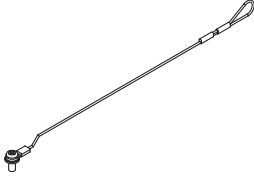
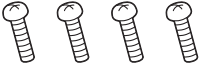
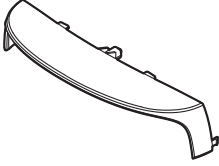
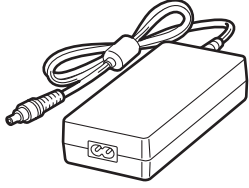
*⁴ 他の機器で設定値が変更された場合、設定値が反映されません。(自機器で設定した場合は反映されます。)

*⁵ 値の表示範囲が不正(-150~+150)となります

付属品

付属品をご確認ください。

・電源コードキャップ(付属している場合)および包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

<p>設置面用 取付金具 (吊り下げ・据え置き) (1)</p> 	<p>本体取付ねじ(平ワッシャー/ スプリングワッシャー付) M3×6 mm (1)</p> 	<p>ACコード (1)</p> 	
<p>落下防止ワイヤー (1) 落下防止ワイヤー取付ねじ (1) (本体に装着済み)</p> 	<p>金具取付ねじ(バインド頭) M4×10 mm (4)</p> 	<p>飾りカバー (1)</p> 	<p>ACアダプター (1)</p> 

別売品

- ワイヤレスリモコン AW-RM50G(単3乾電池×2、電池は別売)
- 天井直付金具 WV-Q105A

使用上のお願い

■ 撮影は適正な照明で

美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

■ 長時間安定した性能でお使いいただくために

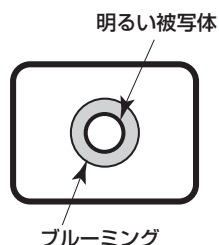
高温・多湿の場所で長時間使用した場合は、部品の劣化により寿命が短くなります。

(推奨温度 35℃以下)

設置場所の冷房および暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

■ 強い光にカメラを向けないでください

MOSセンサーの一部にスポット光のような強い光が当たると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)を生じることがあります。



■ 高輝度の被写体では

きわめて明るい光源がレンズに向けられていると、フレアが生じることがあります。その場合は、アングルを変えるなどしてください。

■ オート機能使用のときは

- ・カメラメニューなどの「Scene」では、一部の項目で初期設定がオートとなっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行う場合は、必要に応じてオート設定からマニュアル設定に切り替えてください。
- ・蛍光灯下のATW(自動追尾式ホワイト調整)機能の使用は、ホワイトバランスが変動する場合があります。
- ・場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。

■ ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。

ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

フォーカスをマニュアル設定で使用する際は、フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス位置を合わせてからズーミングしてください。(ただし、被写体までの距離が1.5mよりも近い場合には、ワイド端でフォーカスがずれることがあります。)

ワイド端でフォーカス調整を行った後にテレ端にズーミングすると、フォーカスがずれる場合があります。

■ 電源を入れたときのレンズ動作について

本機の電源を入れたとき、ズーム、フォーカス、アイリスが自動的に調整動作を行います。

■ 本機にはセーフモード機能があります

セーフモードは、本機の損傷を防止するための機能です。詳細については「セーフモードについて」(→110ページ)を参照してください。

■ 使用温度範囲は

0℃を下回る寒い所や40℃を超える暑い所では画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、避けてください。

■ VIDEO OUT 信号について

VIDEO OUT 出力は、映像のモニタリング用途を想定しています。

■ HDMIについて

本機はHDMI認証機器ですが、接続されるHDMI機器によってはまれに出画しない場合があります。

■ カラーバーについて

- ・カラーバーは色位相調整用であり、バーの幅や位置が他機種と異なる場合があります。
- ・カラーバー表示時の「Down CONV. Mode」項目は、「Squeeze」固定です。

■ IP 映像更新速度について

IP 映像更新速度は、ご利用のネットワーク環境、パーソナルコンピュータまたは携帯端末の性能、被写体、アクセス数により遅くなる場合があります。

■ H.264 特許プールライセンスについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること

詳細についてはMPEG LA, LLCのWebサイト(<http://mpegla.com>)を参照してください。

■ PoE+ 給電について

本機は、IEEE802.3atに準拠しています。PoE+給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoE+インジェクターをご使用ください。

動作確認済みイーサネットハブ、およびPoE+インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切って

本機に電源スイッチはありません。

ケーブルを抜き差しする場合には、DC12V電源、あるいはPoE+給電装置の電源をOFFにしてください。

■ 取り扱いはいないに

落としたり強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

■ 使用しない場合は

使用しないときは電源を切ってください。

使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

■ 光学系部には触れないで

光学系部はカメラの“命”です。

光学系には絶対に触れないでください。

万一、ホコリがついた場合は、カメラ用のプロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

■ 太陽光に向けない、レーザー光に向けない

太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、撮像素子を傷める原因となります。

■ 使用するパーソナルコンピュータについて

パーソナルコンピュータのモニター上に長時間同じ画像を表示すると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

■ IPアドレスの設定について

1台のカメラに対して、複数のパーソナルコンピュータ上のIP簡単設定ソフトウェアを操作して、同時にIPアドレスを設定しないでください。

IPアドレスの設定がわからなくなる原因となります。

■ 回転部に異物の混入がないようにしてください

故障の原因になります。

■ カメラヘッド可動部に近づかない

本機動作中に指や身体を近づけないでください。けがや故障の原因となります。

また、パンやチルト操作時に本機が人や障害物に衝突すると、セーフモードになります。

詳細は、110ページを参照してください。

■ 水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

■ お手入れは

お手入れは、電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。

乾いた柔らかい布でふいてください。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。

■ カメラヘッド部分を手で回さないで

カメラヘッド部分を手で回すと、故障の原因になります。

■ 湿気、ホコリの少ない所で

湿気、ホコリの多い所は、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

■ 廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

本製品には、GNU General Public License(GPL)、ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本製品には、The BSD Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ソースコードの入手については、下記のWebサイトをご覧ください。

<https://panasonic.net/cns/oss/index.html>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

個人情報の保護について

システムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

ワイヤレスリモコン(別売品)について

本機は、別売のワイヤレスリモコン(品番: AW-RM50G)から遠隔操作することができます。

ワイヤレスリモコンは、以下の内容をご確認のうえご使用ください。

●本機のワイヤレスリモコン信号受光部(前面/背面)に向けて10 m以内の場所でワイヤレスリモコンを操作してください。

●右の<ワイヤレスリモコン信号受光部配置図>を参照してください。

●ワイヤレスリモコン信号の受光角度が大きくなると、受光距離が短くなります。

受光感度は、ワイヤレスリモコン信号受光部(前面/背面)それぞれの位置の正面から40°で約半分になります。

特に背面方向からの操作では、動作しにくくなる、もしくは動作しなくなることがあります。

●本機を蛍光灯やプラズマモニターなどの近くに設置した場合や、太陽の光が当たる場合、それらの光の影響によってワイヤレスリモコンで操作できないことがあります。

必ず以下の方法で設置、使用してください。

- ・蛍光灯やプラズマモニター、太陽などからの光がワイヤレスリモコン信号受光部に入らないようにする。
- ・蛍光灯やプラズマモニターなどから離れた場所に設置する。

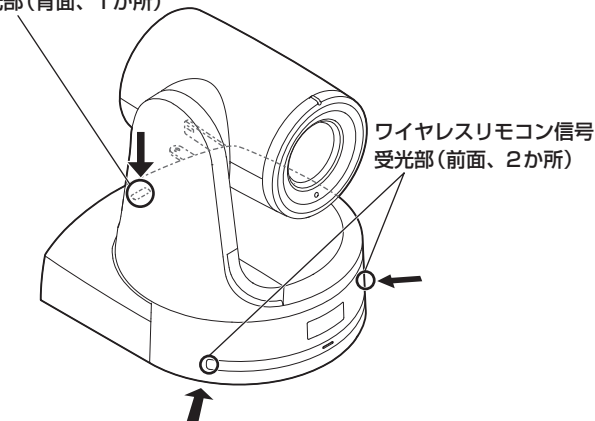
●ワイヤレスリモコンは、電池を抜いても約10分間は操作対象の選択(最後に押した<CAM1> ~<CAM4> ボタン)を記憶していますが、さらに時間がたつと<CAM1> ボタンを押した状態にリセットされます。

<ワイヤレスリモコン信号受光部配置図>

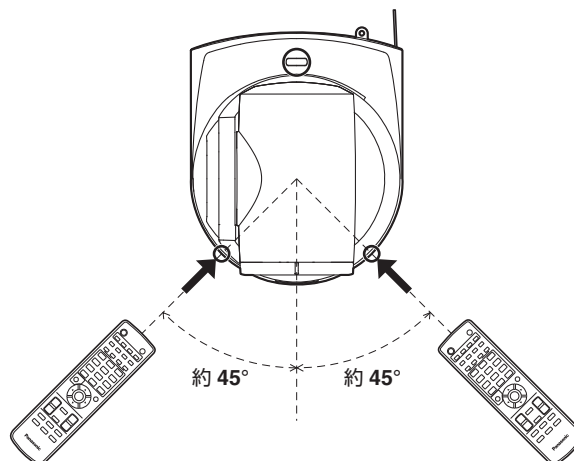
<NOTE>

- ・下図の矢印は、ワイヤレスリモコン信号の受光方向を示しています。

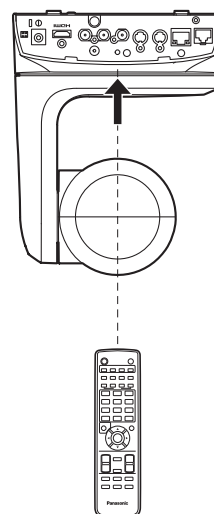
ワイヤレスリモコン信号受光部(背面、1か所)



・天面図

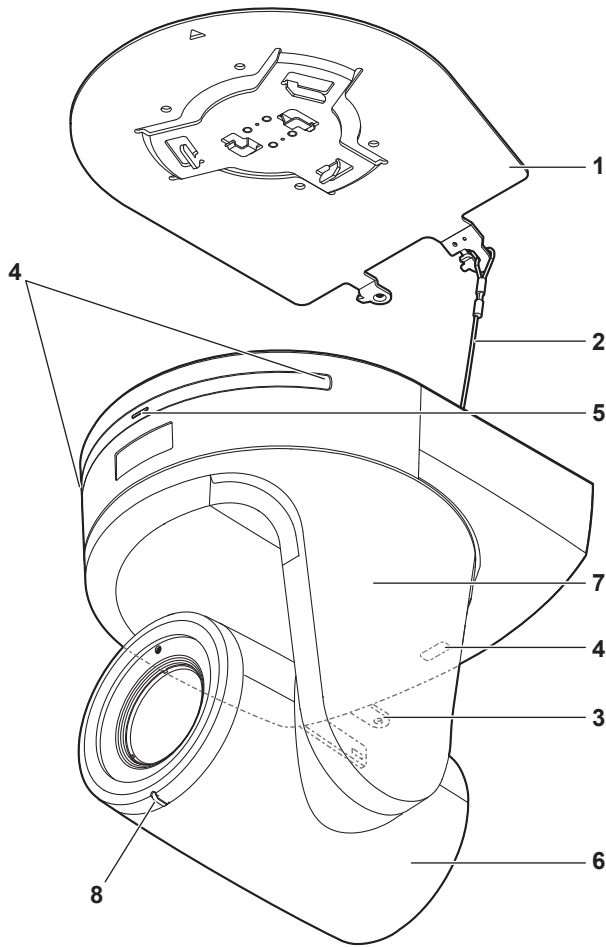


・背面図



各部の名前とはたらき

カメラ部



1. 設置面用取付金具 (付属品)

設置面に取り付けて、カメラ本体を取り付けます。

2. 落下防止ワイヤー

カメラ本体の底面にねじ止めしてあります。ワイヤーの輪の部分を取付金具のフック部に取り付けます。

3. カメラ台座部固定用穴

カメラ台座部の底板にあります。

4. ワイヤレスリモコン信号受光部

カメラ台座部の前面および後面上部の3か所にあります。

5. 状態表示ランプ

本機の状態によって、次のように点灯します。

橙色： 待機 (Standby) 状態

緑色： 電源ON時

赤色： 機器異常時

緑色で2回点滅：

電源ON時に、ワイヤレスリモコン (別売品) からリモコンIDが一致する信号を受信しているとき

橙色で2回点滅：

電源ON時に、ワイヤレスリモコン (別売品) からリモコンIDが異なる信号を受信しているとき

6. カメラヘッド部

上下方向に回転します。

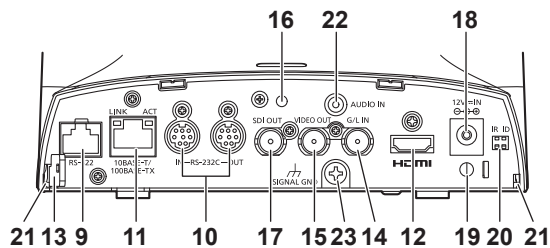
7. チルトヘッド部

左右方向に回転します。

8. タリーランプ

タリーランプ使用設定が「ON」に設定されている場合のみコントロールの制御で点灯/消灯します。

背面パネル



9. RS-422端子 <RS-422>

外部機器から本機をシリアル制御する際に接続するRS-422端子 (RJ45) です。接続には、以下のケーブルを使用してください。また、TALLY信号 (2-pin) をGND (1-pin) とショートすると、タリーランプを点灯させることができます。

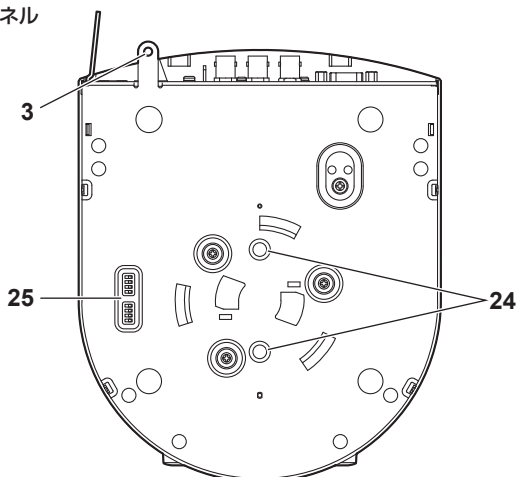
<NOTE>

・ TALLY信号には電圧を加えないでください。

LANケーブル*1 (カテゴリ5以上、ストレートケーブル) 最大1000 m

*1 STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

底面パネル

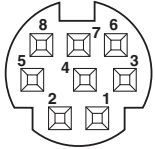


ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GND	5	TXD+
2	TALLY	6	RXD+
3	RXD-	7	—
4	TXD-	8	—

10. RS-232C通信端子<RS-232C IN/OUT>

RS-232Cケーブルを接続します。

RS-232C IN/OUT
コネクタ外観



Mini Din 8ピン (日本
圧着端子製造)

RS-232C IN		RS-232C OUT	
ピン 番号	信号名	ピン 番号	信号名
1	DTR_IN	1	DTR_OUT
2	DSR_IN	2	DSR_OUT
3	TXD_IN	3	TXD_OUT
4	GND	4	GND
5	RXD_IN	5	RXD_OUT
6	GND	6	GND
7	IR OUT R	7	NC
8	IR OUT L	8	NC

(NOTE)

- 接続する機器の仕様によって、シリアルデータの極性(+/-)が異なる場合がありますので、お気をつけください。

11. IP制御用LAN端子<LINK/ACT>

外部機器から本機をIP制御する際に接続するLAN端子(RJ45)です。接続には、以下のケーブルを使用してください。

PoE+イーサネットハブありの場合

LANケーブル*1 (カテゴリー5e以上、ストレートケーブル)
最大100 m

PoE+イーサネットハブなしの場合

LANケーブル*1 (カテゴリー5以上、ストレートケーブル)
最大100 m

*1 STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

12. HDMI端子<HDMI>

HDMI映像出力端子です。

13. 盗難防止ワイヤー取り付け穴

盗難防止用ワイヤー金具(市販品)を取り付けます。

14. G/L IN端子<G/L IN>

外部同期信号の入力端子です。

本機は、BBS(Black Burst Sync)および3値同期に対応しています。設定した映像フォーマットに適した信号を入力してください。

Format	外部同期信号入力フォーマット	
	BBS	3値同期
1080/59.94p	480/59.94i	1080/59.94i
1080/29.97p	480/59.94i	—
1080/23.98p	480/59.94i	1080/59.94i
1080/59.94i	480/59.94i	1080/59.94i
1080/29.97PsF	480/59.94i	1080/59.94i
1080/23.98PsF	—	1080/23.98PsF
720/59.94p	480/59.94i	720/59.94p
480/59.94p(i)	480/59.94i	—
1080/50p	576/50i	1080/50i
1080/25p	576/50i	—
1080/50i	576/50i	1080/50i
1080/25PsF	576/50i	1080/50i
720/50p	576/50i	720/50p
576/50p(i)	576/50i	—

(NOTE)

- BBSではサブキャリアにはロックしません。

15. VIDEO OUT端子<VIDEO OUT>

カメラのコンポジット映像信号のモニター用出力端子です。モニターは内部同期モードで使用してください。

接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

VIDEO OUT出力はHD信号に対して、720pのとき120H(HDライン)、それ以外は90H(HDライン)の遅れがあります。

16. 飾りカバー固定用ねじ穴

飾りカバーを付属ねじを使って固定します。

17. SDI OUT端子<SDI OUT>

SDI映像信号の出力端子です。

18. DC IN端子<12V ≐ IN ⊖ ⊕>

付属のACアダプターを接続し、DC 12 Vを供給します。

19. ケーブル抜け止めクランプ

DC IN端子に接続したケーブルをクランプして、ケーブル抜けを防止します。

20. IR IDスイッチ<IR ID>

CAM1	CAM2	CAM3	CAM4
IR ID	IR ID	IR ID	IR ID

ワイヤレスリモコン(別売品)のリモコンIDを選択します。IR IDスイッチの設定「CAM1」~「CAM4」が、ワイヤレスリモコンの「CAM1」~「CAM4」ボタンに対応しています。

21. 飾りカバーツメ用角穴(2か所)

飾りカバーの両側のツメをはめ込みます。

22. 音声入力端子<AUDIO IN>

外部音声(マイク、ライン)の入力用端子です。

23. 接地端子

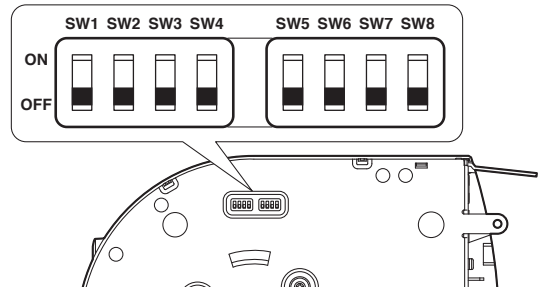
コンセントのアース端子やアース棒などと接続して、接地を行ってください。(→7ページ)

24. カメラ取り付け用ねじ穴

(ねじ: 1/4-20UNC、ISO1222 (6.35 mm))

三脚などに固定する場合に、このねじ穴を使用します。

25. サービススイッチ



機能	OFF	ON	工場出荷時の設定
SW1	カメラアドレス	SW1 ~ SW3 の説明参照	OFF
SW2	設定(標準シリアル通信)		OFF
SW3			OFF
SW4	通信方式	Panasonic 独自シリアル通信	標準シリアル通信
SW5	工場調整用のため、必ずOFF固定でお使いください。		OFF
SW6	赤外線出力	無効	有効
SW7	通信ボーレート	9600 bps	38400 bps
SW8	通信端子	RS-422	RS-232C

(NOTE)

- スイッチの設定は本機の電源を入れる前に行ってください。
- カメラアドレス設定スイッチを「AUTO」に設定したカメラと「1」~「7」に設定したカメラの混在使用はできません。
- カメラアドレスの手動設定で複数のカメラを同一アドレスに設定し、1つのコントローラーで複数のカメラを同時に操作することはできません。

サービススイッチの設定

SW1 ~ SW3 (カメラアドレス設定スイッチ)

カメラのアドレスを設定します。

通常は「AUTO」に設定しておきます。「AUTO」に設定しておく、コントローラーからの操作によって、カメラ接続されている順番にアドレスが自動的に割り振られます。

アドレスを手動設定する場合は、このスイッチを以下のように設定します。

アドレス	AUTO	1	2	3	4	5	6	7
SW1	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
SW2	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF
SW3	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF

SW4 (通信方式選択スイッチ)

通信方式を選択します。

ON にすると標準シリアル通信で動作します。

OFF にするとパナソニック独自シリアル通信で動作します。

SW5 (メンテナンス用スイッチ)

OFF 固定です。

触らないでください。

SW6 (赤外線出力切換スイッチ)

ON にすると赤外線出力が有効になります。リモコン受光部で受信した信号が、RS-232C IN端子の7番ピンと8番ピンから出力されます。

OFF にすると信号は出力されません。

SW7 (通信ボーレート切換スイッチ)

ON にすると38400 bps になります。

OFF にすると9600 bps になります。

SW8 (通信端子切換スイッチ)

ON にするとRS-232Cが有効になります。

OFF にするとRS-422が有効になります。

■ 各映像フォーマット時の同時出力条件

● SDI/HDMI/VIDEO出力時

	フォーマット	SDI出力	HDMI出力	VIDEO出力 ⁴
HD/SDI	1080/59.94p	○	○	○
	1080/50p	○	○	○
	1080/59.94i	○	○	○
	1080/50i	○	○	○
	1080/29.97PsF	○* ¹	×	○
	1080/25psF	○* ²	×	○
	1080/23.98PsF	○	×	○
	1080/29.97p* ³	○	○	○
	1080/25p* ³	○	○	○
	1080/23.98p	○* ¹	○	○
SD/SDI	720/59.94p	○	○	○
	720/50p	○	○	○
	480/59.94p	×	○	×
	576/50p	×	○	×
	480/59.94i	○	×	○
	576/50i	○	×	○

*¹ OVER 59.94i出力 (ご使用になるモニターは、59.94iの信号として認識されます)

*² OVER 50i出力 (ご使用になるモニターは、50iの信号として認識されます)

*³ Native出力

*⁴ フォーマット設定に関係なく、VIDEO出力には480/59.94i、576/50iを出力します。

● IP映像伝送出力 (1ch/多ch表示)

		1ch表示
解像度		1920x1080/1280x720/640x360/ 320x180/160x90 (SYSフォーマットには非依存)
フレームレート	59.94Hz	1fps/2fps/3fps/5fps/6fps/10fps/15fps/ 30fps/ 60fps* ¹
	50Hz	1fps/2fps/5fps/10fps/12.5fps/25fps/ 50fps* ²

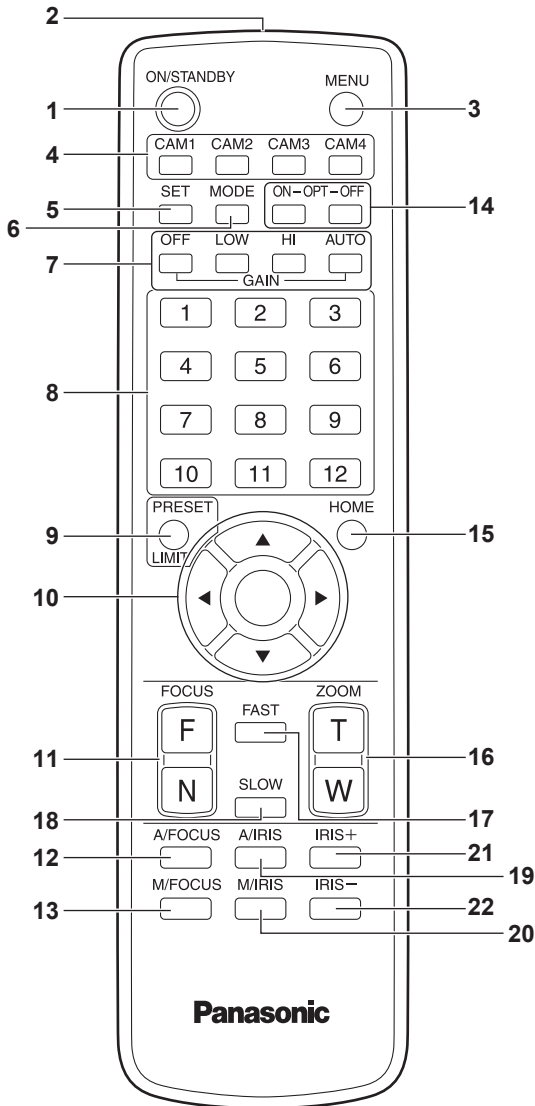
*¹ 60fpsはH.264配信で1920x1080または1280x720のときのみ

*² 50fpsはH.264配信で1920x1080または1280x720のときのみ

		多ch表示			
設定		H.264 CH1	H.264 CH2	H.264 CH3/CH4	JPEG CH1/ CH2/ CH3* ³
解像度		1920x1080 1280x720	1920x1080 1280x720 640x360 320x180 160x90	1280x720 640x360 320x180 160x90	1920x1080 1280x720 640x360 320x180 160x90
フレームレート	59.94Hz	60fps	5fps 15fps 30fps	5fps 15fps 30fps	1fps 2fps 3fps 5fps 6fps 10fps 15fps 30fps
	50Hz	50fps	5fps 12.5fps 25fps	5fps 12.5fps 25fps	1fps 2fps 5fps 10fps 12.5fps 25fps

*³ JPEG CH1/CH2/CH3は、それぞれ異なる解像度のみ指定可能

ワイヤレスリモコン (別売品)



1.ON/STANDBY ボタン<ON/STANDBY>

2秒間押すごとに、本機の電源ONと待機状態(Standby)を切り替えます。

2.信号発光部

3.MENU ボタン<MENU>

2秒間押すごとに、本機のカメラメニューの表示とカメラメニューの終了を切り替えます。

カメラメニューを表示中に、このボタンを短く(約2秒未満)押すと、設定変更をキャンセルします。

また、このボタンとPRESET、LIMITボタン<PRESET/LIMIT>、パン・チルトボタン<▲><▼><◀><▶>の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限(リミッター)の設定と解除を行います。

詳しくは、「リミッターの設定と解除」(→109ページ)を参照してください。

4.CAM1～CAM4ボタン

<CAM1> <CAM2> <CAM3> <CAM4>

操作する本機を選択します。

一度選択すると、以後は選択した本機に対して操作が可能になります。

5.SET ボタン<SET>

ホワイトバランス調整で「AWB A」メモリーまたは「AWB B」メモリーを選択しているとき、このボタンを約2秒間押すと、ブラックバランスとホワイトバランスを自動調整して、選択中のメモリーに登録します。このボタンを約2秒未満で押すと、ホワイトバランスのみを自動調整します。

6.MODE ボタン<MODE>

本機から出力する映像信号を切り替えます。

このボタンを押すごとに、カラーバー信号とカメラ映像の信号が切り替わります。

<NOTE>

- カラーバー表示時のDown CONV. Mode項目は、「Squeeze」固定です。
- [Audio]の設定が[On]の場合、カラーバーを表示しているときにテストサウンド(1kHz)を出力します。外部機器の音量にご注意ください。

7.GAIN ボタン<OFF> <LOW> <HI> <AUTO>

ゲインを設定します。

<OFF>、<LOW>、<HI>ボタンで、ゲインアップを3段階で設定できます。

<LOW>は9 dB、<HI>は18 dBに設定されます。

また、<AUTO>ボタンを押すとAGC機能が動作し、光量によりゲインが自動で調整されます。

AGC機能の最大ゲインは、カメラメニューで設定できます。

8.プリセットメモリー呼び出しボタン<1>～<12>

本機のプリセットメモリーNo.1～No.12に登録されている、本機の向きなどの情報を呼び出し、再現します。

ワイヤレスリモコンからプリセットメモリーNo.13以上を呼び出すことはできません。

9.PRESET、LIMIT ボタン<PRESET/LIMIT>

プリセットメモリーの登録やリミッターの設定・解除をします。

このボタンを押しながらプリセットメモリー呼び出しボタンを押すと、現在の向きなどの情報を登録します。

プリセットメモリー呼び出しボタンの<1>～<12>は、本機のプリセットメモリーNo.1～No.12に対応しています。

また、このボタンとMENUボタン<MENU>、パン・チルトボタン<▲><▼><◀><▶>の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限(リミッター)の設定と解除を行います。

詳しくは、「リミッターの設定と解除」(→109ページ)を参照してください。

10.パン・チルトボタン/メニュー操作ボタン

<▲> <▼> <◀> <▶> <○>

1) 本機の向きを変えます。

<▲> <▼>ボタンで上下方向(チルト)、<◀> <▶>ボタンで左右方向(パン)に動きます。

このとき<○>ボタンは、機能しません。

<▲>または<▼>ボタンと、<◀>または<▶>ボタンを同時に押すと、斜め方向に動きます。

2) 本機がカメラメニューを表示しているときは、メニュー操作を行います。

<▲> <▼> (<◀> <▶>) ボタンで項目の選択を行います。

選択した項目にサブメニューがあるときは、<○>ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて<○>ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。

<▲> <▼> (<◀> <▶>) ボタンで設定値の変更を行った後<○>ボタンを押すと、点滅が止まり設定が確定されます。

通常メニュー項目は、点滅表示状態で設定値を変更すると、すぐに設定が反映されます。

また、点滅表示状態でMENUボタン<MENU>を短く(約2秒未満)押すと、変更がキャンセルされ変更前の設定に戻ります。

〈NOTE〉

- ・誤動作を防止するため、一部のメニュー項目 (Scene、Format、Down CONV. Mode、Frequency) では、点滅表示状態で設定値を変更しても、すぐには設定が反映されません。
〈O〉ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されます。
- ・一部のメニュー項目では、設定を確定する前に確認画面が表示されます。

11. FOCUS ボタン〈F〉 〈N〉

レンズのフォーカスがマニュアル設定のとき、手動でレンズのフォーカスを調整します。

〈F〉ボタンで遠く (Far) へ、〈N〉ボタンで近く (Near) へフォーカスを調整します。

12. A/FOCUS ボタン〈A/FOCUS〉

レンズのフォーカスを自動で調整するように設定します。

13. M/FOCUS ボタン〈M/FOCUS〉

レンズのフォーカスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、FOCUS ボタン (〈F〉、〈N〉) で行います。

14. OPT ボタン〈ON〉 〈OFF〉

ナイトモードのON/OFFを切り替えます。

〈NOTE〉

- ・ナイトモード時、映像出力は白黒となります。また、レンズ絞りは強制的に開放となります。
- ・ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。
- ・ナイトモードでは、NDフィルターの切り替えはできません。

15. HOME ボタン〈HOME〉

2秒間押しすと、本機の向き (パン・チルト) を基準位置に戻します。

16. ZOOM ボタン〈T〉 〈W〉

レンズのズームを調整します。

〈T〉ボタンで望遠 (Tele) へ、〈W〉ボタンで広角 (Wide) へレンズのズームを調整します。

17. FAST ボタン〈FAST〉

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、高速側に切り替えます。

〈NOTE〉

- ・プリセットメモリーを呼び出したときのパン・チルトの動作速度は、カメラメニューの「Preset Speed」項目で変更できます。

18. SLOW ボタン〈SLOW〉

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、低速側に切り替えます。

19. A/IRIS ボタン〈A/IRIS〉

レンズのアイリスを光量に合わせて自動で調整するように設定します。

20. M/IRIS ボタン〈M/IRIS〉

レンズのアイリスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、〈IRIS +〉ボタンと〈IRIS -〉ボタンで行います。

21. IRIS + ボタン〈IRIS +〉

レンズのアイリスを開く方へ調整します。

22. IRIS - ボタン〈IRIS -〉

レンズのアイリスを閉じる方へ調整します。

リモコンIDの設定

ワイヤレスリモコン(別売品)で、本機を最大4台まで操作することができます。

ワイヤレスリモコンの<CAM1>～<CAM4>ボタンのどのボタンを押したときに、どの本機を選択するかを設定します。

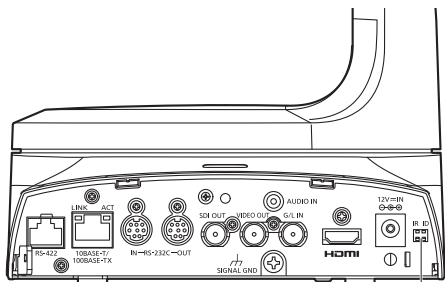
- ワイヤレスリモコンから複数の本機を使用する場合は、それぞれ異なるリモコンIDに設定してください。
- 本機を1台で使用する場合は、特に変更の必要がなければ、リモコンIDを「CAM1」に設定してください。

■ 設定方法

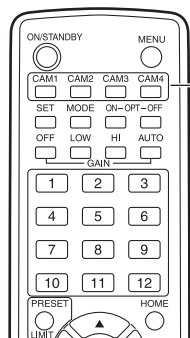
本機背面のIR IDスイッチを操作して、リモコンID「CAM1」～「CAM4」を選択します。(→17ページ)

IR IDスイッチの設定「CAM1」～「CAM4」がワイヤレスリモコンの<CAM1>～<CAM4>ボタンに対応しています。

(出荷時は、「CAM1」に設定されています。)



IR IDスイッチ



<CAM1>～<CAM4>ボタン

ネットワークの設定を行う

IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う

本機のネットワークに関する設定は、IP簡単設定ソフトウェアを使って行うことができます。

IP簡単設定ソフトウェア(EasyIPSetup.exe)は、以下のWebサイトからダウンロードして入手することができます。

日本語 : <https://panasonic.biz/cns/sav/>

英語 : <https://pro-av.panasonic.net/>

本機を複数台設定する場合は、カメラごとに行う必要があります。

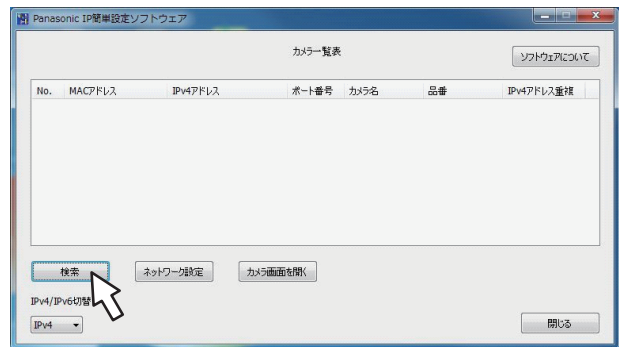
IP簡単設定ソフトウェアを使って設定できない場合は、設定メニューのネットワーク設定画面[Network]で個別に本機とパーソナルコンピュータの設定を行います。(→87ページ)

〈NOTE〉

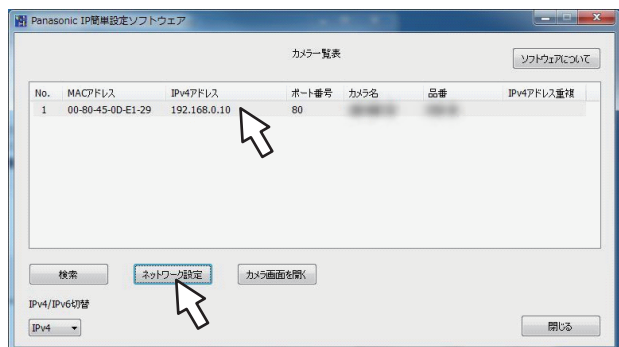
- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器とIPアドレスが重複すると、正しく動作しません。IPアドレスが重複しないように設定してください。
- 1台のカメラに対して複数のIP簡単設定ソフトウェアから同時にネットワークの設定を行わないでください。また、リモートカメラコントローラーAW-RP50の「自動IP設定」の操作を同時に行わないでください。IPアドレスの設定がわからなくなる原因になります。
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- IP簡単設定ソフトウェアはVer.4.25R00以降をご利用ください。

1.IP簡単設定ソフトウェアを起動します。

2.[検索]ボタンを押します。



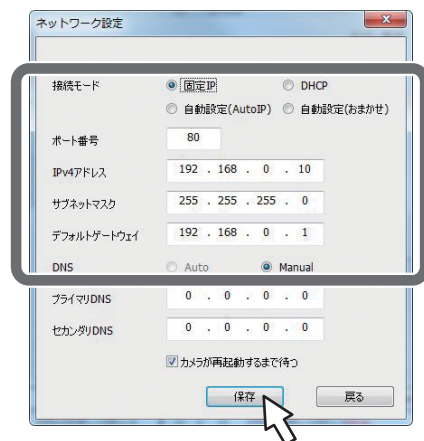
3.設定するカメラのMACアドレス/IPv4アドレスをクリックし、[ネットワーク設定]ボタンをクリックします。



〈NOTE〉

- DHCPサーバーを使用している場合、本機に割り振られたIPアドレスは、IP簡単設定ソフトウェアの[検索]ボタンをクリックすると確認できます。
- IPアドレスが重複している場合、該当するカメラの[IPv4アドレス重複]欄に、重複するカメラNo.が表示されます。
- [カメラ画面を開く]ボタンをクリックすると、選択したカメラのLive画面が表示されます。
- 本機は、IPv4/IPV6切り替え機能に対応しています。

4.ネットワークの各項目を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

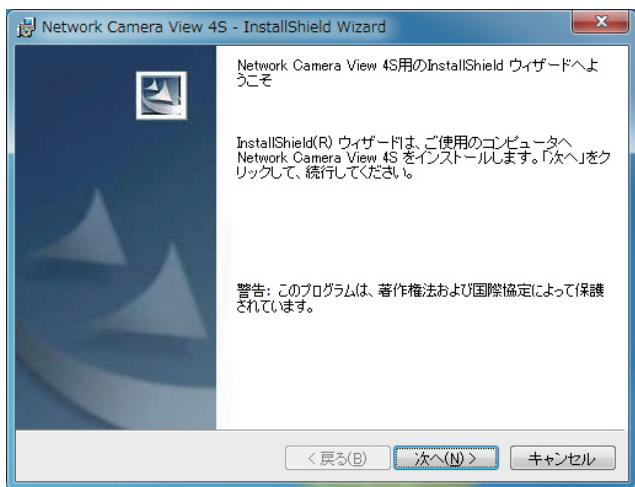


〈NOTE〉

- DHCPサーバーを使用している場合、IP簡単設定ソフトウェアの[DNS]を[Auto]に設定することができます。
- [保存]ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前にACアダプターやLANケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度設定をやり直してください。
- ファイアウォール(ソフト含む)を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。

表示用プラグインソフトウェアをインストールする

本機のIP映像をWebブラウザで表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」(ActiveX®)をインストールする必要があります。
表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールしてください。



(NOTE)

- お買い上げ時は、[Automatic installation of viewer software]が[On]に設定されており、本機から直接インストールすることができます。Webブラウザの情報バーにメッセージが表示される場合は、119ページを参照してください。
- 最初にパーソナルコンピュータからライブ画面[Live]を表示すると、表示用プラグインソフトウェア(ActiveX)のインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。
- 表示用プラグインソフトウェア(ActiveX)のインストールが完了しても、画面を切り替えるたびにインストール画面が表示される場合は、パーソナルコンピュータを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、パーソナルコンピュータごとにライセンスが必要です。表示用プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、[Maintenance]画面の[Product info.]タブ(100ページ)で確認できます。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 表示用プラグインソフトウェアをアンインストールするには、Windows上で[コントロールパネル]→[プログラム]→[プログラムのアンインストール]を選択し、「Network Camera View 4S」を削除してください。

ユーザー認証機能について

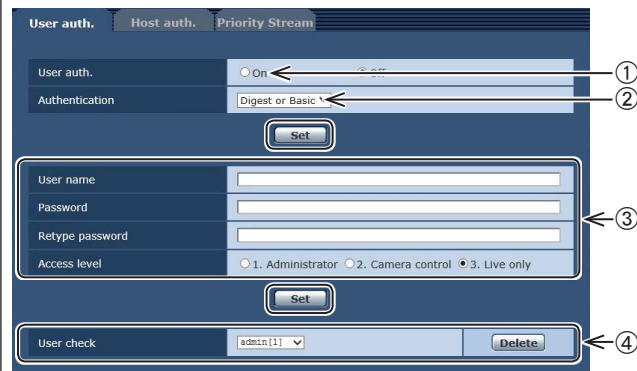
本機はインターネット経由でアクセスできるように設定できます。第三者からの意図しないアクセスによるプライバシーや肖像権の侵害、情報漏えいなどを未然に防止するために、設置時にユーザー認証機能の使用をご検討ください。
また、ダイジェスト認証対応機器と接続する場合は、ダイジェスト認証を使用することをお勧めします。

- AW-RP50、AW-RP120およびAK-HRP200は、ダイジェスト認証に対応しています。

準備:

1. カメラに接続したPCでカメラのブラウザ画面を表示する。
2. [Setup]⇒[User mng.]の順にクリックしてユーザー管理画面を表示する。

ユーザー認証画面



- ① ユーザー認証をOnにする
※工場出荷時はOff
⇒選択後に「Set」ボタンをクリック
 - ② (ダイジェスト認証対応機器をお使いの場合)
「Authentication」の「Digest」を選択する
⇒選択後に「Set」ボタンをクリック
 - ③ 新規にユーザー名/パスワードを設定する
※アクセスレベルは「1. Administrator」を選択
⇒入力後に「Set」ボタンをクリック
 - ④ 初期ユーザー名を削除する
⇒削除するユーザー名「admin[1]」を選択後に「Delete」ボタンをクリック
- ※ お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。

ユーザー名/パスワードの管理について

- 容易に推測されない文字と数字の組み合わせで設定してください。
「11111」などの連続する数字や文字、関係者の生年月日や電話番号は避けてください。
入力可能な文字と文字数については、「ユーザー認証設定画面」(85ページ)をお読みください。
- ユーザー名/パスワードは定期的に変更してください。
- 設定したユーザー名/パスワードは必ず控えておいてください。
- 管理者が不明のユーザー名は削除してください。

ユーザー名/パスワードを変更後は

以下の機器に登録したユーザー名/パスワードも変更してください。
製品ごとの設定手順は、お使いの製品の取扱説明書をお読みください。

- リモートカメラコントローラー(AW-RP50、AW-RP120)
- リモートオペレーションパネル(AK-HRP200)
- PCやタブレット端末およびスマートフォンのブラウザ/アプリケーションソフト

撮影の基本操作

1. 被写体の照度を適正にする

2. 各機器の電源を入れる

3. 操作する本機を選ぶ

本機を1台で使用する場合でも、必ずワイヤレスリモコンまたはコントローラーから本機を選択してください。

4. 撮影モードを選ぶ

撮影状況に合わせて、4種類(Scene1、Scene2、Scene3、Scene4)の撮影モードから選択できます。

各撮影モードはユーザーが設定します。

工場出荷時の設定については、59ページ～61ページを参照してください。

撮影条件、好みに応じて選択してください。

同じ撮影状況で使い続けるときは、再度選択する必要はありません。

5. 撮影する

(終わったら各機器の電源を切る)

〈NOTE〉

- 初期設定では、一部の項目がオート設定となっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行いたい場合は、必要に応じてオート設定をマニュアル設定に切り替えてください。

すでに設定が変更されていて、元の設定に戻す場合は、「撮影の基本操作で困ったときは」(→28ページ)、「カメラメニュー項目」の「Camera画面」(→46ページ)を参照してください。

電源の入れ方と切り方

電源の入れ方

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. 接続している機器すべての電源スイッチをONにする

- 本機には、電源スイッチがありません。
本機に電源が供給されると、状態表示ランプが橙色に点灯し、Standbyモードになります。

〈NOTE〉

- 工場出荷状態ではじめて電源を供給したときは、Standbyモードです。(状態表示ランプ: 橙色)
- Standbyモードで給電が絶たれたときは、次回、電源供給時はStandbyモードとなります。(状態表示ランプ: 橙色)
- Power ONモードで給電が絶たれたときは、次回、電源供給時はPower ONモードとなります。(状態表示ランプ: 緑色)

2. ワイヤレスリモコンの<CAM1>～<CAM4>ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ

3. ワイヤレスリモコンの<ON/STANDBY>ボタンを約2秒間押す

Power ONモードになり映像が出力され、コントロールが可能になります。

- このとき本機の状態表示ランプは、緑色に点灯します。

〈NOTE〉

- 初期設定動作は、1台につき最大30秒かかる場合があります。この間、本機の操作はできません。
(状態表示ランプ: 橙色)

4. 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順2～3を繰り返す

本機の状態表示ランプは、リモコンIDが一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコンIDが異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

〈NOTE〉

- Standbyモード移行時：
現在のズーム、フォーカス、アイリス位置を記憶(Power ONプリセット)します。
- Power ONモード移行時：
Standbyモード移行時に記憶(Power ONプリセット)した位置にズーム、フォーカス、アイリスを合わせます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

市販のコントローラーを接続している場合

コントローラーの取扱説明書を参照してください。

電源の切り方

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. ワイヤレスリモコンの<CAM1>～<CAM4>ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ

2. ワイヤレスリモコンの<ON/STANDBY>ボタンを約2秒間押す

Standbyモードになります。

- このとき本機の状態表示ランプは、橙色に点灯します。

3. 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順1～2を繰り返す

4. 接続している機器すべての電源スイッチをOFFにする

- 本機には、電源スイッチがありません。

〈NOTE〉

- Standbyモード移行時：
現在のズーム、フォーカス、アイリス位置を記憶(Power ONプリセット)します。
- Power ONモード移行時：
Standbyモード移行時に記憶(Power ONプリセット)した位置にズーム、フォーカス、アイリスを合わせます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

市販のコントローラーを接続している場合

コントローラーの取扱説明書を参照してください。

本機を選択

ワイヤレスリモコン1台で、本機を最大4台まで操作することができます。
1台のコントローラーからは、最大5台の本機を操作することができます。
ワイヤレスリモコンまたはコントローラーから操作したい本機を選択してください。

本機を1台で使用する場合でも、必ず選択をしてください。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

ワイヤレスリモコンで本機を選択するには、本機背面のIR IDスイッチの設定が必要です。

IR IDスイッチの設定については、17ページ、21ページを参照してください。

1.<CAM1>～<CAM4>ボタンのいずれかを押す

本機の状態表示ランプは、リモコンIDが一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコンIDが異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合

コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影モード(シーンファイル)の選択

撮影モードの種類

撮影状況に合わせて、4種類(Scene1、Scene2、Scene3、Scene4)の撮影モードから選択できます。各撮影モードはユーザーが設定します。
工場出荷時の設定については、59ページ～61ページを参照してください。
撮影条件や好みに応じて、撮影モードを選択してください。
また、メニュー操作で設定値の変更を行うことができます。

- ホワイトバランスなどの調整結果は、撮影モードごとに別々に記憶されます。必ず、調整を行う前に撮影モードを選択してください。

〈NOTE〉

- 初期設定では、一部の項目がオート設定となっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行いたい場合は、必要に応じてオート設定をマニュアル設定に切り替えてください。

シーン1[Scene1]

シーン2[Scene2]

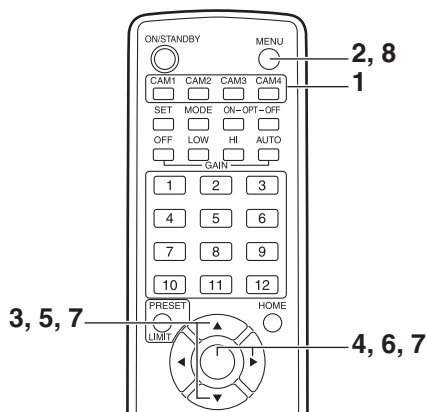
シーン3[Scene3]

シーン4[Scene4]

撮影シーン・照明の状況などに合わせて、お好みの設定を行うことができます。

選択のしかた

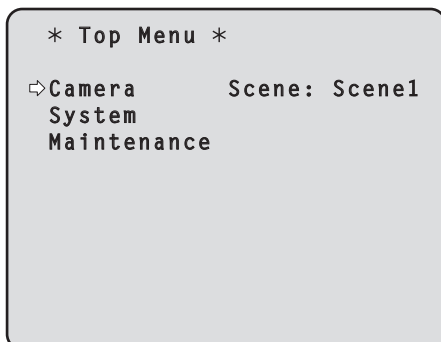
ワイヤレスリモコンで操作する場合



1.<CAM1>～<CAM4> ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ

2.<MENU> ボタンを約2秒間押す

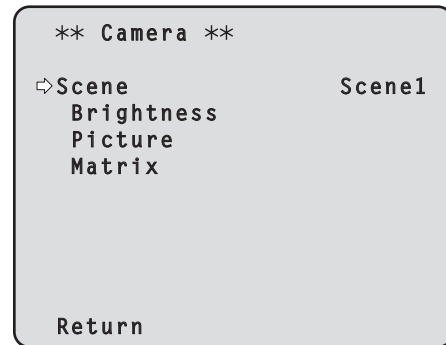
トップメニューが表示されます。



3.<▲>または<▼> ボタンを押して、[Camera]にカーソルを合わせる

4.<○> ボタンを押す

モニターに[Camera]サブメニューが表示されます。



5.<▲>または<▼> ボタンを押して、[Scene]にカーソルを合わせる

6.<○> ボタンを押す

撮影モードが点滅します。

7.<▲>または<▼> ボタンを押して、使用する撮影モード(Scene1、Scene2、Scene3、Scene4)を選択し、<○> ボタンを押して確定する

8.<MENU> ボタンを約2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影する

ワイヤレスリモコンで操作する場合

■ カメラの向きを変える

左右に動かす(パン)：
<◀>または<▶>ボタンを押す。

上下に動かす(チルト)：
<▲>または<▼>ボタンを押す。

斜めに動かす：
<▲>または<▼>ボタンと、<◀>または<▶>ボタンを同時に押す。

基準の位置に戻す：
<HOME>ボタンを約2秒間押す。

■ ズーム機能を使う

拡大(ズームイン)：
<ZOOM>の<T>ボタンを押す。

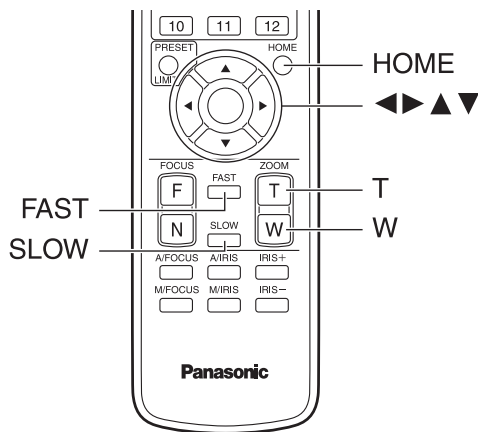
縮小(ズームアウト)：
<ZOOM>の<W>ボタンを押す。

■ パン・チルトやレンズの動作スピードを切り替える

高速にする：
<FAST>ボタンを押す。

低速にする：
<SLOW>ボタンを押す。

パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスの制御スピードが切り替わります。



コントローラーで操作する場合

■ カメラの向きを変える

左右に動かす(パン)：
<PAN/TILT>レバーをL方向またはR方向に傾ける。

上下に動かす(チルト)：
<PAN/TILT>レバーをUP方向またはDOWN方向に傾ける。

斜めに動かす：
<PAN/TILT>レバーを斜めに傾ける。

■ ズーム機能を使う

拡大(ズームイン)：
<ZOOM>レバーをTELE方向に傾ける。

縮小(ズームアウト)：
<ZOOM>レバーをWIDE方向に傾ける。

■ パン・チルトやレンズの動作スピードを切り替える

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影の基本操作で困ったときは

下記で解決しないときは、「故障と思ったら」(→111ページ)を参照してください。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

本機が動かない

- ・ <CAM1> ~ <CAM4> ボタンのいずれかを押して、操作したい本機を選択してください。
本機が1台のみの場合、通常は<CAM1> ボタンで選択できます。
- ・ IR IDスイッチが正しく設定されていることを確認してください。(→17ページ、21ページ)
- ・ 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。
「電源の入れ方」(→24ページ)を参照して電源を入れてください。
- ・ ワイヤレスリモコンを本機のワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、本機の状態表示ランプが点滅しない場合は、ワイヤレスリモコンの電池が消耗しています。
電池を交換してください。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

<MODE> ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

メニュー画面が表示される

<MENU> ボタンを2秒間押し、カメラメニューを終了してください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

<A/FOCUS> ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

- ・ <A/IRIS> ボタンを押して、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
- ・ <GAIN> の <AUTO> ボタンを押して、ゲイン調整を自動に切り替えてください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(→32ページ)を参照して[ATW]に切り替えてください。

カメラメニューが表示されない

カメラ再起動後、約1分以内にカメラメニューを起動すると、全出力にメニューが表示されます。
カメラメニュー[Others 3/4] 画面の[OSD Mix](→56ページ)の設定を確認してください。

より高度な使い方

マニュアル撮影(→29ページ)

- ・ フォーカスのマニュアル調整
- ・ アイリスのマニュアル調整
- ・ シャッタースピードのマニュアル調整
- ・ ゲインのマニュアル調整

プリセットメモリー(→30ページ)

- ・ カメラの向き(パンとチルト)、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲインアップ、ホワイトバランスを最大100件登録して、再生することができます。
- ・ 登録・再生できる件数は、操作に使用するワイヤレスリモコン(12件)やコントローラーの種類によって異なります。

ホワイトバランス調整(→31~32ページ)

- ・ 白を正確に表現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- ・ 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- ・ 照明条件、明るさが変わったときに必要です。
- ・ 一度調整すると、同条件で使うときは調整の必要はありません。
- ・ ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。

コントローラーで操作する場合

本機が動かない

- ・ 次の方法で、操作したい本機を選択してください。
AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。
- ・ 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。
「電源の入れ方」(→24ページ)を参照して電源を入れてください。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

<BARS> ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

メニュー画面が表示される

<CAMERA OSD> ボタンを押して、カメラメニューを終了してください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

<FOCUS> の <AUTO> ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

- ・ IRISの<AUTO> ボタンを押して、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
- ・ GAINの<AUTO> ボタンを押して、ゲイン調整を自動に切り替えてください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(→32ページ)を参照して[ATW]に切り替えてください。

カメラメニューが表示されない

カメラ再起動後、約1分以内にカメラメニューを起動すると、全出力にメニューが表示されます。
カメラメニュー[Others 3/4] 画面の[OSD Mix](→56ページ)の設定を確認してください。

ブラックバランス調整(→33ページ)

- ・ 黒を正確に再現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- ・ 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- ・ 周囲温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。
- ・ 一度調整すると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

黒レベル(マスターペダスタル)調整(→34ページ)

- ・ 複数のカメラの黒レベル(ペダスタルレベル)を合わせるときに調整します。
- ・ 調整は販売店に依頼してください。

ゲンロック調整(→35ページ)

- ・ 複数のカメラを使用するときや、ほかの機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるための調整です。
- ・ 調整は販売店に依頼してください。

マニュアル撮影

フォーカスのマニュアル調整

レンズのフォーカスをマニュアルで調整することができます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. <M/FOCUS> ボタンを押して、フォーカスをマニュアル調整に切り替える

2. <FOCUS> の <F> または <N> ボタンを押して、フォーカスを調整する

<F> ボタンを押すと遠くへ (Far)、<N> ボタンを押すと近くへ (Near) フォーカスが移動します。

また、<FAST>/<SLOW> ボタンでフォーカスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。

3. 必要に応じてフォーカスを自動調整に戻すには、<A/FOCUS> ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

- フォーカスがマニュアル設定のとき、パン、チルト、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。本機はその補正機能を持ちます。(Focus ADJ With PTZ.)
この機能は出荷状態では [On] に設定されています。
この機能を [Off] に設定した場合は、ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。
(→55ページ、81ページ、83ページ)

アイリスのマニュアル調整

レンズのアイリスをマニュアルで調整することができます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. <M/IRIS> ボタンを押して、アイリスをマニュアル調整に切り替える

2. <IRIS +> または <IRIS -> ボタンでアイリスを調整する

<IRIS +> ボタンを押すと開く方へ、<IRIS -> ボタンを押すと閉じる方へ動作します。

また、<FAST>/<SLOW> ボタンでアイリスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。

3. 必要に応じてアイリスを自動調整に戻すには、<A/IRIS> ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

- ナイトモードでは、盗撮防止のため、絞りは「開放」に設定されます。光源側で明るさを調整してください。

シャッタースピードのマニュアル調整

シャッタースピードは2種類の方法で設定することができます。ひとつは時間での指定方法 (1/250 秒など)、もうひとつは周波数での指定方法 (シンクロスキャン、60.15 Hz など) です。

テレビ画面やパーソナルコンピュータのモニターの画面を撮影するとき、画面の周波数に合わせてシンクロスキャンで調整すると、画面を撮影したときに発生する水平方向のノイズを最小限にできます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

カメラメニューにて調整します。
詳しくは、「Shutter Mode」(→46ページ)、「Step/Synchro」(→46ページ)を参照してください。

コントローラーで操作する場合

「設定の基本操作」(→36~44ページ)の操作要領で、「ワイヤレスリモコンで操作する場合」と同様に操作できます。

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ゲインのマニュアル調整

ゲインの調整は、ワイヤレスリモコンやコントローラーのボタンなどで調整する方法と、カメラメニューまたはWeb設定画面 [Setup] で調整する方法があります。カメラメニューとWeb設定画面 [Setup] では、より細かな調整が可能です。
詳しくは、「Gain」(→47ページ、76ページ)を参照してください。

<NOTE>

- ゲインを調整する際、光量が急激に変化する (映像出力にショックが出る) 場合があります。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. <Gain> の <OFF> / <LOW> / <HI> ボタンのいずれかを押す

ゲインアップを3段階で切り替えできます。

<LOW> ボタンは9 dB、<HI> ボタンは18 dBとなります。

2. 必要に応じてゲインを自動調整 (AGC) に戻すには、<Gain> の <AUTO> ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

どの場合も、自動調整 (AGC) の最大ゲインはカメラメニューまたはWeb設定画面 [Setup] で設定できます。
「AGC Max Gain」(→47ページ、76ページ)を参照してください。

プリセットメモリー

本機は、カメラの向き(パンとチルト)、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲイン、ホワイトバランスを最大100件登録し、再生することができます。ただし、操作に使用するワイヤレスリモコンやコントローラーの種類によって、登録・再生できる件数は異なります。

- フォーカスとアイリスについて、動作モード(マニュアル/オート設定)は登録・再生しません。現在のフォーカス値、アイリス値を登録します。
- フォーカスとアイリスは、マニュアル設定のときのみ再生できます。
- ホワイトバランスは、選択されているWhite Balance Modeの調整値が登録されます。AWB A、AWB Bを選択時にプリセット再生すると、プリセット登録時の調整値が再生されます。このとき、R Gain / B Gainの値は0に戻ります。

〈NOTE〉

- 登録時と再生時の環境温度が大きく異なると、プリセット位置にズレが生じる場合があります。
- ズレが生じた場合は、再登録をしてください。
- プリセット再生中にパン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスいずれかのマニュアル操作を行うと、パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスのプリセット動作を中断します。
- プリセット再生中に他のプリセット再生を呼び出した場合、再生中のプリセットを中断し、最後に呼び出したプリセット動作を行います。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

ワイヤレスリモコンで登録・再生が可能な件数は12件(プリセットNo.1~12)です。
<1>~<12>のボタンは、本機のプリセットメモリーNo.1~No.12に対応しています。

■ プリセットメモリーの登録

1.撮影する映像をモニターに映す

パン・チルトボタンやズームボタンを操作して、カメラアングルを決めます。
必要に応じてフォーカス、アイリス、ゲイン、ホワイトバランスを調整してください。

2.<PRESET> ボタンを押しながら、登録したいプリセットメモリーNo.のボタンを押す

- 登録済みのプリセットメモリーNo.を指定した場合は、以前の内容を消して新たに登録します。

■ プリセットメモリーの再生

1.プリセットメモリーが登録されているボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP50またはAW-RP120を接続している場合

登録・再生が可能な件数は100件です。
詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

AK-HRP200を接続している場合

プリセットメモリーの登録・再生はできません。

ホワイトバランス調整

白を正確に再現するために、RGB三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要です。

調整は、コントローラーの<AWB>ボタンを押したときに自動調整する「AWB」(自動ホワイトバランス調整)か、常時調整し続ける「ATW」(自動追尾式ホワイト調整)のどちらかを選択できます。

AWBの調整結果は、ホワイトバランスに「AWB A」または「AWB B」を選択したとき、AとBの2か所のメモリーにセット(記憶)しておくことができます。

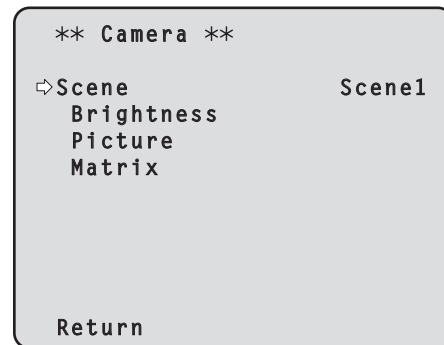
- 設定内容と同条件下で使用する場合は一度調整しておく、カメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で選択、またはコントローラーのボタンを押すだけで設定完了です。改めてセットする必要はありません。
- 新たにセットすると以前の内容は消去されます。
- ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。

撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。

自動調整(AWB : AWB A/AWB B)

ワイヤレスリモコンで操作する場合

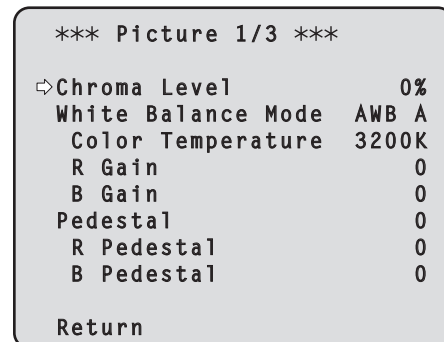
1. 白い被写体(白壁や白いハンカチなど)を画面いっぱいに映す
 - 光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。
- 手順2~8は、メモリー「AWB A」または「AWB B」を選択するための手順です。すでに選択済みの場合は不要です。
2. 「撮影モード(シーンファイル)の選択」(→26ページ)の手順で撮影モードを「Scene1」、「Scene2」、「Scene3」、「Scene4」のいずれかに設定する



3. <▲>または<▼>ボタンを押して、「Picture」にカーソルを合わせる

4. <○>ボタンを押す

[Picture 1/3]画面が表示されます。



5. <▲>または<▼>ボタンを押して、「White Balance Mode」にカーソルを合わせる

6. <○>ボタンを押す

[White Balance Mode]が点滅します。

7. <▲>または<▼>ボタンを押して、使用するWhite Balance Modeを「AWB A」または「AWB B」へ変更し、<○>ボタンを押して確定する

8. <MENU>ボタンを約2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

9. <SET> ボタンを約2秒間押す

自動ホワイトバランス調整 (AWB) と自動ブラックバランス調整 (ABB) を実行し、ホワイトバランスがセットされます。

- ・「OSD Status」(→56ページ)の設定が[On]のとき、ホワイトバランスの調整が正常に終了すると、画面の中央に「AWB OK」と表示されます。
ブラックバランスの調整が正常に終了すると、画面の中央に「ABB OK」と表示されます。



<NOTE>

- ・ブラックバランスも同時にセットされます。
このときレンズをクローズにして調整を行いますので、画面が一時黒くなります。
自動ホワイトバランス調整 (AWB) のみ実行したい場合は、<SET> ボタンを押す時間を2秒未満にしてください。
- ・カラーバーを表示していると、調整できません。
<MODE> ボタンを押してカメラ映像に切り替えてください。
- ・調整に失敗すると、「OUT RANGE NG」、「HIGH LIGHT NG」、「LOW LIGHT NG」、「ATW NG」などのエラーメッセージが表示されます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

- ・被写体照度が不足している場合は、ホワイトバランスが正しく調整できないことがあります。
- ・ホワイトバランスをセットしたあとは、本機の電源を切っても内蔵のメモリーに長時間保持されています。被写体の色温度の状態がセットする前と変わらなければセットし直す必要はありませんが、設定条件が変わる場合(撮影場所が屋外から屋内に変わる、またはその逆など)はホワイトバランスをセットし直してください。

自動追尾式ホワイト調整 (ATW)

ホワイトバランス調整を[ATW]に設定すると、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動補正し、違和感のない映像にします。

「ホワイトバランス調整」の「自動調整」の手順(→31ページ)で、[AWB A]や[AWB B]の代わりに[ATW]を選択すると機能します。

<NOTE>

- ・高輝度(蛍光灯など)が画面に入った場合、ATWが正しく動作しないときがあります。
- ・画面上に白い被写体がない場合、ホワイトバランスがずれることがあります。
- ・太陽光と蛍光灯など、異なる種類の光源がある場合、ホワイトバランスがずれることがあります。

3200K・5600Kプリセット

ホワイトバランスに[3200K]または[5600K]を選択すると、それぞれ色温度3200 K(ハロゲンライト相当)、5600 K(デイライト相当)でホワイトバランスがセットされた状態になります。
「ホワイトバランス調整」の「自動調整」の手順(→31ページ)で、[AWB A]や[AWB B]の代わりに[3200K]または[5600K]を選択すると機能します。
(コントローラーからは、メニューを表示しての操作のみ可能です。「設定の基本操作」(→36ページ)をご覧ください。)

VAR

ホワイトバランスに「VAR」を選択すると、色温度2000 K～15000 Kを選択することができます。

<NOTE>

- ・表示されている[VAR]の値は、絶対値を保証するものではありません。
参考値としてご使用ください。

ブラックバランス調整

黒を正確に再現するために、RGB三原色のゼロレベルを調整します。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 周囲の温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。

自動調整

ワイヤレスリモコンで操作する場合

手順は「ホワイトバランス調整」の「自動調整」(→31ページ)と同じです。自動ホワイトバランス調整(AWB)と自動ブラックバランス調整(ABB)を実行し、ブラックバランスをセットすることができます。

- ホワイトバランスも同時にセットされますので、ホワイトバランスを調整する条件を整えてから行ってください。
- カラーバーを表示していると、調整できません。
[MODE]ボタンを押してカメラ映像に切り替えてください。

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

黒レベル(マスターペDESTAL)調整

本機を含むカメラを複数台使用しているときに、黒レベルを合わせるすることができます。調整は販売店に依頼してください。
(調整はオシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用)
黒レベルの調整は、使用する機器に合わせてください。

コントローラーで操作する場合

AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200を接続している場合
コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1.<M/IRIS> ボタンを押す

アイリスをマニュアルモードにします。

2.<IRIS -> ボタンを押す

レンズのアイリスを絞り込みます。

3.<▲>または<▼> ボタンを押して、[Picture]にカーソルを合わせる

4.<○> ボタンを押す

[Picture 1/3]画面が表示されます。

*** Picture 1/3 ***	
⇨ Chroma Level	0%
White Balance Mode	AWB A
Color Temperature	3200K
R Gain	0
B Gain	0
Pedestal	0
R Pedestal	0
B Pedestal	0
Return	

5.<▲>または<▼> ボタンを押して、[Pedestal]にカーソルを合わせる

*** Picture 1/3 ***	
Chroma Level	0%
White Balance Mode	AWB A
Color Temperature	3200K
R Gain	0
⇨ B Gain	0
Pedestal	0
R Pedestal	0
B Pedestal	0
Return	

6.<○> ボタンを押し、[Pedestal]の値を点滅させる

7.<▲>または<▼> ボタンを押して、[Pedestal]の数値を変更し、<○> ボタンを押して確定する

黒レベルが、同じになるように調整します。



[R Pedestal]、[B Pedestal]の設定で微調整ができます。(→48ページ、78ページ)

8.<MENU> ボタンを約2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

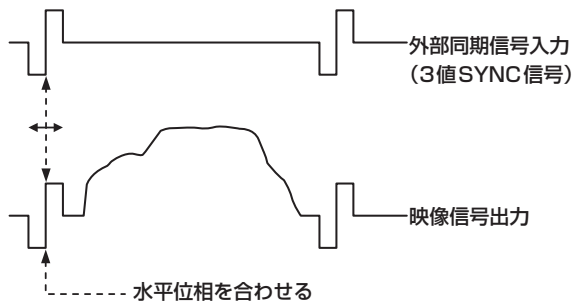
9.必要に応じて、<A/IRIS> ボタンを押して、アイリスを自動調整にする

ゲンロック調整

本機を複数台使用するときや、ほかの機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるためには位相調整する必要があります。本機はBBSおよび3値同期の外部同期信号に対応します。調整は販売店に依頼してください。
(調整は2現象オシロスコープを使用)

水平位相調整

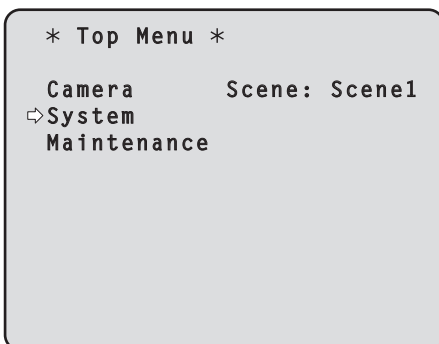
外部同期信号入力(3値SYNC信号)と映像信号出力の波形を2現象オシロスコープで観測し、水平位相が合うようにワイヤレスリモコンまたはコントローラーで調整します。



例) 3値SYNC位相調整の場合

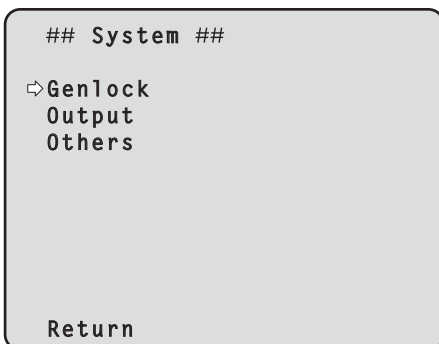
ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. 「設定の基本操作」(→36ページ)の操作要領で、トップメニューを表示させる
2. <▲>または<▼>ボタンを押して、[System]にカーソルを合わせる



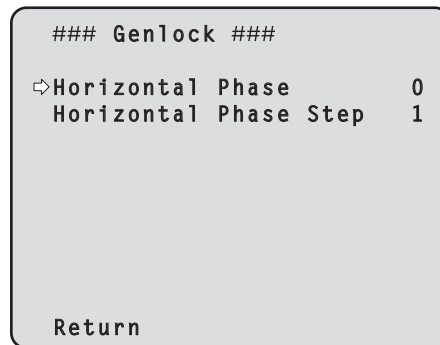
3. <○>ボタンを押す

[System]画面が表示されます。



4. <▲>または<▼>ボタンを押して、[Genlock]にカーソルを合わせ、<○>ボタンを押す

[Genlock]サブメニューが表示されます。



5. <▲>または<▼>ボタンを押して、[Horizontal Phase]にカーソルを合わせ、<○>ボタンを押す

[Horizontal Phase]の値が点滅します。

6. <▲>または<▼>ボタンを押して、[Horizontal Phase]の値を変更し、水平位相が合うように調整し、<○>ボタンを押す

[Horizontal Phase Step]で調整量を選択できます。

7. <MENU>ボタンを2秒間押す

カメラメニュー表示を終了します。

コントローラーで操作する場合

「設定の基本操作」(→36~44ページ)の操作要領で、カメラメニューより操作できます。

設定の基本操作

本機の設定を行うときは、モニターにカメラメニューを表示します。モニターは、映像信号の出力端子に接続します。カメラメニューの基本操作は、トップメニューの項目からサブメニューに入り、設定を行います。サブメニューには、さらに詳細な設定を行うメニュー項目を持っているものもあります。

カメラメニューの操作は、ワイヤレスリモコンで行います。コントローラーを接続している場合は、コントローラーからも操作できます。

〈NOTE〉

- コントローラーが、下記のバージョンであることを確認してください。
AW-RP50 : Ver3.00.00以上
AW-RP120 : Ver2.00.00以上
AK-HRP200 : Ver4.00-00-0.00以上
バージョンが古い場合はアップデートが必要です。
アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
日本語 : <https://panasonic.biz/cns/sav/>
英語 : <https://pro-av.panasonic.net/>

ここでは、ワイヤレスリモコンとコントローラー (AW-RP50、AW-RP120またはAK-HRP200) でカメラメニュー項目を変更するための基本操作を説明します。

各項目についての操作は、ワイヤレスリモコンを使って行う操作手順のみを記載します。
コントローラーでの操作は、下記の基本操作を参考に読み替えてください。
また、コントローラーの取扱説明書も参照してください。

■ ワイヤレスリモコン、コントローラーでの操作一覧

カメラメニューの操作	ワイヤレスリモコン	コントローラー		
		AW-RP50	AW-RP120	AK-HRP200
操作するカメラを選ぶ	<CAM1>～<CAM4>ボタンのいずれかを押す。	<CAMERA STATUS> / <SELECTION>のいずれかのボタンを押す。		1. <SELECT> ボタンを約2秒間押す。 →カメラナンバー表示部のカメラ番号が点滅します。 2. 点灯している<UP> / <DOWN> ボタンを押す。 →点灯している<UP> / <DOWN> ボタンを選択し、カメラ番号を選択します。 3. <SELECT> ボタンを押す。 →選択したカメラの制御が可能になります。
トップメニューを表示する	<MENU> ボタンを2秒間押す。	<CAMERA OSD> ボタンを約2秒間押す。		<CHARA/MENU> ボタンを約2秒間押す。
項目を選ぶ	<▲>または<▼> (<◀>または<▶>) ボタンを押す。	<F1>ダイヤルを回す。		<SELECT>ダイヤルを回す。
サブメニューを表示させる	<O> ボタンを押す。	<F1>ダイヤルを押す。		<SELECT>ダイヤルを押す。
ひとつ前のメニューに戻る	[Return]にカーソルを合わせた状態で、<O> ボタンを押す。	[Return]にカーソルを合わせた状態で<F1>ダイヤルを押す。		[Return]にカーソルを合わせた状態で<SELECT>ダイヤルを押す。
設定値を変更する	変更したい項目にカーソルを合わせた状態で、<O> ボタンを押す、値を点滅させる。 <▲>または<▼> (<◀>または<▶>) ボタンにて値を変更し、<O> ボタンを押して確定させる。	1. <F1>ダイヤルを押し、設定値を点滅させる。 2. <F1>ダイヤルを回し、設定値を変更する。 3. <F1>ダイヤルを押し、設定値を確定 (点滅が停止) させる。		1. <SELECT>ダイヤルを押し、設定値を点滅させる。 2. <SELECT>ダイヤルを回し、設定値を変更する。 3. <SELECT>ダイヤルを押し、設定値を確定 (点滅が停止) させる。
設定変更をキャンセルする	設定値が点滅中に、<MENU> ボタンを短く (2秒未満) 押す。	—		—
カメラメニュー操作を終了する	<MENU> ボタンを約2秒間押す。	<CAMERA OSD> ボタンを約2秒間押す。		<CHARA/MENU> ボタンを約2秒間押す。

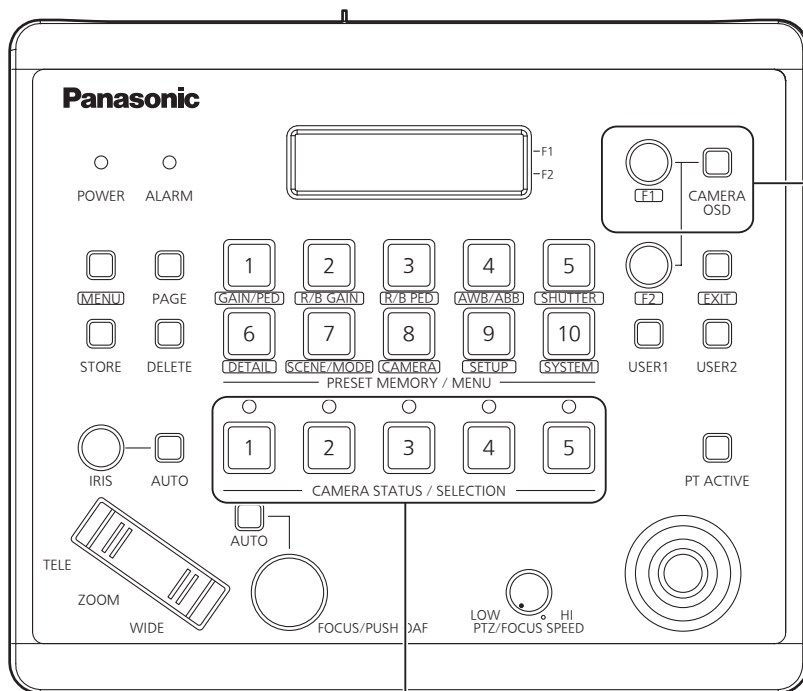
〈NOTE〉

- メニューの操作および終了は、トップメニューを表示させたコントロール機器で行ってください。もし他のコントロール機器でメニューの操作や終了を行った場合は、まず一方の機器でトップメニューの表示と終了を行い、さらにもう一方の機器でトップメニューの表示と終了を行ってください。
- 本機のメニュー操作方法は、発売済みのコンバーチブルカメラやHDインテグレートッドカメラとは異なることがあります。詳しくは、各カメラの取扱説明書を参照してください。
- 使用するコントローラーにより、カメラの反応速度が若干変わります。

ワイヤレスリモコンでの操作

- 1.<CAM1> ~ <CAM4> ボタンのいずれかを押し、操作したい本機を選ぶ**
- 2.<MENU> ボタンを約2秒間押す**
トップメニューが表示されます。
- 3.<▲>または<▼> ボタンを押し、選択したい項目にカーソルを合わせる**
<▲>または<▼> ボタンを押すごとに、カーソルが移動します。
<◀>または<▶> ボタンでも同様にカーソルを移動できます。
- 4.<○> ボタンを押す**
選択した項目のサブメニューが表示されます。
(サブメニューの項目には、さらにサブメニューを持っているものもあります。)
- 5.<▲>または<▼> ボタンを押し、設定したい項目にカーソルを合わせる**
<▲>または<▼> ボタンを押すごとに、カーソルが移動します。
<◀>または<▶> ボタンでも同様にカーソルを移動できます。
[Return]にカーソルを合わせた状態で<○> ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- 6.<○> ボタンを押す**
設定したい項目の値が点滅します。
- 7.<▲>または<▼> ボタンを押し、設定値を変更する**
<◀>または<▶> ボタンでも同様に設定値を変更できます。
- 8.<○> ボタンを押す**
設定したい項目の値が確定し、点滅が止まります。
- 9.設定が終わったら、<MENU> ボタンを約2秒間押す**
カメラメニュー表示を終了します。

リモートカメラコントローラーAW-RP50での操作



カメラメニューを操作します。
 CAMERA OSD :
 約2秒間押すと、選択しているカメラのメニューがカメラ出力映像にオーバーラップして表示されます。また、カメラメニュー表示中に約2秒間押すと、メニューが消えます。
 F1 : カメラメニューでカーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするときにF1を回します。また一階層深いメニューに入ったり、最下層で設定値の変更を行ったりするときはF1を押します。

操作するカメラを選択します。

■ カメラメニューの操作

- 1.<CAMERA STATUS/SELECTION> ボタンのいずれかを押し、操作したい本機を選ぶ
- 2.AW-RP50の<CAMERA OSD> ボタンを約2秒間押す
モニター上にAW-HN130のカメラメニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して、AW-HN130のカメラメニュー項目の選択、データ変更を行う
カーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするときに<F1>ダイヤルを回します。
また、一階層深いメニューに入ったり、最下層で点滅中の設定値の変更を行うときには、<F1>ダイヤルを押します。
- 4.カメラメニューを終了する場合は、<CAMERA OSD> ボタンを約2秒間押す

■ デイモード / ナイトモードの切り替え

- 1.AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
- 2.<PRESET MEMORY/MENU> の<9 (SETUP)> ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[SETUP]メニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して[FUNCTION] を選択して、<F1>ダイヤルを押す
- 4.<F1>ダイヤルを回して[OPTION] を選択する
LCDパネルの右下 (F2 エリア) に[Off]または[On]が表示されます。

- 5.<F2>ダイヤルを回して[Off]と[On]を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す
Off : デイモード
On : ナイトモード

■ 色温度 (COLOR TEMP) の設定

- 1.AW-RP50の<MENU> ボタンを押す
<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。
- 2.<PRESET MEMORY/MENU> の<4 (AWB/ABB)> ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[AWB/ABB]メニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して[VAR] を選択する
色温度の設定状態になります。[VAR]にすると、初めはカメラが保持している色温度になります。
調整する場合は、続けて以下の操作を行ってください。
- 4.<PRESET MEMORY/MENU 8 (CAMERA)> ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[GROUP]メニューが表示されます。
- 5.<F1>ダイヤルを回して[Color Temp] を選択し、<F1>ダイヤルを押す
LCDパネルの右下 (F2 エリア) に色温度が表示されます。
- 6.<F2>ダイヤルを回して色温度を選択し、<F2>ダイヤルを押す

■ プリセットスピード (PRESET SPEED) のテーブルの設定

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す

<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。

2. <PRESET MEMORY/MENU>の<9 (SETUP)> ボタンをONにする

ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。

3. <F1>ダイヤルを回して [PRESET] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

4. <F1>ダイヤルを回して [PRESET SPEED] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Slow] または [Fast] が表示されません。

5. <F2>ダイヤルを回して [Slow] と [Fast] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す

■ プリセット再生中の映像をフリーズさせる (FREEZE DURING)

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す

<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。

2. <PRESET MEMORY/MENU>の<9 (SETUP)> ボタンを押す

ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。

3. <F1>ダイヤルを回して [FUNCTION] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

4. <F1>ダイヤルを回して [FREEZE DURING] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。

5. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す

Off: プリセット再生中の映像をフリーズしない
On: プリセット再生中の映像をフリーズする

■ 光学式画揺れ補正機能 (OIS) の設定

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す

<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。

2. <PRESET MEMORY/MENU>の<9 (SETUP)> ボタンを押す

ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。

3. <F1>ダイヤルを回して [FUNCTION] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

4. <F1>ダイヤルを回して [I.S.] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。

5. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す

Off: 光学式画揺れ補正機能Off
On: 光学式画揺れ機能On

■ デジタルエクステンダー (D.EXTENDER) の設定

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す

<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。

2. <PRESET MEMORY/MENU>の<9 (SETUP)> ボタンを押す

ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。

3. <F1>ダイヤルを回して [FUNCTION] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

4. <F1>ダイヤルを回して [D.EXTENDER] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。

5. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す

Off: デジタルエクステンダー機能Off
On: デジタルエクステンダー機能On

■ USERボタンへの「FREEZE DURING」、「COLOR TEMP」、「D.EXT」の割り当て

プリセット再生中の映像をフリーズする機能 (FREEZE DURING) の Off/On、色温度設定 (COLOR TEMP) の Off/On、およびデジタルエクステンダー機能 (D.EXT) の Off/On を USER ボタンへ割り当てることが出来ます。

1. AW-RP50の<MENU> ボタンを押す

<MENU> ボタンが点灯し、<PRESET MEMORY/MENU> ボタンが選択可能になります。

2. <PRESET MEMORY/MENU>の<9 (SETUP)> ボタンを押す

ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER]メニューが表示されます。

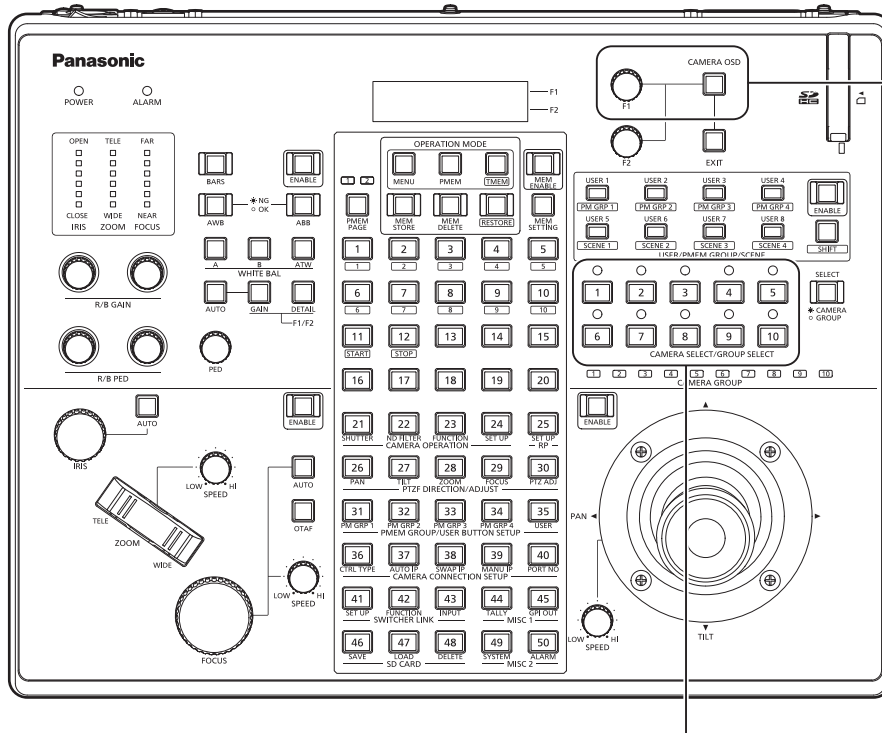
3. <F1>ダイヤルを回して [USER 1] もしくは [USER 2] を選択し、<F1>ダイヤルを押す

LCDパネルの右下 (F2エリア) に USER ボタンへの割り当てが可能な機能が表示されます。

4. <F2>ダイヤルを回して [FREEZE DURING]、[COLOR TEMP]、または [D.EXT] を選択して、<F2>ダイヤルを押す。

FREEZE DURING: プリセット再生中の映像をフリーズする機能
COLOR TEMP: 色温度設定
D.EXT: デジタルエクステンダー機能

リモートカメラコントローラー AW-RP120での操作



カメラメニューを操作します。
CAMERA OSD :
約2秒間押しすると、選択しているカメラのメニューがカメラ出力映像にオーバーラップして表示されます。また、カメラメニュー表示中に約2秒間押しすると、メニューが消えます。
F1 : カメラメニューでカーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするときにはF1を回します。また一階層深いメニューに入ったとき、最下層で設定値の変更を行ったりするときにはF1を押しします。

操作するカメラを選択します。

■ カメラメニューの操作

- 1.<CAMERA SELECT/GROUP SELECT>の<1>～<10>のいずれかのボタンを押して、操作したい本機を選ぶ
- 2.AW-RP120の<CAMERA OSD>ボタンを約2秒間押し
モニター上にAW-HN130のカメラメニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して、AW-HN130のカメラメニュー項目の選択、データ変更を行う
カーソルを上下に移動したり、設定値を変更したりするときには<F1>ダイヤルを回します。
また、一階層深いメニューに入ったとき、最下層で点滅中の設定値の変更を行ったりするときには、<F1>ダイヤルを押しします。
- 4.カメラメニューを終了する場合は、<CAMERA OSD>ボタンを約2秒間押し

■ デイモード/ナイトモードの切り替え

- 1.AW-RP120の<MENU>ボタンを押す
<MENU>ボタンが点灯します。
- 2.FUNCTIONメニュー<23>ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して[FUNCTION]を選択し、<F1>ダイヤルを押す
- 4.<F1>ダイヤルを回して[OPTION]を選択する
LCDパネルの右下(F2 エリア)に[Off]または[On]が表示されます。
- 5.<F2>ダイヤルを回して[Off]と[On]を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す
Off : デイモード
On : ナイトモード

■ 色温度 (COLOR TEMP) の設定

- 1.<EXIT>ボタンと<WHITE BAL>の<ATW>ボタンを同時に押す
<WHITE BAL>の<A> / / <ATW>ボタンが点灯し、色温度設定モードに移行します。
このとき、色温度の設定値がLCDに表示されます。
- 2.<F1>ダイヤルを回して、色温度を変更する
<WHITE BAL>の<A>ボタン、ボタン、<ATW>ボタンを押すと、選択したボタンのモードに戻ります。
一定時間が経過すると、色温度設定モードから元のモードに切り替わります。再度、色温度設定を行うときは、<EXIT>ボタンと<WHITE BAL>の<ATW>ボタンを同時に押ししてください。

■ プリセットスピード (PRESET SPEED) のテーブルの設定

- 1.AW-RP120の<MENU>ボタンを押す
<MENU>ボタンが点灯します。
- 2.FUNCTIONメニュー<23>ボタンを押す
ボタンが点灯し、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
- 3.<F1>ダイヤルを回して[PRESET SPEED]を選択し、<F1>ダイヤルを押す
LCDパネルの右下(F2 エリア)に[Slow]または[Fast]が表示されます。
- 4.<F2>ダイヤルを回して[Slow]と[Fast]を切り替えて、<F2>ダイヤルを押す

■ プリセット再生中の映像をフリーズさせる (FREEZE DURING)

1. AW-RP120の<MENU> ボタンを押す
 <MENU>ボタンが点灯します。
2. FUNCTIONメニュー<23> ボタンを押す
 ボタンが点灯し、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [FREEZE DURING] を選択し、
 <F1>ダイヤルを押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>
 ダイヤルを押す
 Off：プリセット再生中の映像をフリーズしない
 On：プリセット再生中の映像をフリーズする

■ 光学式画揺れ補正機能 (OIS) の設定方法

1. AW-RP120の<MENU> ボタンを押す
 <MENU>ボタンが点灯します。
2. FUNCTIONメニュー<23> ボタンを押す
 ボタンを押すと、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [I.S.] を選択し、<F1>ダイヤルを
 押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>
 ダイヤルを押す。
 Off：光学式画揺れ補正機能 Off
 On：光学式画揺れ補正機能 On

■ デジタルエクステンダー (D.EXTENDER) の設定方法

1. AW-RP120の<MENU> ボタンを押す
 <MENU>ボタンが点灯します。
2. FUNCTIONメニュー<23> ボタンを押す
 ボタンを押すと、LCDパネルに[OPTION]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [D.EXTENDER] を選択し、<F1>
 ダイヤルを押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) に [Off] または [On] が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して [Off] と [On] を切り替えて、<F2>
 ダイヤルを押す。
 Off：デジタルエクステンダー機能 Off
 On：デジタルエクステンダー機能 On

■ USERボタンへの[FREEZE DURING]、[COLOR TEMP]、[D.EXT]の割り当て

プリセット再生中の映像をフリーズする機能 (FREEZE DURING) の Off/On、色温度設定 (COLOR TEMP) の Off/On、およびデジタルエクステンダー機能 (D.EXT) の Off/On を USER ボタンへ割り当てること
が出来ます。

1. AW-RP120の<MENU> ボタンを押す
 <MENU>ボタンが点灯します。
2. USERメニュー<35> ボタンを押す
 ボタンが点灯し、LCDパネルに[USER1]メニューが表示されます。
3. <F1>ダイヤルを回して [USER1] ~ [USER8] を選択し、
 <F1>ダイヤルを押す
 LCDパネルの右下 (F2エリア) に USER ボタンへの割り当てが可能な
機能が表示されます。
4. <F2>ダイヤルを回して [FREEZE DURING]、[COLOR
 TEMP]、または [D.EXT] を選択して、<F2>ダイヤルを押
す。
 FREEZE DURING：プリセット再生中の映像をフリーズ機能
 COLOR TEMP：色温度設定
 D.EXT：デジタルエクステンダー機能

<NOTE>

- ・ [FOCUS] のインジケーターが正しく表示されない場合があります。

設定の基本操作 (つづき)

リモートオペレーションパネルAK-HRP200から可能な操作は以下の通りです。
操作の詳細は、AK-HRP200の取扱説明書<基本編>を参照してください。

	操作子/表示器名	表示	AW-HN130	その他・備考
1	カメラ電源スイッチ	HEAD POWER	使用可能	
2	VF電源オフスイッチ	VF POWER	—	
3	カラーバー信号出力スイッチ	BARS/TEST	制限付きで可能	TEST_ONへは移行しない
4	オートホワイトバランススイッチ	AUTO WHITE	使用可能	AWB/ABB受付後、実行中状態を最低2秒間維持
5	オートブラックバランススイッチ	AUTO BLACK	使用可能	AWB/ABB受付後、実行中状態を最低2秒間維持
6	オートセットアップスイッチ	AUTO SETUP	—	
7	5600kスイッチ	5600k	—	
8	マトリクススイッチ	MATRIX	—	
9	肌色ディテールスイッチ	SKIN DTL ON	—	
10	ニーOFFスイッチ	KNEE OFF	—	
11	ディテールOFFスイッチ	DTL OFF	使用可能	
12	シャッターON/OFFスイッチ、 兼STEP/SYNC選択スイッチ	SHUTTER ON STEP/SYNC	制限付きで可能	SYNCから移行時は、固定のシャッター値になります(No.36参照)。
13	シーン/ユーザーファイル選択切り替え スイッチ	SCENE/USER FILE SHIFT	—	
14	シーン/ユーザーファイル1 選択スイッチ	SCENE/USER FILE 1	使用可能	
15	シーン/ユーザーファイル2 選択スイッチ	SCENE/USER FILE 2	使用可能	
16	シーン/ユーザーファイル3 選択スイッチ	SCENE/USER FILE 3	使用可能	
17	シーンファイル4 選択スイッチ	SCENE FILE 4	使用可能	
18	シーン/ユーザーファイル登録スイッチ	SCENE/USER FILE STORE	—	
19	ボリュームロックスイッチ	VOL LOCK	使用可能	
20	Rゲインボリューム	GAIN R	使用可能	
21	Bゲインボリューム	GAIN B	使用可能	
22	Rフレア/ペダスタルボリューム	FLARE / PED	PED: 使用可能 FLR: —	
23	Bフレア/ペダスタルボリューム	FLARE / PED	PED: 使用可能 FLR: —	
24	DTLボリューム	DTL	—	
25	データセット(上)	DATA SET UP	使用可能	
26	データセット(下)	DATA SET DOWN	使用可能	
27	調整値表示部	なし	使用可能	
28	IRIS表示部	IRIS	制限付きで可能	操作可、IRIS値の表示は行えません。
29	ND/CC表示選択スイッチ	DISPLAY SELECT	制限付きで可能	ZOOM/FOCUS MODE切り替えとして 使用
		ND/CC		ND/ ZOOM/FOCUS MODE切り替え として使用
30	ND表示部	ND	使用可能	
31	CC表示部	CC	—	
32	M.GAIN / M.PED表示	DISPLAY SELECT	使用可能	
	選択スイッチ	M.GAIN/M.PED		
33	M.GAIN表示部	M.GAIN	使用可能	
34	M.PED表示部	M.PED	使用可能	
35	SHUTTER表示選択	DISPLAY SELECT	使用可能	
	スイッチ	SHUTTER		
36	SHUTTER表示部	SHT	制限付きで可能	SYNCから移行時は、固定のシャッター値になります。 • 59.94p,59.94iのとき: 1/100 • 29.97pのとき: 1/120 • 23.98pのとき: 1/120 • 50p,50iのとき: 1/120 • 25pのとき: 1/120
37	SYNC表示部	SYNC	制限付きで可能	SYNC時は7SEGは"----"表示となります
38	カメラナンバー表示部	CAM No.	使用可能	
39	カメラナンバー10位表示部	10-19	使用可能	
40	カメラ選択スイッチ	CAM SEL	使用可能	

設定の基本操作 (つづき)

	操作子/表示器名	表示	AW-HN130	その他・備考
41	メニュー/キャラクタースイッチ	CHARA MENU ON/OFF	使用可能	
42	選択ロータリースイッチ	SELECT	使用可能	MENU ON時のみ有効 「ZOOM」選択中は、選択ダイヤルで「FOCUS」調整を可能にする。 「FOCUS」選択中は、選択ダイヤルで「ZOOM」調整を可能にする。
43	レッド/グリーンタリー表示部、コールスイッチ	TALLY/CALL	制限付きで可能	CALLは無効です。
44	アラーム表示部	ALARM	—	
45	光アラーム表示部	OPT	—	
46	アイリス/マスターペダスタルロック	IRIS/M.PED LOCK	使用可能	
47	アイリスレバー	IRIS (↑↓)	制限付きで可能	7SEGでIRIS値は表示は行いません。
48	マスターペダスタルボリューム	M.PED (← →)	使用可能	
49	プレビュースイッチ	PUSH PREVIEW	—	
50	フェーダーフルスイッチ	FEDER FULL	—	
51	オートアイリススイッチ	AUTO	使用可能	
52	アイリスクローズスイッチ	CLOSE	—	
53	センスボリューム	SENSE	制限付きで可能	ZOOM/FOCUS SPEED調整用となります
54	コースボリューム	COARSE	—	
55	レンズエクステンダー表示	EXT	—	
56	デジタルエクステンダー表示	D.EXT	デジタルエクステンダーがONのときに点灯	
57	SDカードアクセス中表示	SD CARD	使用可能	
63	ズーム		使用可能	「ZOOM」選択中は、選択ダイヤルで「FOCUS」調整を可能にします。
64	フォーカス		使用可能	「FOCUS」選択中は、選択ダイヤルで「ZOOM」調整を可能にします。

カメラメニュー項目

カメラメニュー項目の設定

本機の設定を行うときは、モニターにカメラメニューを表示します。モニターは、映像信号の出力端子に接続します。カメラメニューの基本操作は、トップメニューの項目からサブメニューに入り、設定を行います。サブメニューには、さらに詳細な設定を行うメニュー項目を持っているものもあります。ワイヤレスリモコン、コントローラー (AW-RP50、AW-RP120、AK-HRP200) でカメラメニューの表示や項目を変更するための「設定の基本操作」については、36～44ページを参照してください。

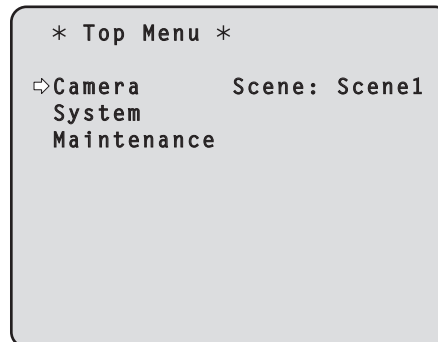
メニュータイトルにある「*」「#」マークは、現在表示中のメニューの階層を表しています。

例えば、「* Top Menu *」は第1階層、「** Camera **」 「## System ##」は第2階層を表示中であることを表しています。

「*」マークのメニュー項目は、シーンごとに保持されるデータ、「#」マークのメニュー項目は1台のカメラでシーンにかかわらず共通して保持されるデータを表しています。

工場出荷時の設定については、「カメラメニュー項目一覧」(→59ページ)をご覧ください。

トップメニュー (Top Menu) 画面



Camera

カメラ映像に関するカメラメニューを開きます。

System

ゲンロック (外部同期) 位相調整やカメラの出力映像の設定などに関する System メニューを表示します。

Maintenance

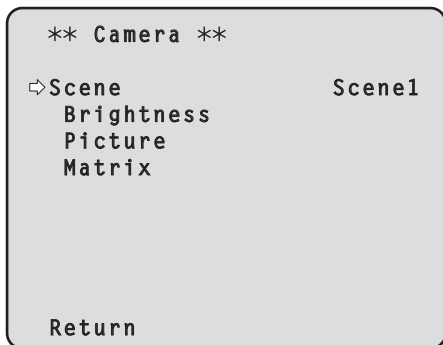
本機のファームウェアバージョンの確認や、設定の初期化に関する Maintenance メニューを表示します。

〈NOTE〉

- トップメニューには [Return] がありません。メニュー画面を閉じる場合には、コントローラーでメニュー画面を閉じる操作を行ってください。詳細は、「設定の基本操作」(→36～44ページ)を参照してください。

Camera画面

カメラ映像に関するメニューです。



Scene [Scene1、Scene2、Scene3、Scene4]

撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。
撮影条件やお好みに合わせて、撮影モードを選択してください。

Scene1、Scene2、Scene3、Scene4 :

撮影条件やお好みに合わせて、詳細な設定調整をマニュアル操作で行うモードです。

Brightness

映像の明るさを設定するBrightness画面を表示します。
明るさ調整メニューは、2画面 (Brightness 1/2、Brightness 2/2) あります。

Picture

画質調整を行うPicture画面を表示します。
画質調整メニューは、3画面 (Picture 1/3、Picture 2/3、Picture 3/3) あります。

Matrix

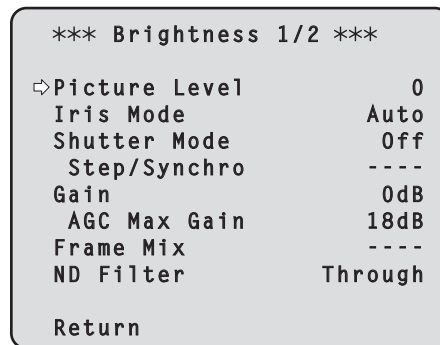
カラーマトリクスを設定を行うMatrix画面を表示します。
カラーマトリクス調整メニューは、5画面 (Matrix 1/5、Matrix 2/5、Matrix 3/5、Matrix 4/5、Matrix 5/5) あります。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Brightness 1/2画面

映像の明るさを設定するメニューです。



Picture Level [-50 ~ +50]

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。
次の自動露出補正機能のうち、いずれかが[Auto]もしくは[ELC]に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode]が[Auto]に設定されている場合
- [Shutter Mode]が[ELC]に設定されている場合
- [Gain]が[Auto]に設定されている場合

Iris Mode [Manual、Auto]

アイリス調整の自動/手動を選択します。

Manual	手動でアイリス調整を行います。
Auto	[Picture Level]で設定した目標レベルになるように自動露出補正を行います。

<NOTE>

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Iris Mode]は[Auto]に設定できません。

Shutter Mode [Off、Step、Synchro、ELC]

カメラのシャッターモードを選択します。

Off	シャッターをOFFにします。
Step	ステップシャッターの設定 (段階可変) を行います。
Synchro	シンクロシャッターの設定 (連続可変) を行います。
ELC	電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

Step/Synchro

[Shutter Mode]で指定したモードのシャッター速度の調整を行います。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

【Frequency設定が59.94 Hzの場合】

	【Shutter Mode】項目で【Step】を選択した場合	【Shutter Mode】項目で【Synchro】を選択した場合
59.94p/ 59.94iのとき	1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	60.15Hz ~ 642.21Hz (255段階)
29.97pのとき	1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	
23.98pのとき	1/24, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	

[Frequency設定が50 Hzの場合]

	[Shuter Mode]項目で「Step」を選択した場合	[Shutter Mode]項目で「Synchro」を選択した場合
50p/50iのとき	1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	50.15Hz～535.71Hz (255段階)
25pのとき	1/25, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	

(NOTE)

- 29.97Pモード、23.98Pモード、25Pモードでは、[Shutter Mode]で[Off]に設定した場合はシャッター速度は[1/50]になります。

Gain [Auto, 0dB～36dB]

映像のゲイン調整を行います。暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げ調整してください。

[Auto]に設定すると、光量を自動調整します。

ゲインを上げるとノイズが多くなります。

(NOTE)

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Gain]は[Auto]に設定できません。

AGC Max Gain [6dB, 12dB, 18dB]

[Gain]で[Auto]を選択した場合の最大ゲインアップ量を設定します。

Frame Mix [Off, 6dB, 12dB, 18dB, 24dB]

フレーム加算(センサー蓄積によるゲインアップ)の量を設定します。フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。

フォーマットが1080/29.97p、1080/23.98p、1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、1080/25p、1080/25PsFのときは設定できません。

[Iris Mode]、[Gain]および[Focus Mode]のいずれかが[Auto]に設定されている場合、[Frame Mix]を[18dB]、[24dB]に設定できません。([Frame Mix]を[18dB]、[24dB]に設定するためには、[Iris Mode]および[Focus Mode]を[Manual]に設定し、[Gain]を[Auto]以外に設定する必要があります)

(NOTE)

- 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下では、明るさが同期的に変わったり、色が変わったり、横じまが上下に流れたりすることがあります。このようなときは、電子シャッター速度を電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをお勧めします。

ND Filter [Through, 1/8, 1/64]

レンズ内蔵のNDフィルター(減光フィルター)の透過率を設定します。

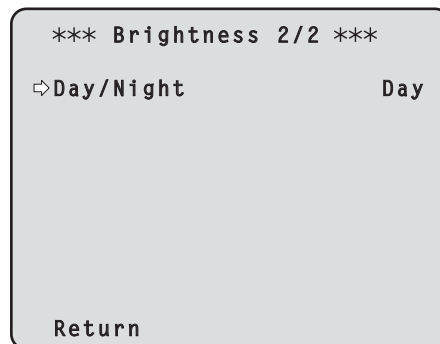
設定項目を確定した時点でフィルターが切り替わります。

Through	NDフィルターを設定しません。
1/8	NDフィルターの透過率を1/8に設定します。
1/64	NDフィルターの透過率を1/64に設定します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Brightness 2/2 画面



Day/Night [Day, Night]

通常撮影と暗視撮影(赤外線照射による暗視撮影)を切り替えます。

Day	通常撮影(デイトモード)
Night	暗視撮影(ナイトモード)

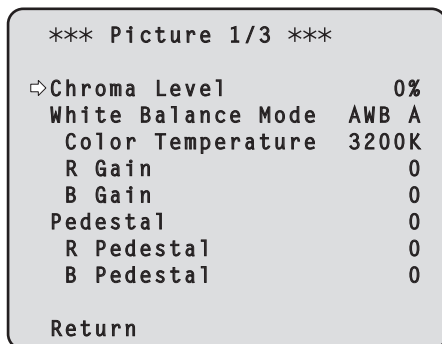
(NOTE)

- ナイトモード時、映像出力は白黒となります。また、レンズ絞りは強制的に開放となります。
- ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。
- ナイトモードでは、NDフィルターの切り替えができません。
- ナイトモードでは、[Pedestal]の調整はできません。

Return

一階層上のメニューに戻ります

Picture 1/3 画面



Chroma Level [OFF, -99% ~ 40%]

映像の色の濃淡を設定します。

White Balance Mode

[ATW, AWB A, AWB B, 3200K, 5600K, VAR]

ホワイトバランス(白バランス)のモードを設定します。光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。

ATW	常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正するモードです。
AWB A AWB B	[AWB A]、[AWB B]を選択してホワイトバランスを実行すると、その調整結果を記憶します。[AWB A]または[AWB B]を選択すると、記憶しているホワイトバランスを呼び出すことができます。
3200K	3200Kのハロゲンライトが光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
5600K	5600Kの太陽光や蛍光灯が光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
VAR	色温度2000K ~ 15000Kを指定できます。

Color Temperature [2000K ~ 15000K]

色温度2000 K ~ 15000 Kを指定できます。
[White Balance Mode]が[VAR]のときに有効です。

R Gain [-150 ~ +150]

Rゲインを調整できます。
[White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。

B Gain [-150 ~ +150]

Bゲインを調整できます。
[White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。

Pedestal [-150 ~ +150]

黒レベルの調整(ペダスタル調整)を行います。
マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

R Pedestal [-100 ~ +100]

Rペダスタルを調整できます。

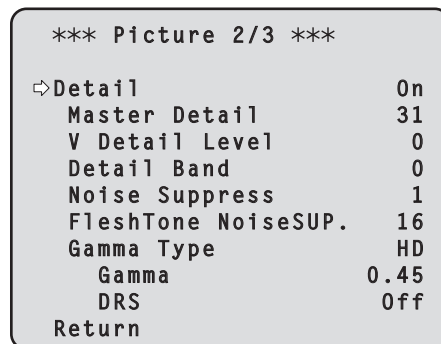
B Pedestal [-100 ~ +100]

Bペダスタルを調整できます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 2/3 画面



Detail [Off, On]

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のOn/Offを設定します。

Master Detail [0 ~ 62]

輪郭補正レベル(マスター)の調整を行います。

V Detail Level [-7 ~ +7]

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。

Detail Band [-7 ~ +7]

ディテールのブースト周波数を設定します。

-7 : 低周波数
 }
 +7 : 高周波数

高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果がつきます。

Noise Suppress [0 ~ 60]

ディテール効果による画面ノイズを軽減します。
設定値が大きいほどノイズが少なくなります。

FleshTone NoiseSUP. [0 ~ 31]

人の肌をなめらかに、よりきれいに映す機能です。
設定値が大きいほど、より効果が強調されます。

Gamma Type

[HD, SD, FILMLIKE1, FILMLIKE2, FILMLIKE3]

ガンマカーブのタイプを選択します。

HD	HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。
SD	HDガンマよりも暗部のゲインがアップしています。
FILMLIKE1	HDガンマに比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
FILMLIKE2	[FILMLIKE1]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
FILMLIKE3	[FILMLIKE2]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。

Gamma [0.30 ~ 0.75]

ガンマ補正レベルの調整を行います。
低い値を設定すると、低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブとなり、コントラストはシャープになります。
高い値を設定すると、暗い部分の階調度を広げて明るいトーンの映像にします。低輝度部の傾きが急なガンマカーブとなり、コントラストはソフトになります。

DRS [Off, Low, Mid, High]

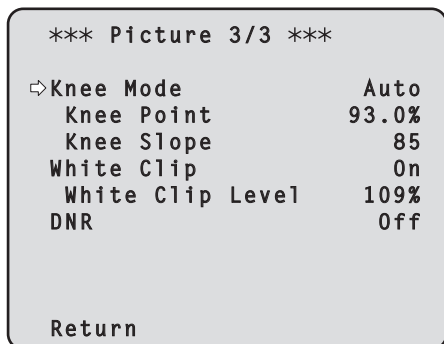
明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能を設定します。

[Low]、[Mid]、[High]から効果が選択できます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Picture 3/3 画面



Knee Mode [Off、Auto、Manual]

階調圧縮(ニー)の動作モードを設定します。

Off	ニーをオフにします。
Auto	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを自動で設定します。
Manual	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを手動で設定します。

Knee Point [70.0% ~ 107.0%]

高輝度映像信号の圧縮レベル(ニーポイント)の位置設定を行います。
 [Knee Mode]が[Manual]のときのみ有効です。

Knee Slope [0 ~ 99]

ニーの傾きを設定します
 [Knee Mode]が[Manual]のときのみ有効です。

<NOTE>

- [DRS]を有効にしているときは、ニーの設定が無効になります。

White Clip [Off、On]

ホワイトクリップ機能のOff、Onを設定します。

White Clip Level [90% ~ 109%]

ホワイトクリップレベルを設定します。
 [White Clip]が[On]のときのみ有効です

<NOTE>

- [Knee Mode]が[Auto]のとき、White Clipの値が変更されたときは、Kneeの値も追従して変更されます。

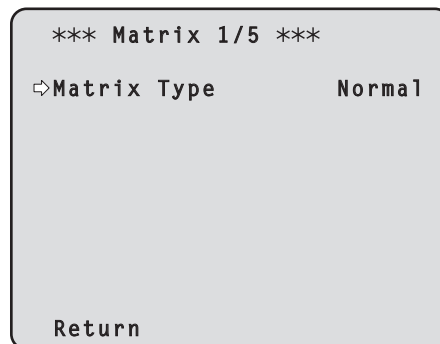
DNR [Off、Low、High]

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のレベルを設定します。
 [Low]、[High]を選択すると、ノイズを除去することができます。
 ただし、残像が増える場合があります。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 1/5 画面



Matrix Type [Normal、EBU、NTSC、User]

カラーマトリクスのタイプを選択します。

Normal	
EBU	プリセットされているカラーマトリクスデータを読み出し、彩度と色相の補正を行います。
NTSC	
User	[Matrix 2/5]画面で[Linear Matrix]の値を調整できます。 [Matrix 3/5]画面、[Matrix 4/5]画面、[Matrix 5/5]画面で[Color Correction]の値を調整できます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 2/5画面

```

*** Matrix 2/5 ***
      [Linear Matrix]
⇨ R-G          +2
  R-B           0
  G-R           0
  G-B          +8
  B-R          -6
  B-G           0

Return
    
```

Linear Matrix

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。

R-G	各軸方向の色調整を-63 ~ +63 の範囲で行います。
R-B	
G-R	
G-B	
B-R	
B-G	

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 3/5画面

```

*** Matrix 3/5 ***
      [Color Correction 1/3]
          Saturation  Phase
B_Mg  ⇨  -27      +19
Mg     -19      +10
Mg_R   -63      -4
Mg_R_R -48      -27
R       -9       -4
R_R_YI +62      +23

Return
    
```

Color Correction 1/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation[-63 ~ +63]
各色の飽和度を調整します。

Phase[-63 ~ +63]
各色の色相を調整します。

B_Mg	青とマゼンタの中間色
Mg	マゼンタ
Mg_R	マゼンタと赤の中間色
Mg_R_R	マゼンタと赤の比率が 1:3の色
R	赤
R_R_YI	赤と黄の比率が 3:1の色

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 4/5画面

```

*** Matrix 4/5 ***
  [Color Correction 2/3]
      Saturation   Phase
R_YI   ⇨  +63      +44
R_YI_YI  +44        0
YI      +63      +29
YI_G    +17      +20
G        +4      +26
G_Cy    0         0

Return
    
```

Color Correction 2/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation[-63 ~ +63]
各色の飽和度を調整します。

Phase[-63 ~ +63]
各色の色相を調整します。

R_YI	赤と黄の中間色
R_YI_YI	赤と黄の比率が1:3の色
YI	黄
YI_G	黄と緑の中間色
G	緑
G_Cy	緑とシアンの中間色

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Matrix 5/5画面

```

*** Matrix 5/5 ***
  [Color Correction 3/3]
      Saturation   Phase
Cy     ⇨  -21      +8
Cy_B   -15      +49
B       -12      +3

Return
    
```

Color Correction 3/3

[Matrix Type]が[User]の場合に設定が可能です。
飽和度と色相の調整を行います。

Saturation[-63 ~ +63]
各色の飽和度を調整します。

Phase[-63 ~ +63]
各色の色相を調整します。

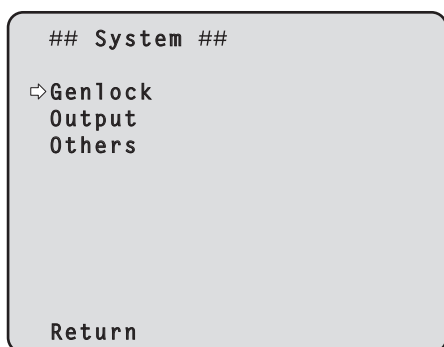
Cy	シアン
Cy_B	シアンと青の中間色
B	青

Return

一階層上のメニューに戻ります。

System画面

ゲンロック位相調整やカメラの出力映像の設定などに関するメニューです。



Genlock

位相調整を行う [Genlock] 画面を表示します。

Output

カメラの出力映像の設定を行う [Output] 画面を表示します。

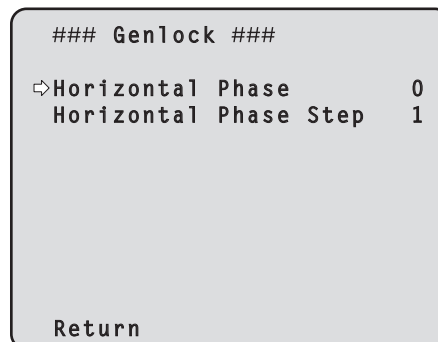
Others

本機の回転台部分の設置状態や動作スピードの設定など、その他の機能に関する設定を行う [Others] 画面を表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Genlock画面



Horizontal Phase [-206~+49]

ゲンロック時の水平位相の調整を行います。

Horizontal Phase Step [1 ~ 10]

[Horizontal Phase]の調整量を設定します。

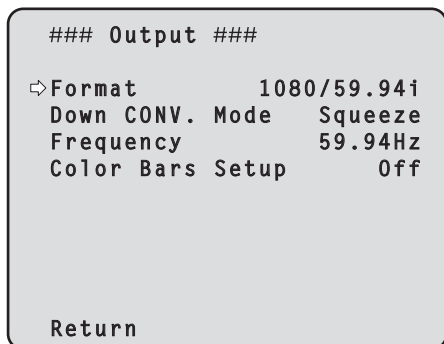
Return

一階層上のメニューに戻ります。

<NOTE>

- HD/SDの水平位相を個別に調整することはできません。VIDEO OUT出力のクロマ位相は調整することはできません。フリーランとなります。

Output画面



Format

[(59.94Hzのとき) 1080/59.94p、1080/29.97p*¹、1080/23.98p*²、1080/59.94i、1080/29.97PsF*²、1080/23.98PsF、720/59.94p、480/59.94p(i)、(50Hzのとき) 1080/50p、1080/25p*¹、1080/50i、1080/25PsF*³、720/50p、576/50p(i)]

*¹ Native出力

*² OVER 59.94i出力(ご使用になるモニターは、59.94iの信号として認識されます)

*³ OVER 50i出力(ご使用になるモニターは、50iの信号として認識されません)

映像フォーマットを変更します。

フォーマット変更方法の詳細については、「Format変更について」(→54ページ)を参照してください。

480/59.94p(i)、576/50p(i)の場合、HDMIにはP信号が出力されますが、SDI出力およびVIDEO出力にはI信号が出力されます。

Down CONV. Mode

[Squeeze、SideCut、LetterBox]

ダウンコンバートのモード選択を行います。

Squeeze	<p>モニターのアスペクト比が16：9の場合に使用します。また、モニターがアスペクト比4：3画面の場合は、横幅をつぶして上下に引き延ばした映像になります。</p>
SideCut	<p>モニターのアスペクト比が4：3の場合に使用します。縦幅を基準に両側にはみだした部分を切り取って、画角を変換します。</p>
LetterBox	<p>モニターのアスペクト比が4：3の場合に使用します。横幅を基準に上下に黒味を追加して、画角を変換します。</p>

・設定項目を確定した時点でモードが切り替わります。

Frequency [59.94Hz、50Hz]

フレーム周波数を切り替えます。

・周波数が切り替わると、[Format]の設定が次のようになります。

59.94Hz		50Hz	
1080/59.94p	↔	1080/50p	
1080/29.97p	↔	1080/25p	
1080/23.98p	→	1080/25p	
1080/59.94i	↔	1080/50i	
1080/29.97PsF	↔	1080/25PsF	
1080/23.98PsF	→	1080/25PsF	
720/59.94p	↔	720/50p	
480/59.94p(i)	↔	576/50p(i)	

・周波数変更方法の詳細については、「周波数変更について」(→54ページ)を参照してください。

Color Bars Setup [Off、On]

[Frequency]の設定が[59.94Hz]のときのみ有効です。

VIDEO OUT信号のカラーバーセットアップレベル(Off：0.0IRE、On：7.5IRE)を選択できます。

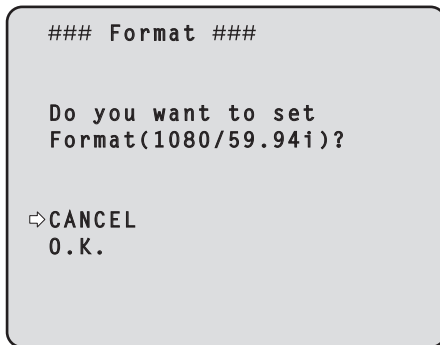
Return

一階層上のメニューに戻ります。

■ Format変更について

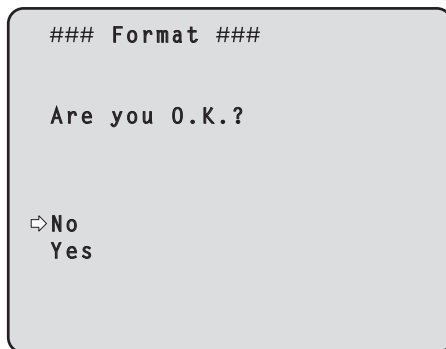
[Output]画面で、フォーマットを現在選択中のものから変更すると、Format切り替え前確認画面を表示します。

Format切り替え前確認画面



- 画面中の()内には設定対象のフォーマットが表示されます。
- Format切り替え前確認画面で、[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、Format切り替え後確認画面が表示されます。

Format切り替え後確認画面

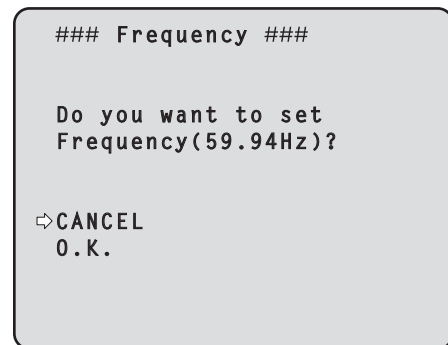


- [Yes]にカーソルを合わせて決定すると、切り替え後のフォーマットで[Output]画面に戻ります。
- [No]にカーソルを合わせて決定すると、切り替え前のフォーマットに再度変更した後に、[Output]画面に戻ります。10秒以上操作しなかった場合も同様です。
- 変更したフォーマットに合っていない外部同期信号を入力していると、映像が乱れます。外部同期信号を変更するか、内部同期を使用してください。

■ 周波数変更について

[Output]画面で、周波数を現在選択中のものから変更すると、Frequency切り替え前確認画面を表示します。

Frequency切り替え前確認画面

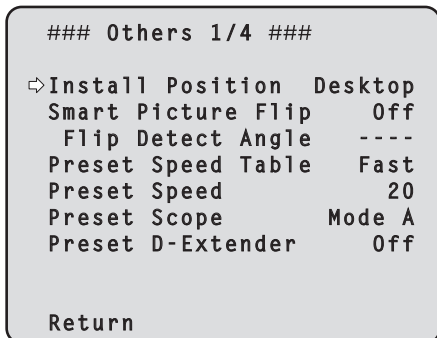


- 画面中の()内には、設定対象の周波数が表示されます。
- Frequency切り替え前確認画面で[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、周波数を変更されます。

<NOTE>

- 59.94Hz/50Hzの各周波数に対応していないモニターを使用している場合、周波数変更後に映像が出なくなってしまう場合があります。周波数を変更する前に、モニターが変更後の周波数に対応しているかどうかを確認してください。

Others 1/4 画面



Install Position [Desktop, Hanging]

本機の設置方法を「据え置き」または「吊り下げ」から選択します。

Desktop	据え置き設置
Hanging	吊り下げ設置

- [Hanging] (吊り下げ) を選択した場合、映像が上下左右反転となり、パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

Smart Picture Flip [Off, Auto]

チルトが [Flip Detect Angle] で設定した角度になると、自動的に映像を上下逆転します。

Off	上下逆転しません。
Auto	自動的に映像を上下逆転します。

Flip Detect Angle [60° ~ 120°]

[Smart Picture Flip] が [Auto] の場合に、映像を上下逆転させるチルトの角度を設定します。

Preset Speed Table [Slow, Fast]

プリセットスピードのテーブル (Slow, Fast) を設定します。プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従った [Preset Speed] (1 ~ 30) の値でプリセットを実行します。

- [Preset Speed Table] に [Fast] を設定した場合、AW-HE120 と同等の [Preset Speed] が適用されます。

Preset Speed [1 ~ 30]

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときのパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。

〈NOTE〉

- [Preset Speed] を大きな値に設定すると、停止するとき画面が揺らぐことがあります。

Preset Scope [Mode A, Mode B, Mode C]

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

Mode A	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris、Gain、ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris
Mode C	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus

Preset D-Extender [Off, On]

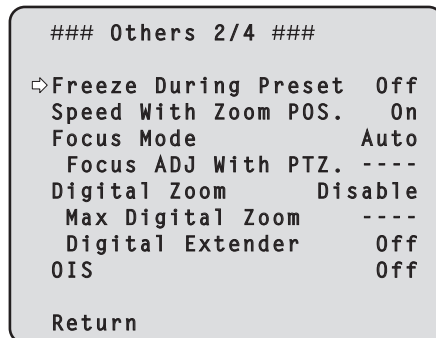
プリセットデジタルエクステンダー機能を Off/On します。

[On] に設定すると、プリセットメモリー再生時にデジタルエクステンダー機能の設定状態を呼び出します。[Off] に設定すると、プリセットメモリー登録時のデジタルエクステンダー機能の設定状態は呼び出されません。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Others 2/4 画面



Freeze During Preset [Off, On]

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能を Off/On します。

[On] に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

Speed With Zoom POS. [Off, On]

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能を Off/On します。

[On] に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。

なお、本機能はプリセット動作には効果がありません。

Focus Mode [Auto, Manual]

フォーカス調整 (ピント合わせ) 機能の自動/手動を選択します。

Auto	常にフォーカスを自動的に合わせます。
Manual	フォーカスをマニュアル操作します。

〈NOTE〉

- [Frame Mix] が [18dB] または [24dB] に設定されている場合、[Focus Mode] は [Auto] に設定できません。

Focus ADJ With PTZ. [Off, On]

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能を Off/On します。

[Off] に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

[Focus Mode] が [Manual] のときに選択できます。

Digital Zoom [Disable, Enable]

デジタルズーム機能の無効 [Disable] / 有効 [Enable] を設定します。

[Enable] に設定した場合、最大の位置からさらに Tele 方向にズーム操作すると、デジタルズームを連続的に操作できます。光学ズームとデジタルズームの切り替わり位置では、ズーム操作が一旦停止しますので、ズーム操作を一度止めてから、再度ズーム操作を行ってください。また、既にデジタルズーム領域にある状態で [Disable] に変更すると、光学ズーム最大の位置に自動的に移動します。

〈NOTE〉

- デジタルズーム中にカラーバーを表示すると、デジタルズームが OFF になります。

Max Digital Zoom

[x2, x3, x4, x5, x6, x7, x8, x9, x10]

デジタルズームの倍率の上限を設定します。

Digital Extender [Off, On]

デジタルエクステンダー機能を Off/On します。

[On] に設定すると、常にデジタルズームが 1.4 倍として動作します。

[Digital Zoom] が [Enable] のときは、[Digital Extender] は無効になります。

OIS [Off, On]

光学式画揺れ補正機能 (OIS) を Off/On します。

〈NOTE〉

- パンチルト動作中は、光学式画揺れ補正機能 (OIS) による補正量を低下させます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Others 3/4 画面

```

### Others 3/4 ###
⇨Tally                      Enable
Tally Brightness            Low
Status Lamp                  Enable
Wireless Control            Enable
OSD Mix
SDI Out                      0n
HDMI Out                     0n
Video Out                    0n
IP                            0n
Return
    
```

Tally [Disable, Enable]

タリーの制御信号によってタリーランプを点灯または消灯する機能の無効[Disable] / 有効[Enable]を設定します。

Tally Brightness [Low, Mid, High]

タリーLEDの光量を調整します

〈NOTE〉

- [Low]に設定したとき、AW-HE120の光量と同等になります。

Status Lamp [Disable, Enable]

状態表示ランプの無効[Disable] / 有効[Enable]を設定します。

本機動作中に状態表示ランプを常時消灯したい場合、[Disable]に設定してください。

〈NOTE〉

- [Disable]に設定していても、起動中やファームウェアのアップデート中、異常発生時など、状態表示ランプが点灯する場合があります。

Wireless Control [Disable, Enable]

ワイヤレスリモコンからの操作の有効 / 無効を設定します。

本設定は、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から本機の電源をONした場合に有効となり、ワイヤレスリモコンから電源をONした場合には無効となります。

〈NOTE〉

- 本項目は、設定値を変更した時点では、動作に反映されません。本機を待機状態(Standby)にして電源を入れたときに反映されます。
- もし本項目を誤って変更してワイヤレスリモコンから操作できなくなった場合、次のいずれかを行ってください。

他のコントロール機器でメニュー操作可能な場合

→操作可能なコントロール機器で本項目を変更した後、本機の電源を入れ直す

他のコントロール機器でメニュー操作できない場合

1. 接続している機器すべての電源を切る
2. 本機のACコードを抜いて再び差す
3. ワイヤレスリモコンから、本機の電源を入れる操作を行う
4. 本項目を変更した後、本機の電源を入れ直す

OSD Mix

カメラメニューやステータスなどの表示のOff/Onを、各出力映像ごとに選択します。

SDI Out [Off, On]

HDMI Out [Off, On]

Video Out [Off, On]

IP [Off, On]

Off	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示しません。
On	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示します。

〈NOTE〉

- 表示を[Off]に設定した場合でも、本機の電源をONにした後1分間は、カメラメニューを表示することができます。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Others 4/4 画面

```

### Others 4/4 ###
⇨OSD Off With Tally        Off
OSD Status                  Off
Audio                       Off
Input Volume Line Middle
Plugin Power                 Off
Protocol
Model Select                 SEVIHD1

Return
    
```

OSD Off With Tally [Off, On]

タリー信号をコマンドまたは接点で受信した際に、カメラメニューやステータス表示を消去する機能のOff/Onを設定します。

タリー信号が解除されると、カメラメニュー表示は元に戻ります。

OSD Status [Off, On]

AWBおよびABB実行時のステータス表示をOff/Onします。

Audio [Off, On]

Audio入力をOff/Onします

Input Volume

[Mic High, Mic Middle, Mic Low, Line High, Line Middle, Line Low]

マイク入力/ライン入力およびボリュームの設定を行います。

Mic High : マイク入力で音量を強に設定します。

Mic Middle : マイク入力で音量を中に設定します。

Mic Low : マイク入力で音量を弱に設定します。

Line High : ライン入力で音量を強に設定します。

Line Middle : ライン入力で音量を中に設定します。

Line Low : ライン入力で音量を弱に設定します。

Plugin Power [Off, On]

オーディオのプラグインパワーをOff/Onします。

[Input Volume]でマイク入力設定のときのみ有効です。

Protocol Model Select

[SEVIHD1, SBRC300, SBRCZ330, Reserved1 ~ Reserved7]

標準シリアル通信時のプロトコル種別を設定します。

本機底面のサービススイッチ(SW4)がON(標準シリアル通信)のときに表示されます。

[Reserved1] ~ [Reserved7]は選択しないでください。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Maintenance画面

```

## Maintenance ##

⇨ Firmware Version
IP Network
Initialize

Return
    
```

Firmware Version

本機に導入されているファームウェアのバージョンを確認できる [Firmware Version]画面を表示します。

IP Network

本機に設定されている [IP Address]、[Subnet Mask]、[Default Gateway]を確認できる [IP Network]画面を表示します。

Initialize

カメラの設定値の初期化が行える [Initialize]画面を表示します。操作の詳細については、「初期化(Initialize)について」(→58ページ)を参照してください。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Firmware VER 1/2画面

```

### Firmware VER 1/2 ###

CPU Software
Interface          V01.00
Camera Main       V01.00
Servo             V01.00
Network           V01.00
EEPROM
Interface          V01.00

⇨Return
    
```

CPU Software Interface

インターフェース部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software Camera Main

カメラ部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software Servo

サーボ部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software Network

ネットワーク部のソフトバージョンを表示します。

EEPROM Interface

インターフェース部のEEPROMバージョンを表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

Firmware VER 2/2画面

```

### Firmware VER 2/2 ###

FPGA
Lens              V01.00
AVIO              V01.00
Com               V01.00

⇨Return
    
```

FPGA Lens

レンズ部のFPGAバージョンを表示します。

FPGA AVIO

AV制御部のFPGAバージョンを表示します。

FPGA Com

通信用のFPGAバージョンを表示します。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

IP Network 画面

```

### IP Network ###

IP Address
      192.168.  0. 10
Subnet Mask
      255.255.255.  0
Default Gateway
      192.168.  0.  1

⇨Return
    
```

IP Address

本機に設定されているIPアドレスを表示します。

Subnet Mask

本機に設定されているサブネットマスクを表示します。

Default Gateway

本機に設定されているデフォルトゲートウェイを表示します。

〈NOTE〉

- 本画面では、[IP Address]、[Subnet Mask]、[Default Gateway]の表示は行えますが、設定の変更はできません。
各アドレスを変更したい場合は、Web設定画面[Setup]の「ネットワーク設定画面[Network]」(→87ページ)または「IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う」(→22ページ)を使用してください。

Return

一階層上のメニューに戻ります。

■ 初期化 (Initialize) について

[Maintenance]画面で[Initialize]を選択すると、[Initialize]画面が表示されます。

Initialize画面

```

### Initialize ###

Do you want to initialize
Menu settings?

⇨CANCEL
  O.K.
    
```

- [Initialize]画面で[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、[Menu settings initialized]画面を5秒間表示し、カメラの各種設定値を工場出荷時の設定に戻します。
ただし、[Format]、[Frequency]の設定内容(→53ページ)とネットワーク設定は初期化されません。

〈NOTE〉

- 初期化動作が完了すると、[Top Menu]画面へ戻ります。ここで本機をいったんStandbyモードにしてから、再度Power ONモードにしてください。(24ページ)
- [Format]と[Frequency]の設定は、初期化されません。
- [AWB]および[ABB]の調整値は、初期化されません。

Menu settings initialized画面

```

Menu settings
initialized
    
```

- [Initialize]画面で[CANCEL]にカーソルを合わせ決定すると、[Menu settings unchanged]画面を5秒間表示し、初期化動作を行わずに[Maintenance]画面へ戻ります。

Menu settings unchanged画面

```

Menu settings
unchanged
    
```

カメラメニュー項目一覧

カメラメニュー			項目	出荷時設定	選択項目	
Top Menu	Camera	Scene	Scene	Scene1	Scene1, Scene2, Scene3, Scene4	
		Brightness	Brightness 1/2	Picture Level	0	-50 ~ +50 (step : 1)
				Iris Mode	Auto	Manual, Auto
				Shutter Mode	Off	Off, Step, Synchro, ELC
				Step/Synchro (Shutter ModeがStepのとき)	[59.94Hz] 1/100 [50Hz] 1/120	[Frequency が59.94Hz のとき] • 59.94p / 59.94iモード 1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 • 29.97pモード 1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 • 23.98pモード 1/24, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 [Frequency が50Hz のとき] • 50p / 50iモード 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 • 25pモード 1/25, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000
				Step/Synchro (Shutter ModeがSynchroのとき)	[59.94Hz] 60.15Hz [50Hz] 50.15Hz	[Frequency が59.94Hz のとき] 60.15Hz ~ 642.21Hz (255段階) [Frequency が50Hz のとき] 50.15Hz ~ 535.71Hz (255段階)
				Gain	0dB	Auto, 0dB ~ 36dB (step : 1dB)
				AGC Max Gain	18dB	6dB, 12dB, 18dB
				Frame Mix	Off	Off, 6dB, 12dB, 18dB, 24dB
				ND Filter	Through	Through, 1/8, 1/64
		Brightness	Brightness 2/2	Day/Night	Day	Day, Night
		Picture	Picture 1/3	Chroma Level	0%	OFF, -99% ~ 40%
				White Balance Mode	AWB A	AWB A, AWB B, ATW, 3200K, 5600K, VAR
				Color Temperature	3200K	2000K ~ 15000K*1
				R Gain	0	-150 ~ +150 (step : 1)
				B Gain	0	-150 ~ +150 (step : 1)
				Pedestal	0	-150 ~ +150 (step : 1)
				R Pedestal	0	-100 ~ +100 (step : 1)
				B Pedestal	0	-100 ~ +100 (step : 1)
			Picture 2/3	Detail	On	Off, On
				Master Detail	31	0 ~ 62
				V Detail Level	0	-7 ~ +7
				Detail Band	0	-7 ~ +7
				Noise Suppress	1	0 ~ 60
				FleshTone NoiseSUP.	16	0 ~ 31
				Gamma Type	HD	HD, SD, FILMLIKE1, FILMLIKE2, FILMLIKE3
				Gamma	0.45	0.30 ~ 0.75 (Step : 0.01)
				DRS	Off	Off, Low, Mid, High
			Picture 3/3	Knee Mode	Auto	Off, Auto, Manual
				Knee Point	93.0%	70.0% ~ 107.0% (Step : 0.5%)
				Knee Slope	85	0 ~ 99
				White Clip	On	Off, On
				White Clip Level	109%	90% ~ 109%
				DNR	Off	Off, Low, High

*1 数値が大きくなるに従い、ステップ幅も大きくなります。

(2000/2010/2020/2040/2050/2070/2080/2090/2110/2120/2140/2150/2170/2180/2200/2210/2230/2240/2260/2280/2300/2310/2330/2340/2360/2380/2400/2420/2440/2460/2480/2500/2520/2540/2560/2600/2620/2640/2680/2700/2720/2740/2780/2800/2820/2850/2870/2920/2950/2970/3000/3020/3070/3100/3120/3150/3200/3250/3270/3330/3360/3420/3450/3510/3570/3600/3660/3720/3780/3840/3870/3930/3990/4050/4110/4170/4240/4320/4360/4440/4520/4600/4680/4760/4840/4920/5000/5100/5200/5300/5400/5500/5600/5750/5850/6000/6150/6300/6450/6650/6800/7000/7150/7400/7600/7800/8100/8300/8600/8900/9200/9600/10000/10500/11000/11500/12000/12500/13000/14000/15000)

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

カメラメニュー				項目	出荷時設定				選択項目	
Top Menu	Camera	Scene	Matrix	Matrix 1/5	Matrix Type	Normal				Normal, EBU, NTSC, User
				Matrix 2/5	[Linear Matrix]	Normal	EBU	NTSC	User	
					R-G	+2	-4	-39	-6	-63~+63
					R-B	0	-6	-12	+3	-63~+63
					G-R	0	-4	-4	-6	-63~+63
					G-B	+8	-2	-6	+5	-63~+63
					B-R	-6	-4	-6	-12	-63~+63
					B-G	0	-6	-8	-6	-63~+63
				Matrix 3/5	[Color Correction 1/3]	Normal	EBU	NTSC	User	
					B_Mg Saturation	-27	-21	-7	-14	-63~+63
					B_Mg Phase	+19	+4	-38	-5	-63~+63
					Mg Saturation	-19	0	0	-9	-63~+63
					Mg Phase	+10	0	0	-9	-63~+63
					Mg_R Saturation	-63	-63	-8	-29	-63~+63
					Mg_R Phase	-4	+13	+13	0	-63~+63
					Mg_R_R Saturation	-48	-13	-62	-34	-63~+63
					Mg_R_R Phase	-27	+63	0	0	-63~+63
					R Saturation	-9	-63	-37	-18	-63~+63
					R Phase	-4	0	+4	-4	-63~+63
					R_R_YI Saturation	+62	-32	+12	+24	-63~+63
					R_R_YI Phase	+23	+38	+63	-16	-63~+63
					Matrix 4/5	[Color Correction 2/3]	Normal	EBU	NTSC	User
				R_YI Saturation		+63	+18	-63	+17	-63~+63
				R_YI Phase		+44	+35	+9	-13	-63~+63
				R_YI_YI Saturation		+44	0	0	+9	-63~+63
				R_YI_YI Phase		0	0	+17	-8	-63~+63
				YI Saturation		+63	+63	+14	+19	-63~+63
				YI Phase		+29	+4	-7	-2	-63~+63
				YI_G Saturation		+17	+9	0	+16	-63~+63
				YI_G Phase		+20	+22	+16	-2	-63~+63
				G Saturation		+4	+12	+56	-2	-63~+63
				G Phase		+26	+4	+13	-4	-63~+63
				G_Cy Saturation		0	0	0	0	-63~+63
				G_Cy Phase		0	0	0	-9	-63~+63
				Matrix 5/5		[Color Correction 3/3]	Normal	EBU	NTSC	User
					Cy Saturation	-21	+18	-28	-9	-63~+63
					Cy Phase	+8	+24	+33	+5	-63~+63
					Cy_B Saturation	-15	-17	-63	-12	-63~+63
					Cy_B Phase	+49	+61	+63	+5	-63~+63
					B Saturation	-12	-8	-17	-19	-63~+63
					B Phase	+3	+7	-8	0	-63~+63
					Genlock	Horizontal Phase	0			
				Horizontal Phase Step		1				1~10
				Output	Format	1080/59.94i				[Frequencyが59.94Hzのとき] 1080/59.94p, 1080/29.97p*2, 1080/23.98p*3, 1080/59.94i, 1080/29.97PsF*3, 1080/23.98PsF, 720/59.94p, 480/59.94p(i) [Frequencyが50Hzのとき] 1080/50p, 1080/25p*2, 1080/50i, 1080/25PsF*4, 720/50p, 576/50p(i)
					Down CONV. Mode	Squeeze				Squeeze, Sidecut, Letter Box
					Frequency	59.94Hz				59.94Hz, 50Hz
					Color Bars Setup	Off				Off, On

*2 Native出力

*3 OVER 59.94i出力(ご使用になるモニターは、59.94iの信号として認識されます)

*4 OVER 50i出力(ご使用になるモニターは、50iの信号として認識されます)

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

カメラメニュー			項目	出荷時設定	選択項目		
Top Menu	System	Others	Others 1/4	Install Position	Desktop	Desktop, Hanging	
				Smart Picture Flip	Off	Off, Auto	
				Flip Detect Angle	90deg	60～120deg (step : 1deg)	
				Preset Speed Table	Fast	Slow, Fast	
				Preset Speed	20	1～30	
				Preset Scope	Mode A	Mode A, Mode B, Mode C	
				Preset D-Extender	Off	Off, On	
			Others 2/4	Freeze During Preset	Off	Off, On	
				Speed With Zoom POS.	On	Off, On	
				Focus Mode	Auto	Manual, Auto	
				Focus ADJ With PTZ.	Off	Off, On	
				Digital Zoom	Disable	Disable, Enable	
				Max Digital Zoom	x10	x2～x10	
				Digital Extender	Off	Off, On	
			Others 3/4	OIS	Off	Off, On	
				Tally	Enable	Enable, Disable	
				Tally Brightness	Low	Low, Mid, High	
				Status Lamp	Enable	Enable, Disable	
				Wireless Control	Enable	Enable, Disable	
				OSD Mix			
				SDI Out	On	Off, On	
		HDMI Out		On	Off, On		
		Video Out		On	Off, On		
		IP		On	Off, On		
		Others 4/4	OSD Off With Tally	Off	Off, On		
			OSD Status	Off	Off, On		
			Audio	Off	Off, On		
			Input Volume	Line Middle	Mic High, Mic Middle, Mic Low, Line High, Line Middle, Line Low		
			Plugin Power	Off	Off, On		
			Protocol				
			Model Select	SEVIHD1	SEVIHD1, SBRC300, SBRCZ330, Reserved1～7		
		Maintenance	Firmware Version		CPU Software		
					Interface	出荷バージョン	---
					Camera Main	出荷バージョン	---
					Servo	出荷バージョン	---
					Network	出荷バージョン	---
					EEPROM		
					Interface	出荷バージョン	---
					FPGA		
					Lens	出荷バージョン	---
					AVIO	出荷バージョン	---
					Com	出荷バージョン	---
					IP Network	IP Address	192.168.0.10
Subnet Mask	255.255.255.0						
Default Gateway	192.168.0.1						
Initialize	---				CANCEL	CANCEL, OK	

Web画面の表示

本機とパーソナルコンピュータをつないで、WebブラウザからカメラのIP映像を見たり、各種の設定を行うことができます。

本機のIP制御用LAN端子とパーソナルコンピュータを直接接続する場合はLANクロスケーブルを、スイッチングハブなどを介して接続する場合はLANストレートケーブルを使用します。

パーソナルコンピュータのIPアドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

〈NOTE〉

- IPアドレスとサブネットマスクを変更する場合は、必ず販売店にお申し付けください。

本機のIPアドレスとサブネットマスク(工場出荷時)*1

IPアドレス : 192.168.0.10
サブネットマスク : 255.255.255.0

*1 工場出荷時の設定の場合、プライベートアドレスの可変可能範囲は、192.168.0.1～192.168.0.255までとなります。

- コントローラーとWebブラウザを同時に使用している場合、コントローラーで設定した内容がWebブラウザの表示に反映されないことがあります。

このような使い方をする場合は、必ずコントローラーかカメラメニューで設定内容を確認してください。

必要なパーソナルコンピュータの環境については、8ページを参照してください。

〈NOTE〉

- Web設定画面における一部の機能は、Windows搭載パーソナルコンピュータからのみ利用できます。(OS X搭載のパーソナルコンピュータ (Mac) からは利用できません。)
Windowsのみ利用可能な機能には、**Windows** マークを付けて記載しています。
- Windows搭載パーソナルコンピュータで本機のIP映像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされている必要があります。(OS X搭載のパーソナルコンピュータ (Mac) には必要ありません。)
詳しくは、「表示用プラグインソフトウェアをインストールする」(→23ページ)を参照してください。

パーソナルコンピュータによるWeb画面の表示

本書では、Windows (Internet Explorer) の画面をもとに説明していますが、Mac (Safari) の場合*2 も同様の手順となります。

*2 画面上の表示は、一部異なります。

1. パersonalコンピュータのWebブラウザを起動する

パーソナルコンピュータに搭載のOSに応じて、それぞれ下記のWebブラウザを使用してください。

搭載OS	Webブラウザ
Windows	Internet Explorer
OS X (Mac)	Safari

2. IP簡単設定ソフトウェアで設定したIPアドレスを、Webブラウザのアドレスボックスに入力します。

IPv4アドレスの入力例：

http://IPv4アドレスで登録したURL

http://192.168.0.10/



IPv6アドレスの入力例：

http://[IPv6アドレスで登録したURL]

http://[2001:db8::10]/



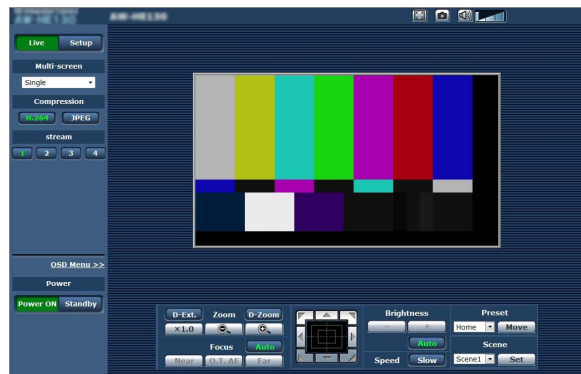
〈NOTE〉

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合：
http://192.168.0.11:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Webブラウザ(メニューバーの[ツール] - [インターネットオプション])からプロキシサーバーの設定を行ってください。
- ネットワーク設定画面[Network]の[Advanced]タブの[HTTPS] - [Connection] (→92ページ)で[HTTPS]を設定している場合については、「HTTPSでカメラにアクセスする」(→97ページ)を参照してください。

3. [Enter] キーを押す

Web画面が表示されます。

初期画面は、ライブ画面[Live] (→64ページ)が表示されますので、必要に応じてWeb設定画面[Setup] (→69ページ)に切り替えてください。(→63ページ)



(NOTE)

- 表示用プラグインソフトウェアがインストールされていないパーソナルコンピュータでは、ライブ画面[Live]が表示される前に、インストール確認メッセージが表示されます。その場合は、画面に従ってインストールしてください。 [Windows](#)
詳しくは、「表示用プラグインソフトウェアをインストールする」(→23ページ)を参照してください。

- [User auth.](→85ページ)を[On]に設定した場合、ライブ画面[Live]が表示される前に、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

初期設定のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名	admin
パスワード	12345

- ユーザー名とパスワードを初期設定のまま使用している間は、認証後にユーザー名・パスワードの変更を促すメッセージが表示されます。セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- 1台のパーソナルコンピュータで複数のH.264映像を表示しようとすると、パーソナルコンピュータの性能によっては、IP映像が表示されない場合があります。 [Windows](#)
- 画面上で下線表示されている項目をクリックすると、別ウィンドウが開き入力例を表示します。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264映像を受信しているユーザーとJPEG映像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、[Bandwidth control (bit rate)], [Max bit rate (per client)]の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。[H.264]の[Transmission type]を[Multicast port]に設定したとき、H.264映像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- [H.264 transmission](→72ページ)を[On]に設定すると、H.264映像が表示されます。[Off]に設定すると、JPEG映像が表示されます。[H.264 transmission]を[On]に設定した場合でも、JPEG映像の表示は可能です。しかしこの場合、JPEG映像の画像更新速度は最大5 fpsに制限されます。 [Windows](#)
- JPEG映像の画像更新速度はネットワークの環境、パーソナルコンピュータの性能、被写体、アクセス数により遅くなる場合があります。

<JPEG画像更新速度>

[H.264 transmission]が[On]の場合 [Windows](#)

最大5 fps

[H.264 transmission]が[Off]の場合 [Windows](#)

最大30 fps

ライブ画面 [Live]/Web設定画面 [Setup] の切り替え

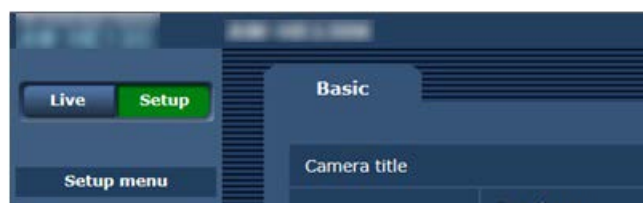
ライブ画面[Live]を表示しているときに、[Setup]ボタン [Setup](#) をクリックします。

Web設定画面[Setup]についての詳細は、「Web設定画面[Setup]」(→69ページ)をご覧ください。



Web設定画面[Setup]を表示しているときに、[Live]ボタン [Live](#) をクリックします。

ライブ画面[Live]についての詳細は、「ライブ画面[Live]」(→64ページ、68ページ)をご覧ください。



(NOTE)

- スタンバイ中は[Setup]ボタンが無効になり、Web設定画面[Setup]に切り替えることができません。
- Web設定画面[Setup]を表示しているときに、他の端末から本機をStandbyモードに切り替えた場合、数秒後にライブ画面[Live]表示へ自動的に切り替わります。

Web画面からの操作

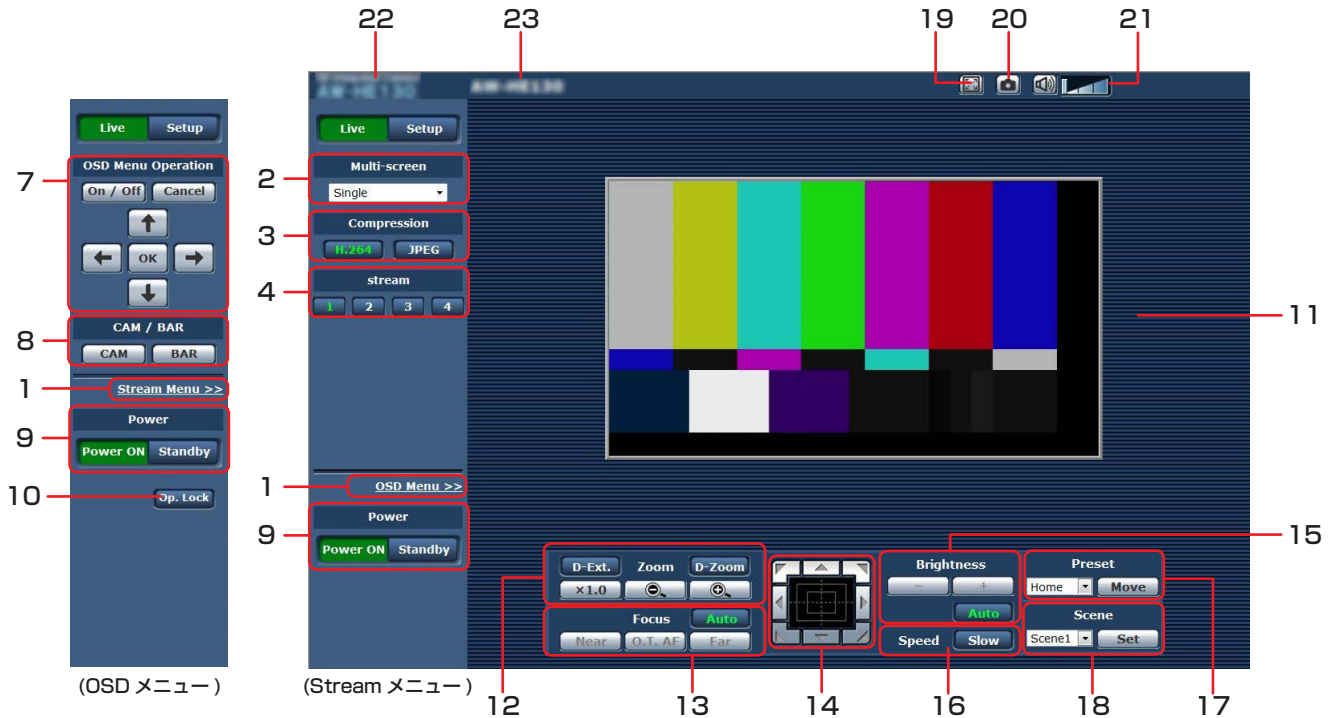
ライブ画面 [Live] には、1画面で1台のカメラのIP映像を表示する「シングル表示モード」と、1画面で複数台のカメラのIP映像を表示する「マルチ表示モード」があります。

「シングル表示モード」についての詳細は下記を、「マルチ表示モード」についての詳細は68ページを参照してください。

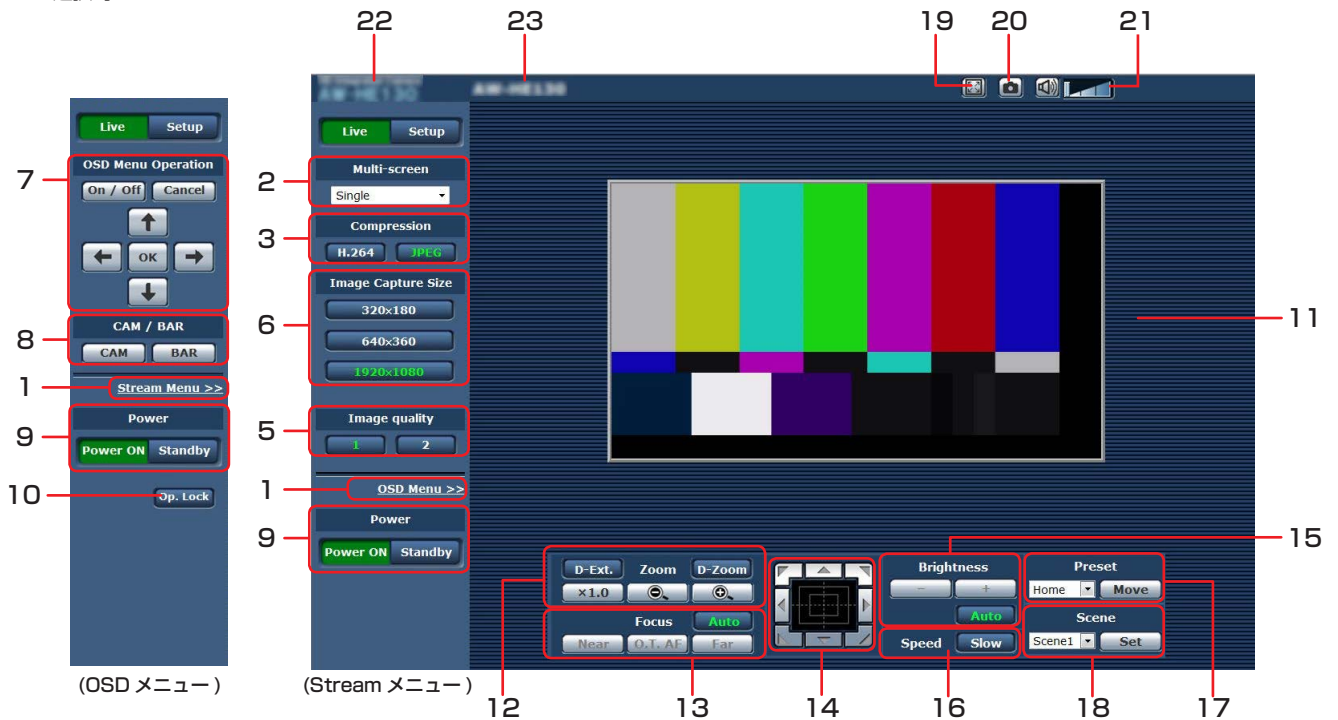
ライブ画面 [Live] : シングル表示モード

パーソナルコンピュータから、カメラ画像の表示や、カメラに対してパン、チルト、ズーム、フォーカスなどの制御を行います。
[Compression] ボタンで、[H264] を選択しているときと [JPEG] を選択しているときでは、表示される項目が一部異なります。

H264 選択時 Windows



JPEG 選択時



1. メニュー切り替え [OSD Menu >>]/[Stream Menu >>]

メニュー表示を切り替えます。
Streamメニューを表示しているときに[OSD Menu >>]をクリックすると、OSDメニューが表示されます。
OSDメニューを表示しているときに[Stream Menu >>]をクリックすると、Streamメニューが表示されます。

2. Multi-Screen リストボックス [Multi-screen]

ライブ画面[Live]の表示方法を選択します。

Single [Single]	接続したカメラのIP映像を表示します。
4Split 1/4 Group [4Split 1/4 Group]	あらかじめマルチスクリーン設定画面 [Multi-screen setup] (→84ページ) でマルチスクリーン表示するカメラを設定しておく と、1画面で複数のIP映像を見ることが できます。(マルチ表示モード)
4Split 2/4 Group [4Split 2/4 Group]	
4Split 3/4 Group [4Split 3/4 Group]	
4Split 4/4 Group [4Split 4/4 Group]	
16Split [16Split]	

3. Compression ボタン [Compression]

H.264 [H264]	ボタン上の[H.264]の文字が緑色に変わり、H.264 画像が表示されます。Windows IP 映像設定で[H.264 (1)] ~ [H.264 (4)]の[H.264 transmission]を[On]に設定すると、[H.264] ボタンが有効になります。(→72ページ)
JPEG [JPEG]	ボタン上の[JPEG]の文字が緑色に変わり、JPEG 画像が表示されます。

(NOTE)

- 次のような場合、[Compression] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ - [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。Windows
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を再更新した場合

4. Stream ボタン [Stream]

このボタンは、H.264 画像が表示されているときのみ表示されます。Windows

1 [1]	ボタン上の[1]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画層が、[H.264(1)]で設定した内容(→72ページ)に従って表示されます。
2 [2]	ボタン上の[2]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画層が、[H.264(2)]で設定した内容(→72ページ)に従って表示されます。
3 [3]	ボタン上の[3]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画層が、[H.264(3)]で設定した内容(→72ページ)に従って表示されます。
4 [4]	ボタン上の[4]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画層が、[H.264(4)]で設定した内容(→72ページ)に従って表示されます。

(NOTE)

- 次のような場合、[Stream] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ - [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を更新した場合
- 選択したH.264画像の解像度設定が[1920x1080]または[1280x720]の場合、Webブラウザ画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。

5. Image quality ボタン [Image quality]

このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。

1 [1]	[Image quality(JPEG)]の[Quality1]で設定した内容(→72ページ)に従って表示されます。
2 [2]	[Image quality(JPEG)]の[Quality2]で設定した内容(→72ページ)に従って表示されます。

- 次のような場合、[Image quality] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ - [Initial display settings for "Live" page] の [Image quality(JPEG)] での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を更新した場合

6. Image Capture Size ボタン [Image Capture Size]


このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。

1920x1080 [1920 x 1080]	[1920 x 1080]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1920 x 1080サイズで表示されます。
1280x720 [1280 x 720]	[1280 x 720]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1280 x 720サイズで表示されます。
640x360 [640 x 360]	[640 x 360]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が640 x 360サイズで表示されます。
320x180 [320 x 180]	[320 x 180]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が320 x 180サイズで表示されます。
160x90 [160x90]	[160 x 90]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が160 x 90サイズで表示されます。

(NOTE)

- [Video over IP] タブ - [JPEG] の [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)] で選択している解像度で表示されます。
- 解像度が[1920x1080]または[1280x720]の場合、Webブラウザの画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。
- 次のような場合、[Image Capture Size] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ - [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を更新した場合

7. OSDメニュー操作 [OSD Menu Operation]



On / Off [On / Off]	カメラのOSDメニューの表示・非表示を切り替えます。
Cancel [Cancel]	設定変更中の選択をキャンセルします。変更前の設定に戻ります。
 [←/→/↑/↓/OK]	メニュー操作を行います。 [←/→/↑/↓] ボタンで項目の選択を行います。 選択した項目にサブメニューがあるときは、[OK] ボタンを押すとサブメニューが表示されます。 最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて[OK] ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。 通常のメニューは、点滅表示状態で設定値を変更したらすぐに設定が反映されますが、[OK] ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されるメニュー(Scene, Format, Initialize)もあります。

8. カメラボタン / カラーバーボタン [CAM/BAR]

CAM [CAM]	カメラ映像を出力します。
BAR [BAR]	カラーバー信号を出力します。

9. Power ONボタン [Power ON] /

Standbyボタン [Standby]

 [Power ON]	本機の電源がONになります。
 [Standby]	本機はスタンバイ状態 (Standbyモード) になります。

スタンバイ時、ライブ画面 [Live] では [Multi-screen] リストボックス、[Power ON] ボタン、[Standby] ボタン、[Op. Lock] ボタンを除くすべてのボタンは無効になります。

(NOTE)

- [Power ON] と [Standby] をすばやく切り替えると、状態と表示が一致なくなることがあります。この場合、以下の操作で正しい状態表示に戻ります。

Windowsの場合

[F5] キーを押す

Macの場合

[Command] + [R] キーを押す


• Standbyモード移行時:

現在のズーム、フォーカス、アイリス位置を記憶 (Power ON プリセット) します。

• Power ONモード移行時:

Standbyモード移行時に記憶 (Power ON プリセット) した位置にズーム、フォーカス、アイリスを移動します。

10. 操作ロックボタン [Op. Lock]


 [Op. Lock]	コントロール画面のパン・チルト・ズーム・フォーカス・明るさ・スピード・プリセット・シーンの操作をロックします。 また、OSDメニュー操作、CAM/BAR、[Power ON] ボタン / [Standby] ボタンをロックし、誤動作を防止することができます。
---	--

11. メインエリア (IP映像表示エリア)








接続中のカメラのIP映像が表示されます。
カメラのタリーランプが点灯中の場合、エリア枠が赤に変わります。タリーランプが消灯すると、元に戻ります。
エリア内でマウスホイールを操作すると、表示用プラグインソフトウェアによるデジタルズームが可能です。 [Windows](#)





(NOTE)

- お使いのパーソナルコンピュータによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、搭載OSの描画処理 (GDI) の制約により、ティアリング (画面の一部がずれて表示される現象) が発生することがあります。
- Windows搭載のパーソナルコンピュータでは、[H.264 transmission] (→72ページ) を [On] に設定すると、H.264映像またはJPEG画像が表示可能です。[Off] に設定すると、JPEG画像のみ表示可能です。
- OS X搭載のパーソナルコンピュータ (Mac) では、[H.264 transmission] の設定にかかわらず、JPEG画像のみ表示可能です。(H.264映像は表示できません。)
- [H.264 transmission] を [On] に設定した場合、H.264映像が配信中かどうかにかかわらず、JPEG画像の画像更新速度は低下することがあります。
- JPEG画像の画像更新速度は、ネットワークの環境、お使いのパーソナルコンピュータの性能、被写体、アクセス数により遅くなる場合があります。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264映像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。(Android端末での同時接続が可能な台数は、1台です)
ただし、[Bandwidth control (bit rate)]、[Max bit rate (per client)] の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。
- アクセスできる最大ユーザー数が上限を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。 [Windows](#)
- OS X搭載のパーソナルコンピュータ (Mac) では、黒画面表示されたメインエリア中央に「」アイコンが表示されます。
- [Tally] (→56ページ、84ページ) を [Disable] に設定した場合は、タリー信号が入力されていても本機のタリーランプは点灯しませんが、メインエリア (IP映像表示エリア) のエリア枠は赤に変わります。


12. ズーム [Zoom]

 [D-Zoom]	デジタルズームの有効/無効を切り替えます。
 [D-Extender]	デジタルエクステンダーの有効/無効を切り替えます。
 [× 1.0]	ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。
 [-]	ズーム (倍率) を「広角」方向に調整します。
 [+]	ズーム (倍率) を「望遠」方向に調整します。

13. フォーカス [Focus]

 [Auto]	フォーカスのオート/マニュアルを切り替えます。オート (Auto) の場合は、自動的にフォーカス (焦点) を調整します。
 [Near]	フォーカス (焦点) を「近 (Near)」方向に調整します。オート時は無効です。
 [O.T.AF]	フォーカス (焦点) がマニュアルのときに押すと、一時的に自動でフォーカス (焦点) を調整します。オート時は無効です。
 [Far]	フォーカス (焦点) を「遠 (Far)」方向に調整します。オート時は無効です。




14. コントロールパッド／ボタン

	<p>画像の水平位置・垂直位置の調整(パン・チルト)は、パッドおよびボタンを左クリックして行います。</p> <p>パッドの外側をクリックすればするほど、カメラの動作速度は速くなります。また、マウスをドラッグして調整することもできます。</p> <p>ズームとフォーカスは右クリックで行います。パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム(倍率)が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。</p> <p>左右方向で左半分をクリックすると、フォーカス(焦点)が近くなり、右半分をクリックすると遠くなります。マウスホイール操作でもズームを調整できます。</p>
---	--


(NOTE)

- ・コントロールパッドエリアからエリア外にマウスをドラッグ&ドロップすると、パンおよびチルトなどの操作が止まらなくなります。この場合、コントロールパッドエリア内でクリックすると停止しします。



15. 明るさ [Brightness]

 [-]	<p>画像が暗くなります。</p> <p>オート時は無効です。</p>
 [+]	<p>画像が明るくなります。</p> <p>オート時は無効です。</p>
 [Auto]	<p>明るさ調整のオート/マニュアルを切り替えます。オート(Auto)の場合は、画像の明るさ調整を自動で行います。</p>



16. スピード [Speed]

 [Slow]	<p>パン・チルト・ズーム・フォーカス・明るさの各動作速度を切り替えます。</p>
---	---


17. プリセット [Preset]

 [Home]	<p>プルダウンメニューからプリセットポジションを選択し、Move ボタンをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。登録はプリセットポジション画面で行います。</p>
 [Move]	<p>プルダウンメニューで選択中のプリセットポジションへ移動します。</p> <p>再現内容は、[Preset Scope](→55ページ,81ページ,83ページ)で指定した内容です。</p> <p>プルダウンメニューで[Home]が選択されている場合は、ホームポジションへ移動します。</p> <p>このとき、[Freeze During Preset]の設定にかかわらず、ホームポジションへの移動中の出力映像はフリーズされません。</p>


18. シーン [Scene]

 [Scene 1]	<p>プルダウンメニューから撮影モードを選択し、Set ボタンをクリックすると切り替わります。</p>
 [Set]	<p>プルダウンメニューで選択中の撮影モードに切り替わります。</p>

19. 全画面表示ボタン Windows

	<p>画像が全画面で表示されます。</p> <p>メインエリアの画像が縮小表示されている場合は、一回押すと、メインエリアで解像度どおりの画像が表示されます。解像度どおりに表示されている場合は、全画面で表示されます。ライブ画面に戻るには、全画面で表示されているときにパーソナルコンピュータのキーボードの[Esc]キーを押します。</p> <p>表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます。</p>
---	---




20. スナップショットボタン Windows

	<p>スナップショット(静止画1枚)を取得し、その画像が別ウィンドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、[Save]を選択すると、パーソナルコンピュータに画像を保存できます。また、[Print]を選択すると、プリンターに出力できます。</p>
---	--

(NOTE)

- ・以下の設定が必要になることがあります。
- Internet Explorerのメニューバーの[ツール] - [インターネットオプション] - [セキュリティ]タブにある[信頼済みサイト]を選択し、[サイト]をクリックします。表示される信頼済みウィンドウの「Webサイト」にカメラのアドレスを登録してください。
- ・ネットワーク環境などにより、スナップショットの取得に一定の時間以上かかる場合には、画像が表示されないことがあります。
- ・[JPEG transmission(1)]を[Off]に設定している場合、スナップショットボタンで取得できる画像は黒画像となります。

21. Audio ボタン Windows

	<p>音声のOn/Offを切り替えます。(→56ページ,75ページ)</p> <p>このボタンをクリックすると、ボタン表示がに切り替わり、本機からの音声パーソナルコンピュータで聞こえなくなります。</p> <p>音量カーソルを移動すると、音量を弱/中/強の3段階で調整できます。</p>
---	---

22. 接続機器表示

「HD Integrated Camera AW-HN130」が表示されます。

23. カメラタイトル表示部

基本画面[Basic](→70ページ)で設定した本機の名称が表示されます。

ライブ画面 [Live] : マルチ表示モード

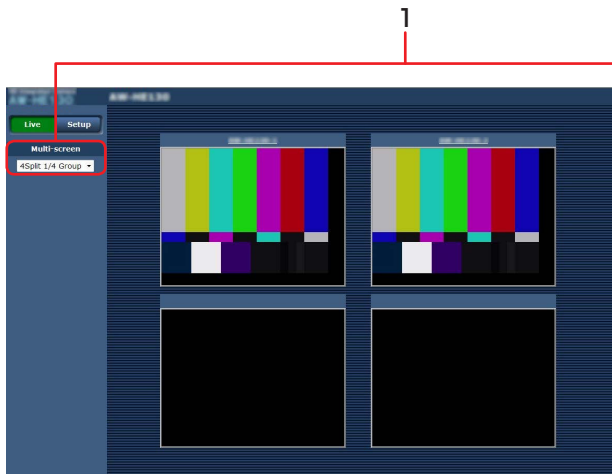
複数台のカメラの画像を1つの画面(マルチスクリーン)で確認します。

一度に4台あるいは16台までのカメラの画像を確認できます。

各画像のカメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画面[Live]のシングル表示モードが別ウィンドウで表示されます。

マルチスクリーンを使用するには、あらかじめマルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。

4台を1グループとして、最大4グループ(合計16台)まで登録することができます。(→84ページ)



4画面の場合



16画面の場合

1. Multi-Screen リストボックス (Multi-screen)

ライブ画面[Live]の表示方法を選択します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> Single ▼ [Single] </div>	接続したカメラのIP映像を表示します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 4Split 1/4 Group ▼ [4Split 1/4 Group] </div>	あらかじめマルチスクリーン設定画面 [Multi-Screen] (→84ページ) でマルチスクリーン表示するカメラを設定しておくと、1画面で複数のIP映像を見ることができます。(マルチ表示モード)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 4Split 2/4 Group ▼ [4Split 2/4 Group] </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 4Split 3/4 Group ▼ [4Split 3/4 Group] </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 4Split 4/4 Group ▼ [4Split 4/4 Group] </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 16Split ▼ [16Split] </div>	

〈NOTE〉

- マルチスクリーンで表示されるIP映像はJPEGのみです。
- IP映像はJPEGのみで音声は出力されません。
- マルチスクリーンでは、アスペクト比が[4:3]の表示枠に合わせて、縦に引き伸ばした画像になります。
- IP映像の表示中に本機の電源を切った場合やネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画面[Live]からマルチスクリーンに移動することはできません。
- [JPEG transmission(1)], [JPEG transmission(2)], [JPEG transmission(3)]のいずれかを[Off]に設定していると、マルチスクリーン画面が表示されない場合があります。マルチスクリーンを使用するには、すべて[On]に設定してください。

Web画面からの設定

Web設定画面 [Setup] へのログイン

1. [Setup] ボタンをクリックする (→63ページ)

ログイン画面が表示されます。



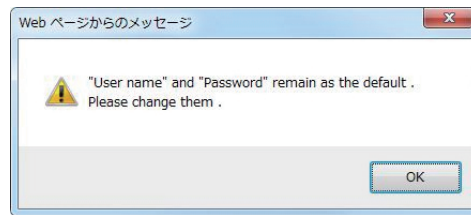
2. ユーザー名とパスワードを入力する

初期設定のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名	admin
パスワード	12345

3. OK ボタンをクリックする

次のような画面が表示されますので、もう一度 OK ボタンをクリックします。



(NOTE)

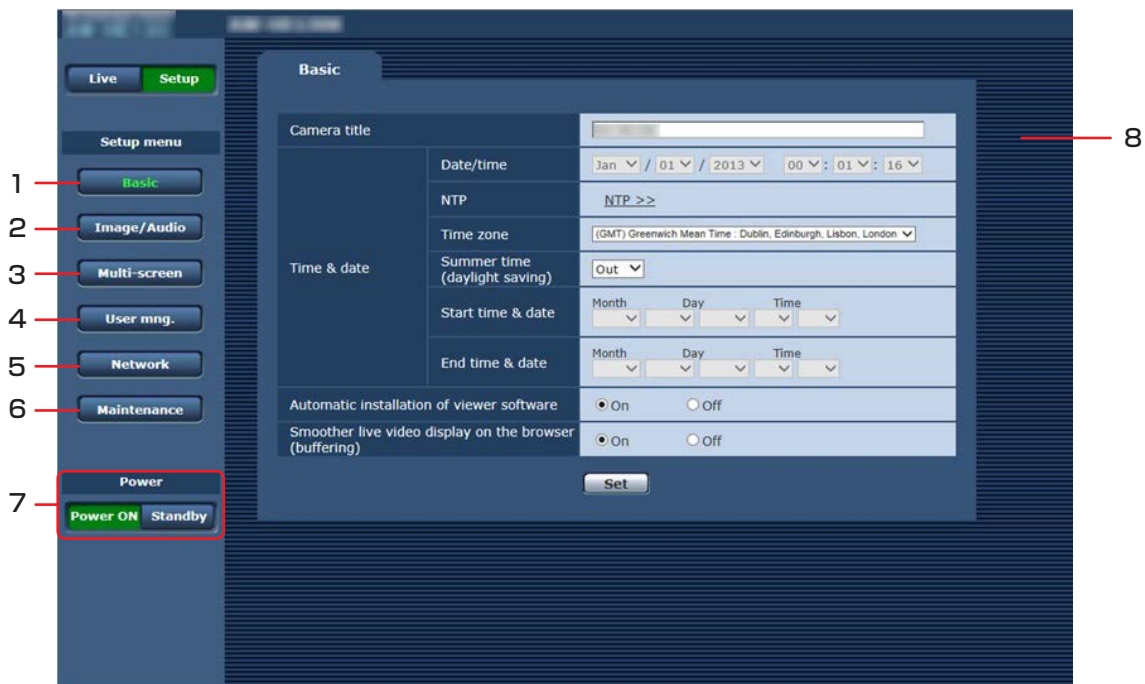
- ユーザー名とパスワードを初期設定のまま使用している間は、認証後にユーザー名・パスワードの変更を促すメッセージが表示されません。セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- Standbyモード中は [Setup] ボタンが無効になり、Web 設定画面 [Setup] を表示することができません。

Web設定画面 [Setup]

本機に対して各種設定を行います。

(NOTE)

- 設定メニューは、アクセスレベルが「1. Administrator」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、86ページを参照してください。



1. Basic ボタン [Basic]

ボタンをクリックすると、基本画面 [Basic] がメインエリアに表示されます。

→ 「基本画面 [Basic]」 (→70ページ)

2. Image/Audio ボタン [Image/Audio]

ボタンをクリックすると、カメラ画面 [Image] がメインエリアに表示されます。

→ 「カメラ画面 [Image]」 (→71ページ)

3. Multi-Screen ボタン [Multi-Screen]

ボタンをクリックすると、マルチスクリーン設定画面 [Multi-Screen] がメインエリアに表示されます。

→ 「マルチスクリーン設定画面 [Multi-screen setup]」 (→84ページ)

4. User mng. ボタン [User mng.]

ボタンをクリックすると、ユーザー管理画面 [User mng.] がメインエリアに表示されます。

→ 「ユーザー管理画面 [User mng.]」 (→85ページ)

5. Network ボタン [Network]

ボタンをクリックすると、ネットワーク設定画面 [Network] がメインエリアに表示されます。

→ 「ネットワーク設定画面 [Network]」 (→87ページ)

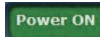
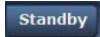
6. Maintenance ボタン [Maintenance]

ボタンをクリックすると、メンテナンス画面 [Maintenance] がメインエリアに表示されます。

→ 「メンテナンス画面 [Maintenance]」 (→100ページ)

7. Power ONボタン [Power ON] /

Standbyボタン [Standby]

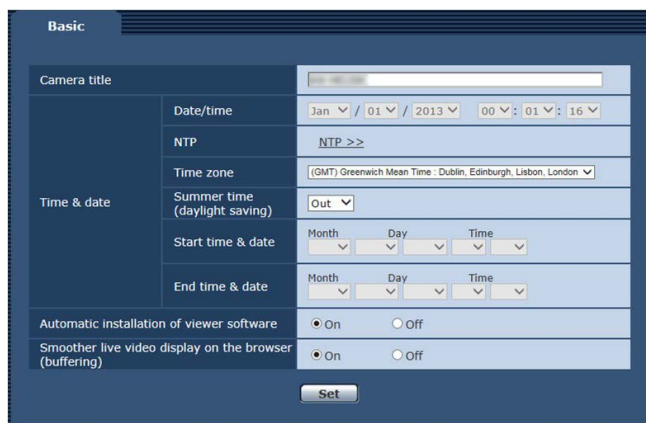
 [Power ON]	本機の電源がONになります。
 [Standby]	本機はスタンバイ状態 (Standbyモード) になります。

Standbyモードになると、ライブ画面 [Live] へ自動的に表示が切り替わります。また、ライブ画面 [Live] の [Setup] ボタンが無効になり、Web設定画面 [Setup] の全画面の操作ができません。

8. メインエリア

メニュー画面が表示されます。

基本画面 [Basic]



Camera title

本機の名称を入力します。

[Set] ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトル表示部に表示されます。

- 工場出荷時の設定は本機の製品番号です。
- 半角0 ~ 20文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[^_`{ }~

Time & date - Date/time

現在の日時時刻を入力します。

設定範囲: Jan/01/2013 00:00:00~Dec/31/2035 23:59:59

(NOTE)

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合はNTPサーバーを使用してください。

Time & date - NTP

[NTP >>] をクリックすると、ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] タブの [NTP] 設定ページに移動します。(→90ページ)

Time & date - Time zone

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

工場出荷時の設定:

(GMT)Greenwich Mean Time: Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

Time & date - Summer time (daylight saving)

サマータイムを使用するかどうかを設定します。

サマータイムを使用する地域で設定します。

設定値:

In	時刻をサマータイムにします。
Out	サマータイムを解除します。
Auto	開始日時、終了日時設定 (月、週、曜日、時刻) に従ってサマータイム時刻に切り替えます。

工場出荷時の設定: Out

Time & date - Start time & date

Time & date - End time & date

[Summer time (daylight saving)] の設定で [Auto] を選択したとき、サマータイムの開始日時、終了日時を月、週、曜日、時刻で設定します。

Automatic installation of viewer software

表示用プラグインソフトウェアの自動インストールについて設定します。

設定値:

On	表示用プラグインソフトウェアの自動インストールを行う
Off	表示用プラグインソフトウェアの自動インストールを行わない

工場出荷時の設定: On

Smoother live video display on the browser (buffering)

表示用プラグインソフトウェアで、本機の画像を表示する際の設定を行います。

設定値:

On	本機の画像を一時的にパーソナルコンピュータに蓄積し、より滑らかに表示します。
Off	本機の画像をパーソナルコンピュータに蓄積せず、リアルタイムに表示します。

工場出荷時の設定: On

(NOTE)

- 表示用プラグインソフトウェア [Network Camera View 4S] がインストールされていないパーソナルコンピュータでは、画像の表示や音声の視聴を行うことができません。
- プラグインソフトウェアのインストール回数は、Web設定画面 [Setup] の [Maintenance] メニューの [Product info.] タブで確認できます。

カメラ画面 [Image]

■ IP映像設定タブ [Video over IP]

JPEG画像、H.264画像の設定や、画質に関する設定を行います。

Video over IP Audio Image/Position System

Initial display settings for "Live" page

Stream:
 Refresh interval (JPEG) *:
 Image quality (JPEG):

Parameter Setting

Parameter: Original NDI|HX

JPEG

JPEG(1) JPEG transmission: On Off
 Image capture size:
 Image quality: Quality 1 Quality 2

JPEG(2) JPEG transmission: On Off
 Image capture size:
 Image quality: Quality 1 Quality 2

JPEG(3) JPEG transmission: On Off
 Image capture size:
 Image quality: Quality 1 Quality 2

H.264(1)

H.264 transmission: On Off
 Internet mode (over HTTP): On Off
 Image capture size:
 Transmission priority:
 Burst tolerance level:
 Control time period:
 Frame rate:
 Max bit rate (per client) *: Max - Min
 Image quality:
 Refresh interval:
 Transmission type:
 Unicast port(Image): (1024-50000)
 Unicast port(Audio): (1024-50000)
 Multicast address:
 Multicast port: (1024-50000)
 Multicast TTL/HOPLimit: (1-254)

H.264(2)

H.264 transmission: On Off
 Internet mode (over HTTP): On Off
 Image capture size:
 Transmission priority:
 Burst tolerance level:
 Control time period:
 Frame rate:
 Max bit rate (per client) *: Max - Min
 Image quality:
 Refresh interval:
 Transmission type:
 Unicast port(Image): (1024-50000)
 Unicast port(Audio): (1024-50000)
 Multicast address:
 Multicast port: (1024-50000)
 Multicast TTL/HOPLimit: (1-254)

H.264(3)

H.264 transmission: On Off
 Internet mode (over HTTP): On Off
 Image capture size:
 Transmission priority:
 Burst tolerance level:
 Control time period:
 Frame rate:
 Max bit rate (per client) *: Max - Min
 Image quality:
 Refresh interval:
 Transmission type:
 Unicast port(Image): (1024-50000)
 Unicast port(Audio): (1024-50000)
 Multicast address:
 Multicast port: (1024-50000)
 Multicast TTL/HOPLimit: (1-254)

H.264(4)

H.264 transmission: On Off
 Internet mode (over HTTP): On Off
 Image capture size:
 Transmission priority:
 Burst tolerance level:
 Control time period:
 Frame rate:
 Max bit rate (per client) *: Max - Min
 Image quality:
 Refresh interval:
 Transmission type:
 Unicast port(Image): (1024-50000)
 Unicast port(Audio): (1024-50000)
 Multicast address:
 Multicast port: (1024-50000)
 Multicast TTL/HOPLimit: (1-254)

● Initial display settings for "Live" page
 ライブ画面 [Live] に表示する初期設定を行います。

Stream

ライブ画面 [Live] に表示する画像を選択します。
 設定値:

H.264(1)	Windows	動画 (H.264(1)) を表示します。
H.264(2)	Windows	動画 (H.264(2)) を表示します。
H.264(3)	Windows	動画 (H.264(3)) を表示します。
H.264(4)	Windows	動画 (H.264(4)) を表示します。
JPEG(1)		静止画 (JPEG(1)) を表示します。
JPEG(2)		静止画 (JPEG(2)) を表示します。
JPEG(3)		静止画 (JPEG(3)) を表示します。

工場出荷時の設定: H264(1)

Refresh interval (JPEG)

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

設定値:

59.94Hzのとき

1fps/2fps/3fps/5fps/6fps*1 / 10fps*1 / 15fps*1 / 30fps*1

50Hzのとき

1fps/2fps/5fps/10fps*1 / 12.5fps*1 / 25fps*1

工場出荷時の設定: 5fps

*1 [H.264 transmission]を[On]に設定している場合は、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

〈NOTE〉

- ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
- 設定した画像更新速度で配信されない場合は、解像度や画質を下げることで設定した値に近づけることができます。

Image quality (JPEG)

ライブ画面でJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の画質をQuality1、Quality2から設定します。

設定値:

Quality1	画質1
Quality2	画質2

工場出荷時の設定: Quality1

● Parameter Setting

Parameter

本機の設定を工場出荷時の状態にします。

設定値:

Original	本機の設定をAW-HE130の設定値にします。
NDI HX	本機の設定をAW-HN130の設定値にします。

工場出荷時の設定: NDI|HX

● JPEG

[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]の「解像度」、「画質1」、「画質2」などを設定します。H.264画像に関する設定については「H.264(1)・H.264(2)・H.264(3)・H.264(4)」(→72ページ)をお読みください。

〈NOTE〉

- JPEG(1)～JPEG(3)でそれぞれ異なる解像度を選択する必要があります。同じ解像度を別のJPEG画像で選択することはできません。

JPEG transmission

JPEG画像を配信するかどうかをOn/Offで設定します。

設定値:

On	JPEG画像を配信します。
Off	JPEG画像を配信しません。

工場出荷時の設定: On

〈NOTE〉

- [JPEG(1)]を[Off]に設定すると、スナップショットボタンで取得できる画像は黒画像となります。
- [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]のいずれかを[Off]に設定すると、マルチスクリーン画面が表示されない場合があります。マルチスクリーンを使用するには、すべて[On]に設定してください。

Image capture size

JPEG画像を表示する際、表示する画像の解像度を以下から選択します。

設定値:

1920x1080/1280x720/640x360/320x180/160x90

工場出荷時の設定:

JPEG(1): 1920×1080

JPEG(2): 640×360

JPEG(3): 320×180

Image quality

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を2種類設定します。

設定値:

0 Super fine / 1 Fine / 2 / 3 / 4 / 5 Normal / 6 / 7 / 8 / 9 Low

工場出荷時の設定:

画質1の場合: 5 Normal

画質2の場合: 8

● H.264(1)・H.264(2)・H.264(3)・H.264(4) Windows

H.264画像の[Max bit rate (per client)]、[Image capture size]、[Image quality]などを設定します。

JPEG画像に関する設定については「JPEG」(→72ページ)をお読みください。

H.264 transmission

H.264画像を配信するかどうかをOn/Offで設定します。

設定値:

On	H.264画像を配信します。
Off	H.264画像を配信しません。

工場出荷時の設定:

H.264(1), H.264(2): On

H.264(3), H.264(4): Off

〈NOTE〉

- [H.264 transmission]を[On]に設定した場合は、ライブ画面でH.264画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- [H.264 transmission]を[On]に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

Internet mode (over HTTP)

H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のまままでH.264画像を配信することができます。

設定値:

On	HTTPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については88ページをお読みください。
Off	UDPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [On]に設定すると、配信方式は[Unicast port (AUTO)]に制限されます。
- [On]に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- [On]に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、H.264画像が表示されない場合があります。
- [On]に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。

Image capture size

H.264画像の解像度を選択します。
 選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

設定値:

H264(1)	1920×1080 1280×720
H264(2)	1920×1080 1280×720 640×360 320×180 160×90
H264(3)	1280×720 640×360 320×180 160×90
H264(4)	1280×720 640×360 320×180 160×90

工場出荷時の設定:

H.264(1) : 1920×1080
 H.264(2) : 640×360

Transmission priority

H.264画像の配信モードを設定します。

設定値:

Constant bit rate	H.264画像を[Max bit rate (per client)]で設定したビットレートで配信します。
Frame rate	H.264画像を[Frame rate]で設定したフレームレートで配信します。
Best effort	ネットワークの帯域に応じて、H.264画像を[Max bit rate (per client)]で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。
Advanced VBR	H.264画像を[Frame rate]で設定したフレームレートで配信します。このとき、[Control time period]で設定した期間での配信量の平均が、[Max bit rate (per client)]で設定したビットレートになるように配信します。

工場出荷時の設定: Frame rate

(NOTE)

- [Transmission priority]を[Frame rate]または[Advanced VBR]に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

Frame rate

H.264画像のフレームレートを設定します。

設定値:

59.94Hzのとき
 5fps*¹ / 15fps*¹ / 30fps*¹ / 60fps*¹
50Hzのとき
 5fps*¹ / 12.5fps*¹ / 25fps*¹ / 50fps*¹

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき: 30fps
50Hzのとき: 25fps

- *¹ [Frame rate]は、[Max bit rate (per client)]に制限されます。この値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

(NOTE)

- [Transmission priority]で[Frame rate]または[Advanced VBR]を選択したときのみ設定できます。
- [H.264(1)]は、60fps (59.94Hzのとき) または50fps (50Hzのとき) の固定値になります。
 [H.264(2)]～[H.264(4)]は、60fps (59.94Hzのとき) または50fps (50Hzのとき) は選択できません。

Burst tolerance level

H.264ビットレートが、[Max bit rate (per client)]をどれだけ超えることを許容するかを選択します。

設定値:

High / Middle / Low
 工場出荷時の設定: Low

(NOTE)

- [Transmission priority]で[Advanced VBR]を選択しているときのみ設定できます。

Control time period

H.264ビットレートを制御する期間を以下から選択します。選択した期間での配信量の平均が[Max bit rate (per client)]で設定したビットレートになるように配信します。

設定値:

1h	1時間
6h	6時間
24h	1日 (24時間)
1 week	1週間

工場出荷時の設定: 24h

(NOTE)

- [Transmission priority]で[Advanced VBR]を選択しているときのみ設定できます。

Max bit rate (per client)

1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。
 [Transmission priority]で[Best effort]を選択している場合は、最大(Max)、最小(Min)を設定します。

設定値:

64kbps / 128kbps *² / 256kbps *² / 384kbps *² /
 512kbps *² / 768kbps *² / 1024kbps *² /
 1536kbps *² / 2048kbps *² / 3072kbps *² /
 4096kbps *² / 6144kbps *² / 8192kbps *² /
 10240kbps *² / 12288kbps *² / 14336kbps *² /
 16384kbps *² / 20480kbps *² / 24576kbps *²

工場出荷時の設定:

H.264(1) : 10240kbps
 H.264(2) : 10240kbps

H.264ビットレートは、「解像度」によって設定可能な範囲が異なります。

- 160×90の場合 : 64kbps～2048kbps
- 320×180、640×360の場合 : 64kbps～4096kbps
- 1280×720の場合 : 256kbps～8192kbps
- 1920×1080の場合 : 512kbps～14336kbps
- 1920×1080 (60fps)、1280×720 (60fps) の場合 : 1024kbps～24576kbps

- *² H.264ビットレートは、ネットワーク設定画面(Network)の[Network]タブにある[Bandwidth control (bit rate)](→89ページ)に制限されます。この値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。

Image quality

H.264画像の画質を選択します。

設定値:

Low(Motion priority) / Normal / Fine(Image quality priority)
 工場出荷時の設定: Normal

(NOTE)

- [Transmission priority](→73ページ)で[Constant bit rate]または[Best effort]を選択しているときのみ設定できます。

Refresh interval

H.264画像をリフレッシュする間隔(1フレーム間隔: 0.2~5秒)を選択します。
ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。
ただし、画像の更新速度が低下することがあります。

設定値:

59.94Hzのとき

0.2s / 0.25s / 0.33s / 0.5s / 1s / 2s / 3s / 4s / 5s

50Hzのとき

0.2s / 0.5s / 1s / 2s / 3s / 4s / 5s

工場出荷時の設定: 1s

Transmission type

H.264画像の配信方式を以下から選択します。

設定値:

Unicast port (AUTO)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。 カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port1 (Image)]、[Unicast port2 (Audio)]が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、[Unicast port (AUTO)]に設定することをお勧めします。
Unicast port (MANUAL)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。 カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port1 (Image)]、[Unicast port2 (Audio)]を手動で設定する必要があります。 インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター(以下、ルーター)に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください(→87ページ)。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
Multicast port	1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。 マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、[Multicast address]、[Multicast port]、[Multicast TTL/HOPLimit]を入力します。

工場出荷時の設定: Unicast port (AUTO)

(NOTE)

- 最大同時アクセス数については、63ページのNOTEをご参照ください。

Unicast port1 (Image) *1

ユニキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。

設定可能なポート番号: 1024~50000

- 偶数のみ設定可能です。
- 10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 32004

H.264(2): 32014

*1 [Transmission type]の[Unicast port (MANUAL)]が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

Unicast port2 (Audio)*1

設定可能なポート番号: 1024~50000

- 偶数のみ設定可能です。
- 10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 33004

H.264(2): 33014

*1 [Transmission type]の[Unicast port (MANUAL)]が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

Multicast address

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

設定可能な値:

IPv4: 224.0.0.0~239.255.255.255

IPv6: FFから始まるマルチキャストアドレス

工場出荷時の設定:

H.264(1): 239.192.0.20

H.264(2): 239.192.0.21

(NOTE)

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

Multicast port

マルチキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。

設定可能なポート番号: 1024~50000

- 偶数のみ設定可能です。
- 10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 37004

(NOTE)

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1000」を足したポート番号が使用されます。

Multicast TTL/HOP Limit

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。

設定可能な値: 1~254

工場出荷時の設定: 16

(NOTE)

- インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているパーソナルコンピューターを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使わないLANカードを無効にしてください。

■ 音声 [Audio]

音声に関する設定を行います。

〈NOTE〉

- 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。



Audio

本機とパーソナルコンピューター間で音声データの配信を行うときの通信モードを設定します。

設定値:

Off	本機とパーソナルコンピューター間で音声データの配信を行いません。従って、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
On	本機からの音声データをパーソナルコンピューターが受信します。パーソナルコンピューターで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。

工場出荷時の設定: Off

Audio encoding format

音声の圧縮方式を選択します。

設定値: G.726 / AAC-LC (High quality)

工場出荷時の設定: AAC-LC (High quality)

Audio bit rate

音声を配信するときのビットレートを設定します。

設定値:

G.726のとき

16kbps / 32kbps

AAC-LC (High quality)のとき

64kbps / 96kbps / 128kbps

工場出荷時の設定: 128kbps

Mic input volume

本機からの音声を聞くときの音量を設定します。

設定値:

Mic High	音量を強に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
Mic Middle	音量を中に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
Mic Low	音量を弱に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
Line High	音量を強に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。
Line Middle	音量を中に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。
Line Low	音量を弱に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。

工場出荷時の設定: Line Middle

Mic input interval

音声の受話間隔を選択します。

設定値: 20msec / 40msec / 80msec / 160msec

工場出荷時の設定: 40msec

〈NOTE〉

- 受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると遅延時間は長くなりますが、音声の途切れを抑えることができます。お使いのネットワーク環境に合わせて設定を変更してください。
- [Audio encoding format]が[G.726]のときのみ設定が可能です。

Plugin Power

プラグインパワーのOn/Offを設定します。

Off	プラグインパワーをOnに設定します。
On	プラグインパワーをOffに設定します。

〈NOTE〉

- [Mic input volume]で[Mic High]または[Mic Middle]または[Mic Low]に設定しているときのみ有効です。

■ 画質調整/プリセットポジション画面

[Image / Position]

画質調整画面やプリセットポジション画面を表示します。



Image adjust

[Setup] ボタンをクリックすると、画質調整画面[Image adjust]を表示します。(→76ページ)

Preset position

[Setup] ボタンをクリックすると、プリセットポジション画面[Preset position]を表示します。(→80ページ)

● 画質調整画面 [Image adjust]

画質の調整を行います。

画質調整画面を表示するには、画質／位置表示画面 [Image / Position] で、[Image adjust]の[Setup] ボタンをクリックしてください。

この画面の項目は、[Scene]を除き、設定内容がすぐに反映されます。

Scene

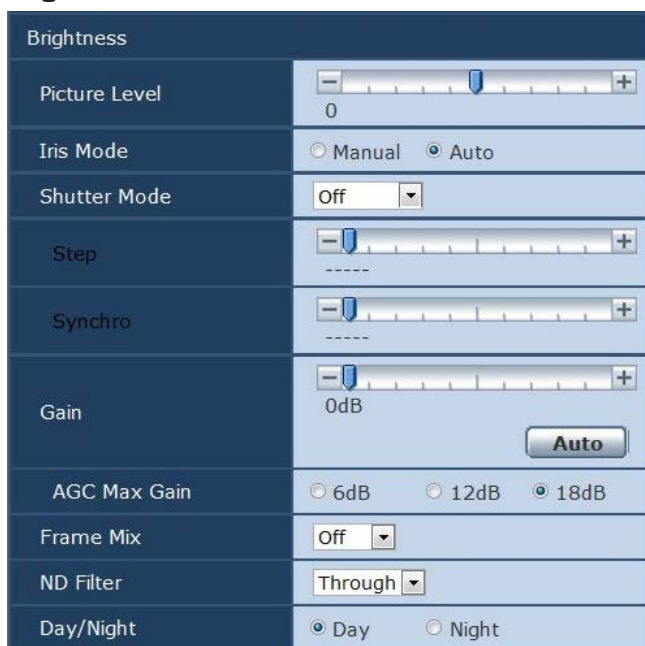


撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。撮影条件やお好みに合わせて、撮影モードを選択してください。プルダウンメニューから撮影モードを選択し、[Set] ボタンをクリックすると選択中の撮影モードに切り替わります。

設定値:

Scene1	撮影条件やお好みに合わせて、詳細な設定調整をマニュアル操作で行うモードです。
Scene2	
Scene3	
Scene4	

Brightness



Picture Level

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。次の自動露出補正機能のうち、いずれかが「Auto」もしくは「ELC」に設定されている場合に有効です。

- [Iris Mode]が[Auto]に設定されているとき
- [Shutter Mode]が[ELC]に設定されているとき
- [Gain]が[Auto]に設定されているとき

設定範囲: -50 ~ +50

工場出荷時の設定: 0

Iris Mode

アイリス調整の自動／手動を選択します。

設定値:

Manual	手動でアイリス調整を行います。
Auto	[Picture Level]で設定した目標レベルになるように自動露出補正を行います。

(NOTE)

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Iris Mode]は[Auto]に設定できません。

Shutter Mode

カメラのシャッターモードを選択します。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

設定値:

Off	シャッターをOFFにします。
Step	ステップシャッターの設定(段階可変)を行います。
Synchro	シンクロシャッターの設定(連続可変)を行います。
ELC	電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

工場出荷時の設定: Off

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

【Frequency 設定が59.94 Hz の場合】

	「Shuter Mode」項目で「Step」を選択した場合	「Shutter Mode」項目で「Synchro」を選択した場合
59.94p/ 59.94iのとき	1/100, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	60.15Hz ~ 642.21Hz (255段階)
29.97pのとき	1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	
23.98pのとき	1/24, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	

【Frequency 設定が50 Hz の場合】

	「Shuter Mode」項目で「Step」を選択した場合	「Shutter Mode」項目で「Synchro」を選択した場合
50p/50iのとき	1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	50.15Hz ~ 535.71Hz (255段階)
25pのとき	1/25, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	

(NOTE)

- 29.97Pモード、23.98Pモード、25Pモードでは、[Shutter Mode]で[OFF]に設定した場合はシャッター速度は[1/50]になります。

Gain

映像のゲイン調整を行います。

暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。

設定範囲: Auto, 0dB ~ 36dB

[Auto]に設定すると、光量を自動調整します。

ゲインを上げるとノイズが多くなります。

工場出荷時の設定: 0dB

(NOTE)

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Gain]は[Auto]に設定できません。

AGC Max Gain

[Gain]で[Auto]を選択した場合の最大ゲインアップ量を設定します。

設定値: 6dB / 12dB / 18dB

工場出荷時の設定: 18dB

Frame Mix

フレーム加算 (センサー蓄積によるゲインアップ)の量を設定します。フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。

設定値: Off / 6dB / 12dB / 18dB / 24dB

工場出荷時の設定: Off

- フォーマットが1080/29.97p、1080/23.98p、1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、1080/25p、1080/25PsFのときは設定できません。
- [Iris Mode]、[Gain]および[Focus Mode]のいずれかが[Auto]に設定されている場合、[Frame Mix]を[18dB]、[24dB]に設定できません。([Frame Mix]を[18dB]、[24dB]に設定するためには、[Iris Mode]および[Focus Mode]を[Manual]に設定し、[Gain]を[Auto]以外に設定する必要があります)

(NOTE)

- 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下では、明るさが同期的に変わったり、色が変わったり、横じまが上下に流れたりすることがあります。このようなときは、電子シャッター速度を電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをお勧めします。

ND Filter

レンズ内蔵のNDフィルター (減光フィルター)の透過率を設定します。

設定値:

Through	NDフィルターを設定しません。
1/8	NDフィルターの透過率を1/8に設定します。
1/64	NDフィルターの透過率を1/64に設定します。

工場出荷時の設定: Through

Day/Night

通常撮影と暗視撮影 (赤外線照射による暗視撮影)を切り替えます。

設定値:

Day	通常撮影 (デイモード)
Night	暗視撮影 (ナイトモード)

工場出荷時の設定: Day

(NOTE)

- 絞りは強制的に開放となります。
- ナイトモードでは、ホワイトバランス調整ができません。
- ナイトモードでは、NDフィルターの切り替えができません。
- ナイトモードでは、[Pedestal]の調整ができません。

Picture

The screenshot shows the 'Picture' menu with the following settings:

- Chroma Level: 0%
- White Balance Mode: AWB A
- AWB: Execute
- Color Temperature: 3200K
- R Gain: 0
- B Gain: 0
- ABB: Execute
- Pedestal: 0
- R Pedestal: 0
- B Pedestal: 0
- Detail: Off (radio button selected)
- Master Detail: 31
- V Detail Level: 0
- Detail Band: 0
- Noise Suppress: 1
- Flesh Tone Noise SUP.: 16
- Gamma Type: HD
- Gamma: 0.45
- DRS: Off
- Knee Mode: Auto (radio button selected)
- Knee Point: 93.00%
- Knee Slope: 85
- White Clip: On (radio button selected)
- White Clip Level: 109%
- DNR: Off (radio button selected)
- Matrix Type: Normal

Chroma Level

映像の色の濃淡を設定します。
設定範囲: OFF、-99% ~ 40%
工場出荷時の設定: 0%

White Balance Mode

ホワイトバランス(白バランス)のモードを設定します。
 光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。
 基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。

設定値:

ATW	常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正するモードです。
AWB A AWB B	[AWB A]、[AWB B]を選択してホワイトバランスを実行すると、その調整結果を記憶します。 [AWB A]または[AWB B]を選択すると、記憶しているホワイトバランスを呼び出すことができます。
3200K	3200Kのハロゲンライトが光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
5600K	5600Kの太陽光や蛍光灯が光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
VAR	色温度2000K ~ 15000Kを指定できます。

工場出荷時の設定: AWB A

AWB

自動ホワイトバランス (AWB) を実行し、ホワイトバランスがセットされます。詳細は、31 ページを参照してください。

Color Temperature

色温度2000K ~ 15000Kを指定できます。
 [White Balance Mode]が[VAR]のときに有効です。
設定範囲: 2000K ~ 15000K
工場出荷時の設定: 3200K

R Gain

R ゲインを調整できます。
 [White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。
設定範囲: -150 ~ +150
工場出荷時の設定: 0

B Gain

B ゲインを調整できます。
 [White Balance Mode]が[AWB A]、[AWB B]または[VAR]のときに有効です。
設定範囲: -150 ~ +150
工場出荷時の設定: 0

ABB

自動ブラックバランス (ABB) を実行し、ブラックバランスがセットされます。詳細は、33 ページを参照してください。

Pedestal

黒レベルの調整 (ペDESTAL調整) を行います。
 マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。
設定範囲: -150 ~ +150
工場出荷時の設定: 0

R Pedestal

RペDESTALを調整できます。
 RペDESTALは、シーン共通の設定です。
設定範囲: -100 ~ +100
工場出荷時の設定: 0

B Pedestal

BペDESTALを調整できます。
 BペDESTALは、シーン共通の設定です。
設定範囲: -100 ~ +100
工場出荷時の設定: 0

Detail

映像の輪郭 (映像のシャープさ) の調整のOn/Offを設定します。
設定値: Off / On
工場出荷時の設定: On

Master Detail

映像の輪郭 (映像のシャープ) を調整します。
 数値が高いほど、より輪郭が強調されます。
設定範囲: 0 ~ 62
工場出荷時の設定: 0

V Detail Level

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
設定範囲: -7 ~ +7
工場出荷時の設定: 0

Detail Band

ディテールのブースト周波数を設定します。
設定範囲: -7 (低周波数) ~ +7 (高周波数)
工場出荷時の設定: 0
 高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果がつきます。

Noise Suppress

ディテール効果による画面ノイズを軽減します。
 設定値が大きいほどノイズが少なくなります。
設定範囲: 0 ~ 60
工場出荷時の設定: 1

Flesh Tone Noise SUP.

人の肌をなめらかに、よりきれいに映す機能です。
 設定値が大きいほど、より効果が強調されます。
設定範囲: 0 ~ 31
工場出荷時の設定: 16

Gamma Type

ガンマカーブのタイプを選択します。
設定値:

HD	HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。
SD	HDガンマよりも暗部のゲインがアップしています。
FILMLIKE1	HDガンマに比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
FILMLIKE2	[FILMLIKE1]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。
FILMLIKE3	[FILMLIKE2]に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。

工場出荷時の設定: HD

Gamma

ガンマ補正レベルの調整を行います。
 低い値を設定すると、低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブとなり、コントラストはシャープになります。
 高い値に設定すると、暗い部分の階調度を広げて明るいトーンの映像にします。低輝度部の傾きが急なガンマカーブとなり、コントラストはソフトになります。
設定範囲: 0.30 ~ 0.75
工場出荷時の設定: 0.45

DRS

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能を設定します。

[Low]、[Mid]、[High]から効果が選択できます。
 シーンによっては、ノイズ感が悪くなる場合があります。
設定値: Off / Low / Mid / High
工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- DRSを有効にしているときは、ニーの設定 ([Knee Mode]、[Knee Point]、[Knee Slope])、および[Gamma Type]、[Gamma]の設定が無効になります。

Knee Mode

階調圧縮(ニー)の動作モードを設定します。
設定値:

Off	ニーをオフにします。
Auto	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを自動で設定します。
Manual	ニーをオンにし、ニーポイントやニーの傾きを手動で設定します。

工場出荷時の設定: Auto

Knee Point

高輝度映像信号の圧縮レベル(ニーポイント)の位置設定を行います
 [Knee Mode]が[Manual]のときのみ有効です
設定範囲: 70.0% ~ 107.0%
工場出荷時の設定: 93.0%

Knee Slope

ニーの傾きを設定します
 [Knee Mode]が[Manual]のときのみ有効です
設定範囲: 0 ~ 99
工場出荷時の設定: 85

(NOTE)

- [DRS]を有効にしているときは、ニーの設定が無効になります。

White Clip

ホワイトクリップ機能のOff、Onを設定します。
設定値: Off / On
工場出荷時の設定: On

White Clip Level

ホワイトクリップレベルを設定します。
 [White Clip]が[On]のときのみ有効です。
設定範囲: 90% ~ 109%
工場出荷時の設定: 109%

(NOTE)

- [Knee Mode]が[Auto]のとき、[White Clip]の値が変更されたときは、[Knee]の値も追従して変更されます。

DNR

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のレベルを設定します。
 [Low]、[High]を選択すると、ノイズを除去することができます。
 ただし、残像が増える場合があります。
設定値: Off / Low / High
工場出荷時の設定: Off

● マトリクス設定画面 [Matrix Settings]

マトリクスの設定を行います。
 マトリクス設定画面を表示するには、画質/位置表示画面 [Image / Position]で、最下段の[Matrix Type]の[Setup]ボタンをクリックしてください。
 [Matrix Type]が[User]のときのみ設定が可能です。
 この画面の項目は設定内容がすぐに反映されます。



Matrix Type

カラーマトリクスのタイプを選択します。

設定値:

Normal	プリセットされているカラーマトリクスデータを読み出し、彩度と色相の補正を行います。
EBU	
NTSC	
User	「Linear Matrix」と「Color Correction」の値を調整できます。

工場出荷時の設定: Normal

Linear Matrix

マトリクスタイプが「User」の場合に設定が可能です。

設定値:

R-G	各軸方向の色調整を-63 ~ +63 の範囲で行います。
R-B	
G-R	
G-B	
B-R	
B-G	

Color Correction

[Matrix Type]が「User」の場合に設定が可能です。

飽和度と色相の調整を行います。

Saturation

各色の飽和度を調整します。

設定範囲: -63 ~ +63

Phase

各色の色相を調整します。

設定範囲: -63 ~ +63

B_Mg	青とマゼンタの中間色
Mg	マゼンタ
Mg_R	マゼンタと赤の中間色
Mg_R_R	マゼンタと赤の比率が 1:3 の色
R	赤
R_R_YI	赤と黄の比率が 3:1 の色
R_YI	赤と黄の中間色
R_YI_YI	赤と黄の比率が 1:3 の色
YI	黄
YI_G	黄と緑の中間色
G	緑
G_Cy	緑とシアンの中間色
Cy	シアン
Cy_B	シアンと青の中間色
B	青

● プリセットポジション画面 [Preset position]

プリセットポジションに関する操作および調整を行います。

プリセットポジション画面を表示するには、画質/位置表示画面 [Image / Position] で、[Preset position] の [Setup] ボタンをクリックしてください。






この画面の項目は、[Preset] を除き、設定内容がすぐに反映されます。







Preset

Home	
プルダウンメニューから操作したいプリセットポジションを選択します。	
Set (Set)	現在の状態をプルダウンメニューで選択中のプリセットポジションへ登録します。 プルダウンメニューで [Home] が選択されている場合は無効です。
Move (Move)	プルダウンメニューで選択中のプリセットポジションへ移動します。 再現内容は、[Preset Scope] (→55ページ、81ページ、83ページ) で指定した内容です。 プルダウンメニューで [Home] が選択されている場合は、ホームポジションへ移動します。 このとき、[Freeze During Preset] の設定にかかわらず、ホームポジションへの移動中の出力映像はフリーズされません。
Delete (Delete)	選択中のプリセットポジションの設定を削除します。 プルダウンメニューで [Home] が選択されている場合は無効です。




Zoom

 (-)	ズーム (倍率) を「広角」方向に調整します。
 (× 1.0)	ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。
 (+)	ズーム (倍率) を「望遠」方向に調整します。
 (D. Zoom)	デジタルズームの有効/無効を設定します。
 (D. Ext)	デジタルエクステンダーの有効/無効を設定します。 デジタルズームが「無効」のときのみ動作します。


Focus

 (Near)	フォーカス (焦点) を「近」方向に調整します。 オート時は無効です。
 (O.T. AF)	フォーカス (焦点) がマニュアルのときに押すと、一時的に自動でフォーカス (焦点) を調整します。オート時は無効です。
 (Far)	フォーカス (焦点) を「遠」方向に調整します。 オート時は無効です。
 (Auto)	フォーカスのオート/マニュアルを切り替えます。

Brightness

 (-)	画像が暗くなります。 オート時は無効です。
 (+)	画像が明るくなります。 オート時は無効です。
 (Auto)	画像の明るさ調整のオート/マニュアルを切り替えます。


コントロールパッド/ボタン

	画像の水平位置・垂直位置の調整 (パン・チルト) は、パッドおよびボタンを左クリックして行います。パッドの外側をクリックすればするほど、カメラの動作速度は速くなります。また、マウスをドラッグして調整することもできます。ズームとフォーカスは右クリックで行います。パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム (倍率) が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。左右方向で左半分をクリックすると、フォーカス (焦点) が近くなり、右半分をクリックすると遠くなります。マウスホイール操作でもズームを調整できます。
---	---

(NOTE)

- コントロールパッドエリアからエリア外にマウスをドラッグ&ドロップすると、パンおよびチルトなどの操作が止まらなくなります。この場合、コントロールパッドエリア内でクリックすると停止します。

Speed

 Slow	パン・チルト・ズーム・フォーカス・明るさの各動作速度を切り替えます。
---	------------------------------------

Speed With Zoom POS.

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能を Off/On します。

設定値:

Off	ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなりません。
On	ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。なお、本機能はプリセット動作には効果がありません。

Focus ADJ With PTZ.

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのズレを補正する機能を Off/On します。

設定値:

Off	フォーカスのズレを補正しません。
On	フォーカスのズレを補正します。

[Off] に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。
[Focus Mode] が [Manual] のときに選択できます。

Preset Setting

Preset Speed Table

プリセットスピードのテーブル (Slow、Fast) を設定します。プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従った Preset Speed (1 ~ 30) の値でプリセットを実行します。

設定値:

Slow	プリセットスピードのテーブルを Slow に設定します。
Fast	プリセットスピードのテーブルを Fast に設定します。

Preset Speed

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときのパン・チルトの動作スピードを、30 段階で設定します。

設定範囲: 1 ~ 30

(NOTE)

- [Preset Speed] を大きな値に設定すると、停止するとき画面が揺らぐことがあります。
- [Preset Speed Table] に [Fast] を設定した場合、AW-HE120 と同等の [Preset Speed] が適用されます。

Preset Scope

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

設定値:

Mode A	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris、Gain、ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris
Mode C	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus

Freeze During Preset

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能を Off/On します。

[On] に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

設定値:

Off	プリセット再生中に映像をフリーズさせません。
On	プリセット再生中に映像をフリーズさせます。

Limitation Setting

上下左右の回転台のリミット設定を行います。

まず、リミット設定したい位置まで回転台を動かしてから、リミットを設定する方向 (上下左右) を下記のボタンを押して設定します。設定したら、それぞれの項目で [Set] ボタンを押して確定します。

Tilt Up	現在の位置を上向きのリミットとして記憶します。
Tilt Down	現在の位置を下向きのリミットとして記憶します。
Pan Left	現在の位置を左向きのリミットとして記憶します。
Pan Right	現在の位置を右向きのリミットとして記憶します。
Set/Release	リミット設定の有効・無効を各方向別に設定します。

Image Save

本機の内蔵メモリーに、JPEG形式で静止画の記録および再生・削除をすることができます。

記録される静止画は5つまでで、解像度は1920x1080です。

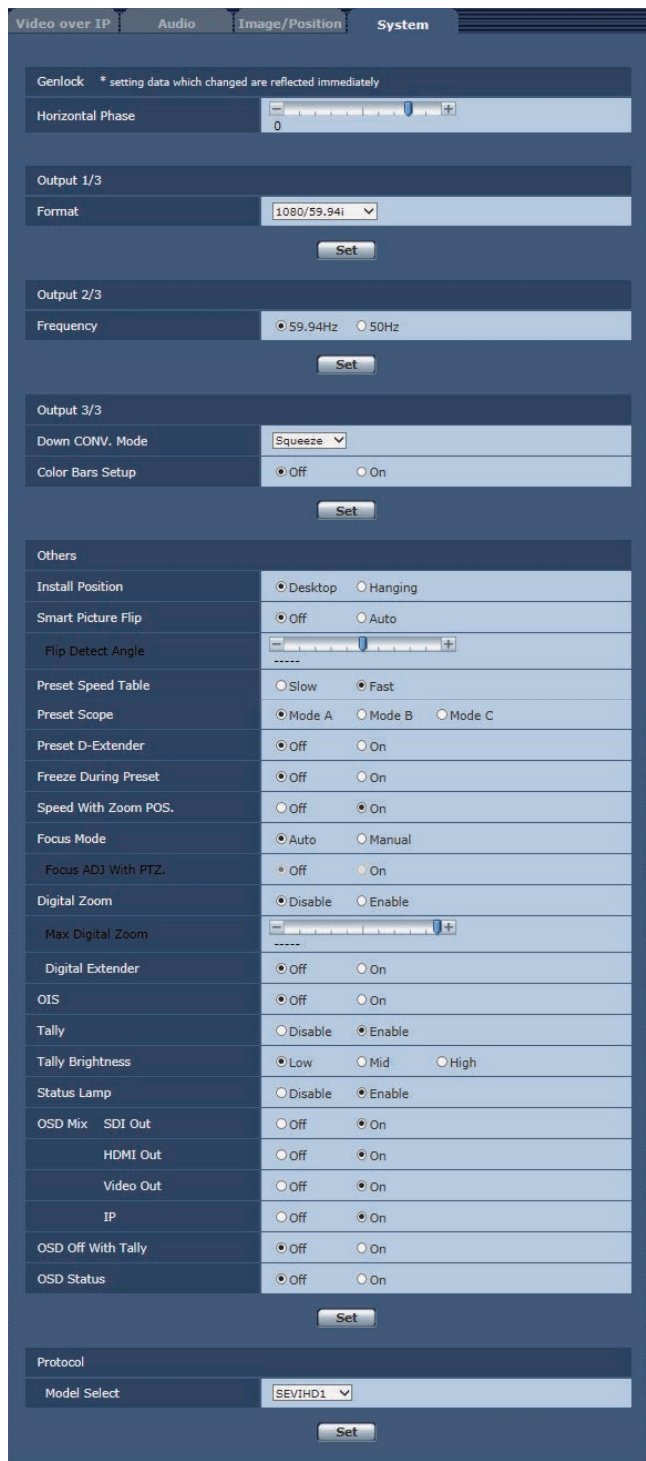
Image Save	
01.JPG	
Save Load Delete	
Save (Save)	選択中のファイルの静止画を記録します。
Load (Load)	選択中のファイルの静止画を再生します。
Delete (Delete)	選択中のファイルの静止画を削除します。

(NOTE)

- JPEG(1)の[JPEG Transmission]が[Off]の時は、静止画の記録および再生はできません。
- 指定したファイルに既に記録された静止画がある場合は、上書きされます。

■ システム設定画面 [System]

ゲンロック位相調整やカメラの出力映像の設定などに関する設定メニューです。



● Genlock

この項目は、設定内容がすぐに反映されます。

Horizontal Phase

ゲンロック時の水平位相の調整を行います。

設定範囲: -206 ~ +49

工場出荷時の設定: 0

(NOTE)

- HD/SDの水平位相を個別に調整することはできません。VIDEO OUT出力のクロマ位相は調整することはできません。フリーランとなります。

● Output 1/3

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Format

映像フォーマットを変更します。

[480/59.94p(i)], [576/50p(i)] の場合、HDMI には P 信号が出力されますが、SDI 出力、およびビデオ出力には I 信号が出力されません。

設定値:

59.94Hz のとき:

1080/59.94p、1080/29.97p、1080/23.98p、1080/59.94i、1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、720/59.94p、480/59.94p(i)

50Hz のとき:

1080/50p、1080/25p、1080/50i、180/25PsF、720/50p、576/50p(i)

工場出荷時の設定: 1080/59.94i

(NOTE)

- HD⇔SDのフォーマット切り替えを行った場合、Format Set画面を表示した後に、本機は自動的に再起動します。

● Output 2/3

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Frequency

フレーム周波数を切り替えます。

設定値:

59.94Hz / 50Hz

- 周波数が切り替わると、[Format] の設定が次のようになります。

59.94Hz		50Hz
1080/59.94p	↔	1080/50p
1080/29.97p	↔	1080/25p
1080/23.98p	→	1080/25p
1080/59.94i	↔	1080/50i
1080/29.97PsF	↔	1080/25PsF
1080/23.98PsF	→	1080/25PsF
720/59.94p	↔	720/50p
480/59.94p(i)	↔	576/50p(i)

工場出荷時の設定: 59.94Hz

● Output 3/3

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Down CONV. Mode

ダウンコンバートのモード選択を行います。

設定値:

Squeeze	<p>モニターのアスペクト比が 16 : 9 の場合に使用します。また、モニターがアスペクト比 4 : 3 画面の場合は、横幅をつぶして上下に引き延ばした映像になります。</p>
SideCut	<p>モニターのアスペクト比が 4 : 3 の場合に使用します。縦幅を基準に両側にはみだした部分を切り取って、画角を変換します。</p>
LetterBox	<p>モニターのアスペクト比が 4 : 3 の場合に使用します。横幅を基準に上下に黒味を追加して、画角を変換します。</p>

工場出荷時の設定: Squeeze

Color Bars Setup

[Frequency]の設定が[59.94Hz]のときのみ有効です。
VIDEO OUT 信号のカラーバーセットアップレベル (Off : 0.0IRE、On : 7.5IRE) を選択できます。

設定値:

Off	0.0IRE
On	7.5IRE

工場出荷時の設定: Off

● Others

[Set] ボタンを押すと、設定内容が反映されます。

Install Position

本機の設置方法を「据え置き」または「吊り下げ」から選択します。

設定値:

Desktop	据え置き設置
Hanging	吊り下げ設置

工場出荷時の設定: Desktop

- [Hanging] (吊り下げ) を選択した場合、映像が上下左右反転となり、パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

Smart Picture Flip

[Auto]に設定した場合、チルトが[Flip DetectAngle]で設定した角度になると、自動的に映像を上下逆転します。

設定値:

Off	映像を上下逆転させません。
Auto	[Flip DetectAngle]で設定した角度になると、自動的に映像を上下逆転します。

工場出荷時の設定: Off

Flip Detect Angle

[Smart Picture Flip]が[Auto]の場合に、映像を上下逆転させるチルトの角度を設定します。

設定範囲: 60° ~ 120°

工場出荷時の設定: 90°

Preset Speed Table

プリセットスピードのテーブル (Slow / Fast) を設定します。
プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従ったPreset Speed (1 ~ 30) の値でプリセットを実行します。

設定値: Slow / Fast

工場出荷時の設定: Fast

Preset Speed

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときのパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。

設定範囲: 1 ~ 30

工場出荷時の設定: 20

- Preset Speed を大きな値に設定すると、停止するとき画面が揺らぐことがあります。
- [Preset Speed Table]に[Fast]を設定した場合、AW-HE120 と同等の[Preset Speed]が適用されます。

Preset Scope

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

設定値:

Mode A	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris、Gain、ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris
Mode C	Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus

工場出荷時の設定: Mode A

Preset D-Extender

プリセットデジタルエクステンダー機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー再生時にデジタルエクステンダー機能の設定状態を呼び出します。[Off]に設定すると、プリセットメモリー登録時のデジタルエクステンダー機能の設定状態は呼び出されません。

設定値: Off / On

工場出荷時の設定: Off

Freeze During Preset

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

設定範囲: Off / On

工場出荷時の設定: Off

Speed With Zoom POS.

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。

なお、本機能はプリセット動作には効果がありません。

設定範囲: Off / On

工場出荷時の設定: On

Focus Mode

フォーカス調整 (ピント合わせ) 機能の自動/手動を選択します。

設定値:

Auto	常にフォーカスを自動的に合わせます。
Manual	フォーカスをマニュアル操作します。

工場出荷時の設定: Auto

<NOTE>

- [Frame Mix]が[18dB]または[24dB]に設定されている場合、[Focus Mode]は[Auto]に設定できません。

Focus ADJ With PTZ.

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能をOff/Onします。

[Off]に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

[Focus Mode]が[Manual]のときに選択できます。

設定値:

Off	パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正しません。
On	パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正します。

工場出荷時の設定: Off

Digital Zoom

デジタルズーム機能の無効[Disable] / 有効[Enable]を設定します。
[Enable]に設定した場合、最大の位置からさらにTele 方向にズーム操作すると、デジタルズームを連続的に操作できます。光学ズームとデジタルズームの切り替わり位置では、ズーム操作がいったん停止しますので、ズーム操作を一度止めてから、再度ズーム操作を行ってください。

また、既にデジタルズーム領域にある状態で[Disable]に変更すると、光学ズーム最大の位置に自動的に移動します。

設定値: Disable / Enable

工場出荷時の設定: Disable

デジタルズーム中にカラーバーを表示すると、デジタルズームがオフになります。

Max Digital Zoom

デジタルズームの倍率の上限を設定します。

設定値:

x2 / x3 / x4 / x5 / x6 / x7 / x8 / x9 / x10

工場出荷時の設定: x10

Digital Extender

デジタルエクステンダー機能をOff/Onします。
 [On]に設定すると、常にデジタルズームが1.4倍として動作します。
 [Digital Zoom]が[Enable]のときは、[Digital Extender]は無効になります。

設定範囲: Off / On
 工場出荷時の設定: Off

OIS

光学式画揺れ補正機能(OIS)の有効/無効を設定します。

設定値: Off / On
 工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- パンチルト動作中は、光学式画揺れ補正機能(OIS)による補正量を低下させます。

Tally

タリーの制御信号によってタリーランプを点灯または消灯する機能の無効[Disable] / 有効[Enable]を設定します。

設定値: Disable / Enable
 工場出荷時の設定: Enable

Tally Brightness

タリーLEDの光量を調整します。

設定値: Low / Mid / High
 工場出荷時の設定: Low

(NOTE)

- [Low]に設定したとき、AW-HE120のタリーLEDの光量と同等となります。

Status Lamp

状態表示ランプの無効[Disable] / 有効[Enable]を設定します。
 本機動作中に状態表示ランプを常時消灯したい場合、[Disable]に設定してください。

設定値: Disable / Enable
 工場出荷時の設定: Enable

(NOTE)

- [Disable]に設定していても、起動中やファームウェアのアップデート中、異常発生時など、状態表示ランプが点灯する場合があります。

OSD Mix

カメラメニューやステータスなどの表示のOff/Onを、各出力映像ごとに選択します。

設定値: Off / On
 工場出荷時の設定: On

SDI Out

HDMI Out

Video Out

IP

[On]に設定すると、設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示します。

設定値:

Off	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示しません。
On	設定対象の出力映像にカメラメニューやステータスを表示します。

工場出荷時の設定: On

(NOTE)

- 表示をOFFに設定した場合でも、本機の電源をONにした後1分間は、カメラメニューを表示することができます。

OSD Off With Tally

タリー信号をコマンドまたは接点で受信した際に、カメラメニューやステータス表示を消去する機能のOff/Onを設定します。
 タリー信号が解除されると、カメラメニュー表示は元に戻ります。

設定値: Off / On
 工場出荷時の設定: Off

OSD Status

AWB および ABB 実行時のステータス表示をOff/Onします。

設定値: Off / On
 工場出荷時の設定: Off

Model Select

標準シリアル通信時のプロトコル種別を設定します。

Reserved1～7は選択しないでください。

本機底面のサービススイッチ(SW4)がON(標準シリアル通信)のときに表示されます。

設定値:
 SEVIHD1 / SBRC300 / SBRCZ330 / Reserved1～7
 工場出荷時の設定: SEVIHD1

マルチスクリーン設定画面 [Multi-screen setup]

マルチスクリーン設定画面では、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。

IP address

マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ(16台)まで登録することができます。

表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。

IPv4アドレスの入力例	192.168.0.10:8080
IPv6アドレスの入力例	[2001:db8:0:0:0:0:1]:8080

工場出荷時の設定:

Cam 1: selfcamera
 Cam 2～Cam 16: 登録なし

<NOTE>

- 表示したいカメラにHTTPSで接続することはできません。
- IPアドレスまたはホスト名に「selfcamera」と表示されているカメラは、本機が設定されています。
- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するパーソナルコンピュータのDNS設定が必要です。パーソナルコンピュータのDNS設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Camera title

カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。

- 半角0～20文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!#\$%()*+,-./:;<=>?@[^_`{ }~

工場出荷時の設定:

Cam 1: 品番が表示されます。

Cam 2～Cam 16: 空欄

<NOTE>

- 16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中でしか表示されないことがあります。
- マルチスクリーンの表示は「4：3」になります。

ユーザー管理画面 [User mng.]

ユーザー管理画面 [User mng.] では、パーソナルコンピュータや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやパーソナルコンピュータ (IPアドレス) を制限する認証登録を行います。ユーザー管理画面 [User mng.] は、[User auth.] タブ、[Host auth.] タブ、[Priority stream] タブで構成されています。

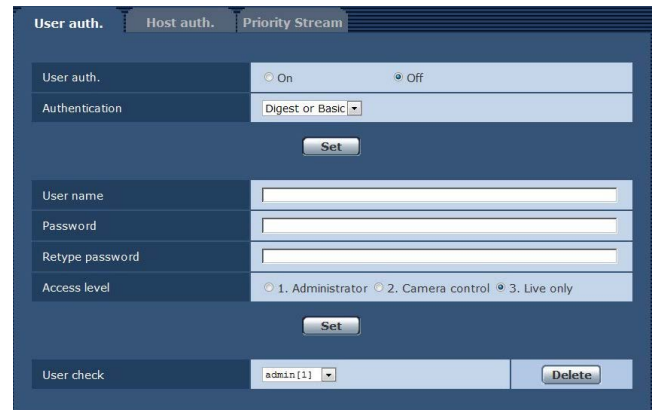
■ ユーザー認証設定画面 [User auth.]

ユーザー管理画面 [User mng.] の [User auth.] タブをクリックします。パーソナルコンピュータや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。

最大24ユーザーまで登録できます。

<NOTE>

- 同じIPアドレスのパーソナルコンピュータから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗 (認証エラー) した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。



User auth.

ユーザー認証をするかどうかを On / Off で設定します。

設定値:

On	ユーザー認証をします。
Off	ユーザー認証をしません。

工場出荷時の設定: Off

Authentication

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

設定値:

Digest or Basic	ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。
Digest	ダイジェスト認証を使用します。
Basic	ベーシック認証を使用します。

工場出荷時の設定: Digest or Basic

<NOTE>

- [Authentication] の設定を変更した場合は、Web ブラウザー を閉じて、アクセスし直してください。
- [User auth.] を [On] にすると、AW-RP50 とネットワーク接続ができなくなります。
- [Authentication] で [Digest] を選択した状態で [User auth.] を [On] にすると、AW-RP50、AW-RP120 および AK-HRP200 とネットワーク接続ができなくなります。

User name

ユーザー名を入力します。

入力可能文字数	1～32文字
入力不可文字	全角、半角記号* & ; ¥

工場出荷時の設定: 空欄

Password / Retype password

パスワードを入力します。

入力可能文字数	4～32文字
入力不可文字	全角、半角記号" &

工場出荷時の設定: 空欄

<NOTE>

- 登録済みのユーザー名を入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

Access level

ユーザーのアクセスレベルを以下から設定します。

設定値:

1. Administrator	本機のすべての操作ができます。
2. Camera control	画像表示、本機の操作ができます。本機の設定はできません。
3. Live only	ライブ画面の表示のみができます。本機の操作、設定はできません。

工場出荷時の設定: 3. Live only

User check

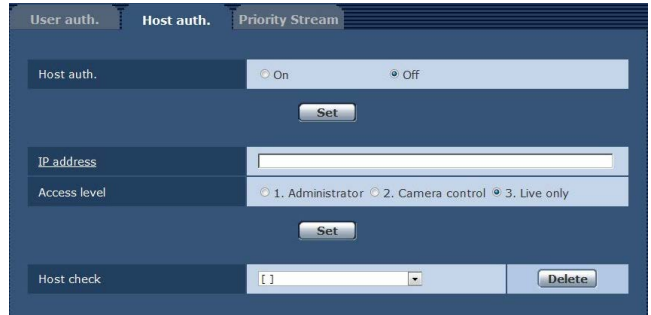
[User check]の[▼]をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。

登録ユーザーは「登録したユーザー名 [アクセスレベル]」で表示されます。(例: admin [1])

右のDelete ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

■ ホスト認証設定画面 [Host auth.]

ユーザー管理画面 [User mng.]の [Host auth.] タブをクリックします。本機にアクセスできるパーソナルコンピューター (IPアドレス) を制限するホスト認証設定を行います。



Host auth.

ホスト認証をするかどうかを On / Off で設定します。

設定値:

On	ホスト認証をします。
Off	ホスト認証をしません。

工場出荷時の設定: Off

IP address

本機へのアクセスを許可するパーソナルコンピューターの IP アドレスを入力します。ホスト名を IP アドレスとして入力することはできません。

<NOTE>

- [IP アドレス / サブネットのマスク長] を入力すると、サブネットごとにアクセスできるパーソナルコンピューターを制限できます。たとえば、「192.168.0.1/24」と入力し、[Access level] で [2. Camera control] を選択した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のパーソナルコンピューターが [2. Camera control] のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みの IP アドレスを入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

Access level

ホストのアクセスレベルを以下から選択します。

設定値:

1. Administrator	本機のすべての操作ができます。
2. Camera control	画像表示、本機の操作ができます。本機の設定はできません。
3. Live only	ライブ画面の表示ができます。本機の操作、設定はできません。

工場出荷時の設定: 3. Live only

Host check

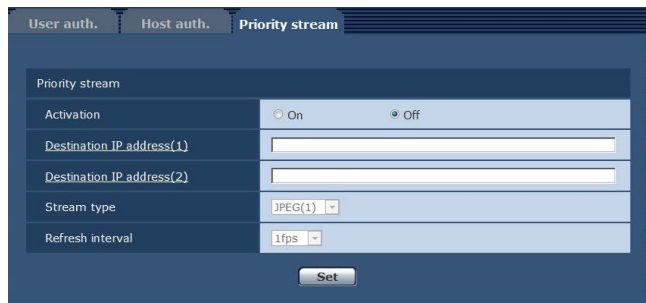
[Host check]の[▼]をクリックすると、登録されているホストの IP アドレスを確認できます。

ホストは「登録した IP アドレス [アクセスレベル]」で表示されます。(例: 192.168.0.21 [1])

右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したホスト (IP アドレス) を削除できます。

■ 優先ストリーム設定画面 [Priority stream]

ユーザー管理ページ[User mng.]の[Priority stream]タブをクリックします。
複数のユーザーが同時にアクセスした場合でも、画質や画像更新速度を下げることなく、画像を配信できる優先ストリームの設定を行います。



● Priority stream

Activation

優先ストリーム配信を使用するかどうかをOn / Offで設定します。

設定値:

On	優先ストリーム配信を使用します。
Off	優先ストリーム配信を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- [Activation]を[On]に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。

Destination IP address (1)

1つ目の送信先のIPアドレスを入力します。

Destination IP address (2)

2つ目の送信先のIPアドレスを入力します。

Stream Type

ストリーム種別を選択します。

設定値:

JPEG(1)	JPEG(1)画像が配信されます。
JPEG(2)	JPEG(2)画像が配信されます。
JPEG(3)	JPEG(3)画像が配信されます。
H.264(1) Windows	H.264(1)画像が配信されます。
H.264(2) Windows	H.264(2)画像が配信されます。
H.264(3) Windows	H.264(3)画像が配信されます。
H.264(4) Windows	H.264(4)画像が配信されます。

工場出荷時の設定: JPEG(1)

(NOTE)

- [H.264]の[Transmission priority](→73ページ)で[Best effort]を選択している場合、他のユーザーの接続状態により最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。 [Windows](#)

Refresh interval

画像の更新速度を選択します。

[Stream Type]で[JPEG(1)], [JPEG(2)], [JPEG(3)]を選択した場合のみ有効です。

設定値:

59.94Hzのとき:

1fp / 2fps / 3fps / 5fps / 6fps* / 10fps* / 15fps*¹ / 30fps*¹

50Hzのとき:

1fps / 2fps / 5fps / 10fps* / 12.5fps*¹ / 25fps*¹

工場出荷時の設定: 1fps

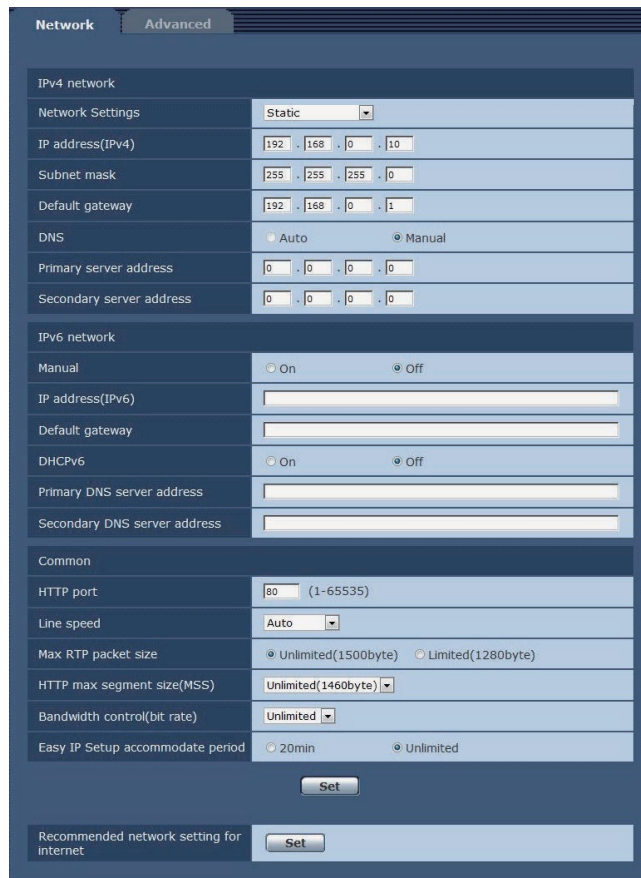
*¹ [H.264 transmission]を[On]に設定している場合、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

■ ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面では、ネットワークに関する設定を行います。ネットワーク設定画面は、[Network]タブ、[Advanced]タブで構成されています。

■ ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面[Network]の[Network]タブをクリックします。



以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ(ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合)
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス(DNSを使用する場合)

● IPv4 network

Network Settings

IPアドレスの設定方法を選択します。

設定値:

Static	IPアドレスを[IPアドレス(IPv4)]に入力して設定します。
DHCP	DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。
Auto(AutoIP)	DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動でIPアドレスを設定します。
Auto(Advanced)	DHCP機能を利用してネットワークアドレス情報を参照し、使用していないIPアドレスを固定IPアドレスとしてカメラへ設定します。設定されるIPアドレスはサブネットマスクの範囲内でカメラが自動で決定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。

工場出荷時の設定: Static

<NOTE>

- [Auto (AutoIP)]で、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、169.254.1.0~169.254.254.255の間で同一ネットワーク内で使用されていないIPアドレスを検索してIPアドレスを設定します。
- [Static]以外に設定している場合、AW-RP120からのIPアドレス自動設定(AUTO IP)、およびAW-RP50からのIPアドレス自動設定(AUTO SET IP)を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.10

<NOTE>

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

<NOTE>

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

DNS

DNSサーバーのアドレスを自動(Auto)で取得するか、手動で入力する(Manual)かを設定します。

[Manual]に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。DHCP機能を使用する場合は、[Auto]に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。

設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

設定値: Auto / Manual

工場出荷時の設定: Manual

Primary server address

Secondary server address

[DNS]を[Manual]で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

● IPv6 network

Manual

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn / Offで設定します。

設定値:

On	手動でIPv6アドレスを入力します。
Off	IPv6アドレスの手動入力できません。

工場出荷時の設定: Off

IP address (IPv6)

[Manual]を[On]に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。

他の機器と重複しないよう入力してください。

<NOTE>

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるブリック情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

Default gateway

IPv6 networkの[Manual]が[On]のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 空欄

DHCPv6

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn / Offで設定します。DHCP機能を使用しないパーソナルコンピューターと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

設定値:

On	IPv6のDHCP機能を使用します。
Off	IPv6のDHCP機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

Primary DNS server address

Secondary DNS server address

DNSサーバーのIPv6アドレスを入力します。

DNSサーバーのIPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

● Common(IPv6/IPv4共通)

HTTP port

ポート番号を個別に割り当てます。

設定範囲: 1~65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000~61000

工場出荷時の設定: 80

Line speed

データの通信速度を以下から選択します。通常は、初期設定の[Auto]のまま使用することをお勧めします。

設定値:

Auto	通信速度が自動設定されます。
100 M-Full	100 Mbps 全二重
100 M-Half	100 Mbps 半二重
10 M-Full	10 Mbps 全二重
10 M-Half	10 Mbps 半二重

工場出荷時の設定: Auto

Max RTP packet size

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。

設定値:

Unlimited(1500byte)	制限なし (1500 byte)
Limited(1280byte)	制限あり (1280 byte)

工場出荷時の設定: Unlimited(1500byte)

通常は、[Unlimited(1500byte)]のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、[Limited(1280byte)]を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

HTTP max segment size(MSS)

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ(MSS)を制限するかどうかを設定します。

設定値:

Unlimited(1460byte)	制限なし (1460 byte)
Limited(1280byte)	制限あり (1280 byte)
Limited(1024byte)	制限あり (1024 byte)

工場出荷時の設定: Unlimited(1460byte)

通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。使用する通信回線の最大セグメントサイズ(MSS)が制限されている場合は、[Limited(1024byte)]/[Limited(1280byte)]を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ(MSS)については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Bandwidth control (bit rate)

データの配信量を選択します。

設定値:

Unlimited / 64kbps / 128kbps / 256kbps / 384kbps / 512kbps / 768kbps / 1024kbps / 2048kbps / 4096kbps / 8192kbps

工場出荷時の設定: Unlimited

(NOTE)

- [64kbps]を選択した場合は、[Audio]を[Off]に設定してください。(→56ページ、75ページ)
- [Bandwidth control (bit rate)]を低く設定した場合、使用環境によっては、スナップショットボタンが動作しない場合があります。その場合は、ライブ画面[Live]の[Compression]ボタンで[JPEG]を選択し、最も小さい解像度を配信する状態でスナップショットを実行してください。

Easy IP Setup accommodate period

IP簡単設定ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20min / Unlimitedのどちらかに設定します。

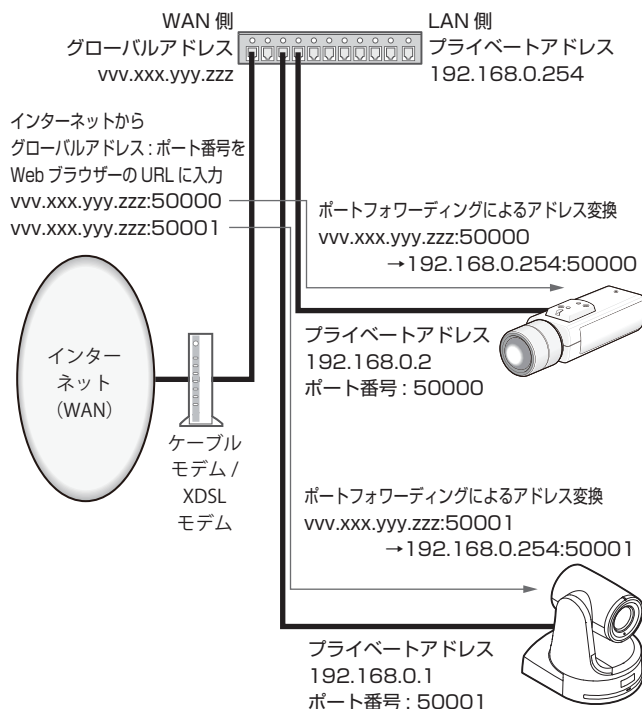
設定値:

20min	IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を、本機起動後20分間のみに有効にします。
Unlimited	IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を常時有効にします。

工場出荷時の設定: Unlimited

(NOTE)

- IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換(NAT)」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。



Recommended network setting for internet

カメラをインターネットに公開するために、推奨する設定を行います。
 [Set] ボタンをクリックすると、設定項目の設定が変更されることが、ダイアログボックスに表示されます。確認したあとに、[OK] ボタンをクリックしてください。

● カメラ画面 [Image] の [JPEG/H.264] タブ

JPEG(1)

Image capture size : 640 × 360

JPEG(2)

Image capture size : 320 × 180

JPEG(3)

Image capture size : 160 × 90

H.264(1) ・ H.264(2) ・ H.264(3) ・ H.264(4) [Windows](#)

Internet mode (over HTTP) : On

Transmission priority : Best effort

H.264(1) [Windows](#)

Image capture size : 1280 × 720

Max bit rate (per client) : Max1024 kbps、Min1024 kbps

H.264(2) [Windows](#)

Image capture size : 640 × 360

Max bit rate (per client) : Max1024 kbps、Min128 kbps

H.264(3) [Windows](#)

Image capture size : 320 × 180

Max bit rate (per client) : Max1024 kbps、Min128 kbps

H.264(4) [Windows](#)

Image capture size : 160 × 90

Max bit rate (per client) : Max1024 kbps、Min128 kbps

● ネットワーク設定画面 (Network) の [Network] タブ

IPv6/v4 共通

Max RTP packet size : Limited(1280 byte)

HTTP max segment size(MSS) : Limited(1280 byte)

■ ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]

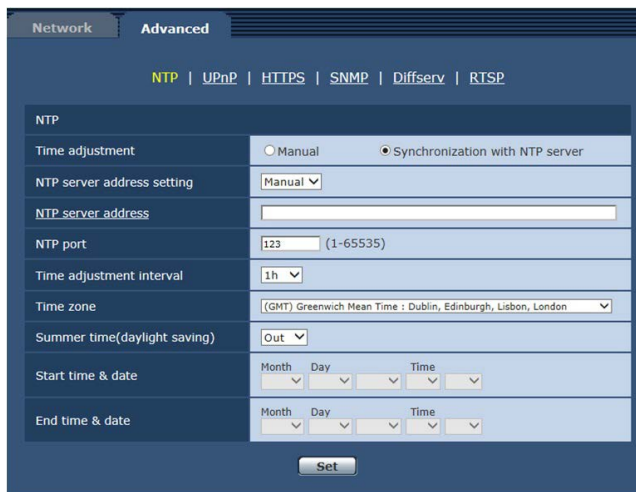
ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] タブをクリックします。

ここでは、NTP、UPnP、HTTPS、SNMP、Diffserv機能について設定します。

各項目へのリンクをクリックすると、それぞれの設定ページに移動します。

● NTP

ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。



Time adjustment

時刻の調整方法を設定します。調整された時刻は、本機の標準時間として使用されます。

設定値:

Manual	基本画面 [Basic] の [Date/time] で設定した時刻が、本機の標準時間として使用されます。
Synchronization with NTP server	NTPサーバーとの同期により自動的に調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。

工場出荷時の設定: Synchronization with NTP server

NTP server address setting

NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。

設定値:

Auto	DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。
Manual	NTPサーバーアドレスを [NTP server address] に入力して設定します。

工場出荷時の設定: Manual

<NOTE>

- NTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] タブで [Network Settings] (→88ページ) を [DHCP]、[Auto(AutoIP)]、[Auto(Advanced)] のいずれかに設定する必要があります。

NTP server address

[NTP server address setting] で [Manual] を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数	1～128文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号: . _ -

工場出荷時の設定: 空欄

<NOTE>

- [NTP server address] のホスト名を入力するには、ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] タブで [DNS] の設定を行う必要があります。(→88ページ)

NTP port

NTPサーバーのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号: 1~65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
161、162、443、554、995、10669、10670

工場出荷時の設定: 123

Time adjustment interval

NTPサーバーから時刻を取得する間隔(1~24時間で1時間単位)を選択します。

設定範囲: 1 h ~ 24 h

工場出荷時の設定: 1 h

Time zone

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

工場出荷時の設定:

(GMT)Greenwich Mean Time: Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

Summer time(daylight saving)

サマータイムを使用するかどうかを設定します。

サマータイムを使用する地域で設定します。

設定値:

In	時刻をサマータイムにします。
Out	サマータイムを解除します。
Auto	開始日時、終了日時設定(月、週、曜日、時刻)に従って、サマータイム時刻に切り替えます。

工場出荷時の設定: Out

Start time & date

End time & date

[Summer time(daylight saving)]の設定で[Auto]を選択したとき、サマータイムの開始日時、終了日時を月、週、曜日、時刻で設定します。

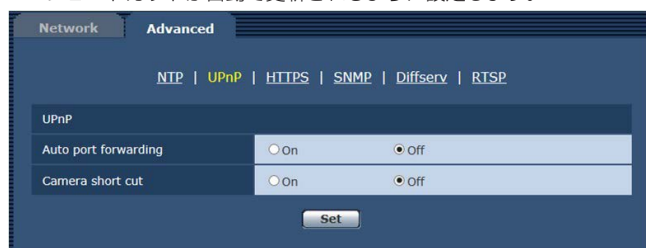
● UPnP

本機は、UPnP(Universal Plug and Play)に対応しています。UPnP機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

- ルーターのポートフォワーディング機能を設定します。(ただし、UPnP対応のルーターが必要です)

この設定はインターネットや携帯端末からカメラにアクセスする場合に便利です。

- カメラへのショートカットをパーソナルコンピューターの「ネットワーク」フォルダーに作り、カメラのIPアドレスが変わってもそのショートカットが自動で更新されるように設定します。



Auto port forwarding

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。

自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。

設定値:

On	ルーターのポートフォワーディング機能を使用します。
Off	ルーターのポートフォワーディング機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、パーソナルコンピューターやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンス画面[Maintenance]の[Status]タブをクリックし、[UPnP]のステータスが[Enable]になっていることを確認します。(→101ページ)
[Enable]が表示されていない場合は、「故障と思ったら」の「Webブラウザからアクセスできない」(→112ページ)をお読みください。

Camera short cut

カメラへのショートカットをパーソナルコンピューターの「ネットワーク」フォルダーに作るかどうかをOn/Offで設定します。

カメラのショートカットを作る場合は、[On]を選択してください。

カメラへのショートカット機能を使用するには、あらかじめパーソナルコンピューターでUPnP機能を有効に設定してください。

設定値:

On	カメラへのショートカットをパーソナルコンピューターの「ネットワーク」フォルダーに作ります。
Off	カメラへのショートカットをパーソナルコンピューターの「ネットワーク」フォルダーに作りません。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- Windowsの「ネットワーク」フォルダーにカメラへのショートカットを表示させるには、Windowsコンポーネントを追加する必要があります。以下を参照して、UPnPを有効にしてください。

Windows 7の場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[共有の詳細設定の変更]の「ネットワーク探索」の「ネットワーク探索を有効にする」を選択する→[変更の保存]をクリックする→完了

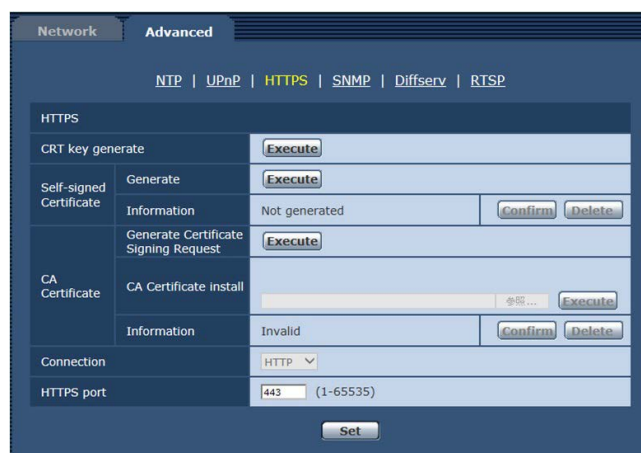
Windows 8の場合

[スタート]→[すべてのアプリ]を選択する→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[共有の詳細設定の変更]の「ネットワーク探索」の「ネットワーク探索を有効にする」を選択する→[変更の保存]をクリックする→完了

● HTTPS

HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

HTTPSの設定方法については、94ページを参照してください。



CRT key generate

HTTPSで使用するCRT鍵(SSL暗号化キー)を生成します。

CRT鍵の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される「CRT鍵生成ダイアログ」で行います。

詳細は「CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成」(→95ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Generate

HTTPSで使用するセキュリティ証明書を本機自身で生成します。(自己証明書)

自己証明書(セキュリティ証明書)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「自己証明書生成」ダイアログで行います。詳細は「自己証明書(セキュリティ証明書)の生成」(→95ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Information

自己証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。
[Confirm]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「自己証明書確認ダイアログ」に表示されます。
[Delete]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

CA Certificate - Generate Certificate Signing Request

HTTPSで使用するセキュリティ証明書として、認証機関(CA: Certificate Authority)によって発行されたセキュリティ証明書を使用する場合には、認証機関に申請するための署名リクエスト(CSR: Certificate Signing Request)を生成します。
署名リクエスト(CSR)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「署名リクエスト(CSR)生成ダイアログ」で行います。詳細は「署名リクエスト(CSR)の生成」(→96ページ)を参照してください。

CA Certificate - CA Certificate install

証明機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールおよびインストールされたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報表示を行います。
[Browse]ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開く」ダイアログで、認証機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のファイルを選択し、[Execute]ボタンをクリックするとサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールが実行されます。サーバー証明書(セキュリティ証明書)がインストールされている場合は、インストールしたサーバー証明書のファイル名を表示します。詳細は「サーバー証明書のインストール」(→97ページ)を参照してください。

CA Certificate - Information

サーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。
[Confirm]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「サーバー証明書確認」ダイアログに表示されます。サーバー証明書(セキュリティ証明書)をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト(CSR)の内容が表示されます。
[Delete]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

(NOTE)

- 有効なサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書(セキュリティ証明書)のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書(セキュリティ証明書)が必要になります。

Connection

本機への接続方法を設定します。

設定値:

HTTP	HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS	HTTPS接続のみ可能になります。

工場出荷時の設定: HTTP

詳細は「接続方法の設定」(→97ページ)を参照してください。

(NOTE)

- HTTPS接続の場合、AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200をネットワークで接続できません。

HTTPS port

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

設定可能ポート番号: 1~65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000~61000

工場出荷時の設定: 443

(NOTE)

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合:
HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書(セキュリティ証明書)をパーソナルコンピューターにインストールしてください。(→98ページ)
- サーバー証明書を使用する場合:
あらかじめご使用のWebブラウザに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。
ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が入り切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

● SNMP

SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

SNMP version

有効にするSNMPバージョンを設定します。

設定値:

SNMPv1/v2	SNMPv1またはSNMPv2で動作します。いずれのバージョンで動作するかはSNMPマネージャーの動作モードで決まります。
SNMPv3	SNMPv3で動作します。SNMPマネージャーの動作モードがSNMPv3以外の場合は動作しません。
SNMPv1/v2/v3	SNMPv1、SNMPv2、SNMPv3のいずれかで動作します。いずれのバージョンで動作するかはSNMPマネージャーの動作モードで決まります。

工場出荷時の設定: SNMPv1/v2

(NOTE)

- SNMPv1またはSNMPv2を使用する場合は、必ず[Community]を入力してください。[Community]が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。
- SNMPv3を使用する場合は、必ず[User name]、[Authentication]、[Encryption method]、[Password]を設定してください。いずれかの項目が設定されていない場合は、SNMP機能を使用できません。
- SNMPv3動作時のみ通信が暗号化されます。

SNMPv1/v2 - Community

監視の対象となるコミュニティ名を入力します。

入力可能文字数	0~32文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

SNMPv3 - User name

ユーザー認証用のユーザー名を入力します。

ここで設定したユーザー名と同じものを、SNMPv3 マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	0~32文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

SNMPv3 - Authentication

ユーザー認証で使用するアルゴリズムを設定します。

設定値:

MD5	ユーザー認証のアルゴリズムにMD5を使用します。
SHA1	ユーザー認証のアルゴリズムにSHA1を使用します。

工場出荷時の設定: MD5

SNMPv3 - Encryption method

通信で使用する暗号方式を設定します。

設定値:

DES	SNMPv3の暗号通信方式にDESを使用します。
AES	SNMPv3の暗号通信方式にAESを使用します。

工場出荷時の設定: DES

SNMPv3 - Password

ユーザー認証で使用するパスワードを設定します。

ここで設定したパスワードと同じものを、SNMPv3 マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	[Authentication]を[MD5]に設定した場合: 8~16文字 [Authentication]を[SHA1]に設定した場合: 8~20文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

System name

SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。

入力可能文字数	0~32文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

Location

本機を設置した場所を入力します。

入力可能文字数	0~32文字
---------	--------

工場出荷時の設定: 空欄

Contact

管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。

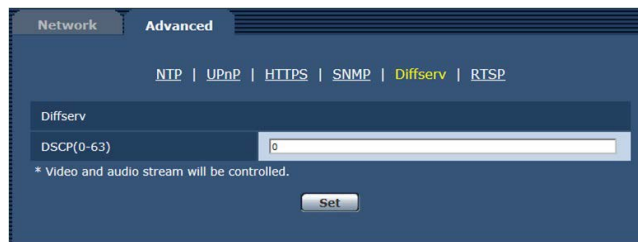
入力可能文字数	0~255文字
入力不可文字	全角

工場出荷時の設定: 空欄

● Diffserv

Diffserv機能に関する設定を行います。Diffserv機能では、ルーターから転送される画像/音声データの優先度を設定します。本機に設定する優先度は、ルーターに設定されているDSCPの値と合わせる必要があります。

Diffserv機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。



DSCP(0-63)

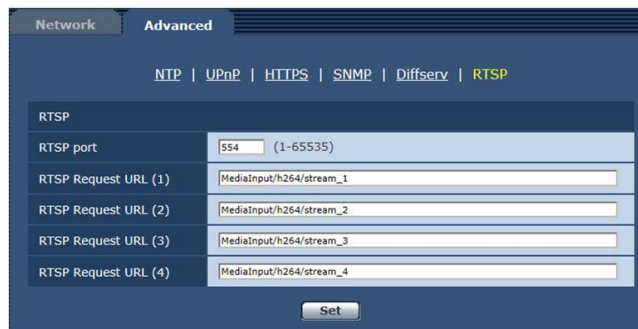
パケット優先順位を入力します。

入力可能文字数	0~63文字
---------	--------

工場出荷時の設定: 0

● RTSP

RTSP機能に関する設定を行います。RTSP機能ではIP映像配信で使用するRTSPの通信ポートおよびRTSP Request URLを設定します。



RTSP port

RTSP受信ポート番号を設定します。

設定可能ポート番号: 1~65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670、59000~61000

工場出荷時の設定: 554

RTSP Request URL (1)~(4)

IP映像配信要求を本機に対して行う場合に、RTSPで指定するURLの設定を行います。

RTSP Request URL (1)	H.264 (1) 画像配信用RTSP URL
RTSP Request URL (2)	H.264 (2) 画像配信用RTSP URL
RTSP Request URL (3)	H.264 (3) 画像配信用RTSP URL
RTSP Request URL (4)	H.264 (4) 画像配信用RTSP URL

工場出荷時の設定:

RTSP Request URL (1)	MediaInput/h264/stream_1
RTSP Request URL (2)	MediaInput/h264/stream_2
RTSP Request URL (3)	MediaInput/h264/stream_3
RTSP Request URL (4)	MediaInput/h264/stream_4

- 入力可能な文字数は255文字です。
- 使用可能な文字は次の通りです。

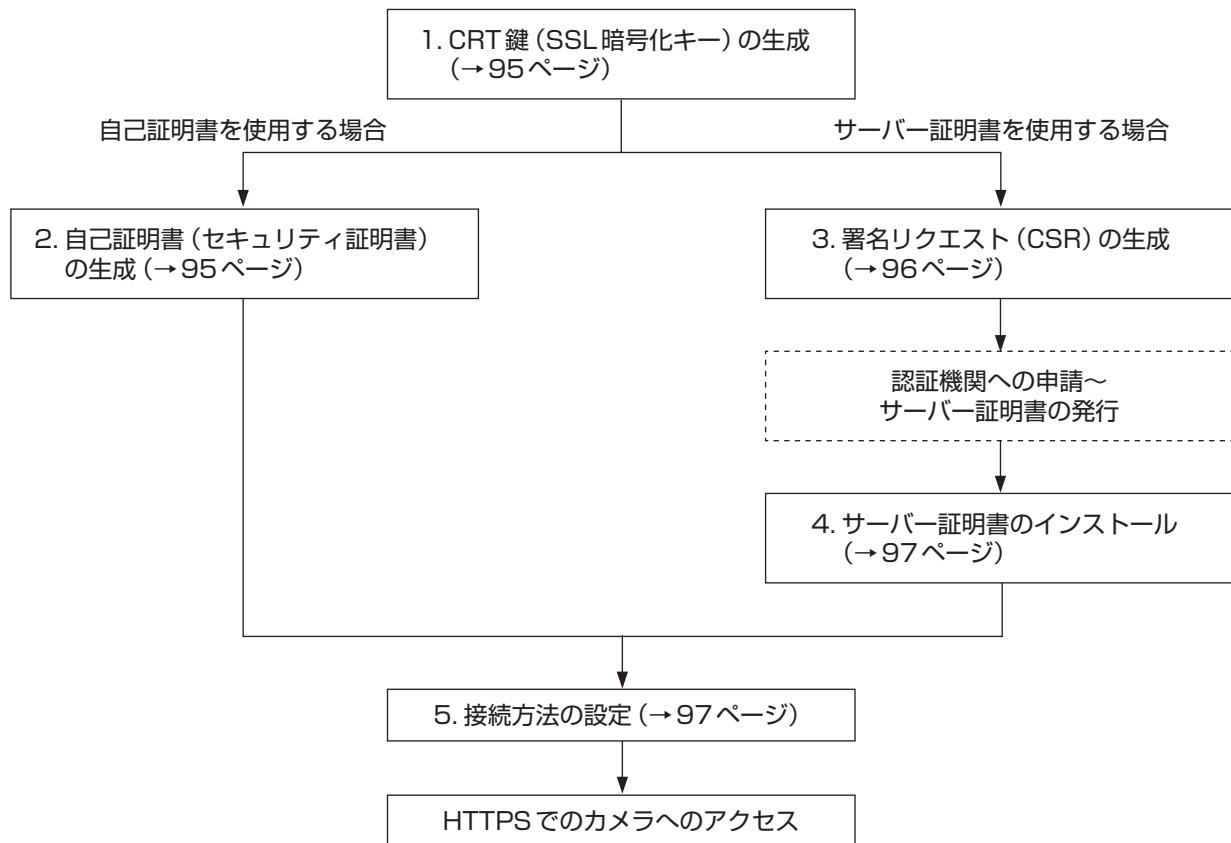
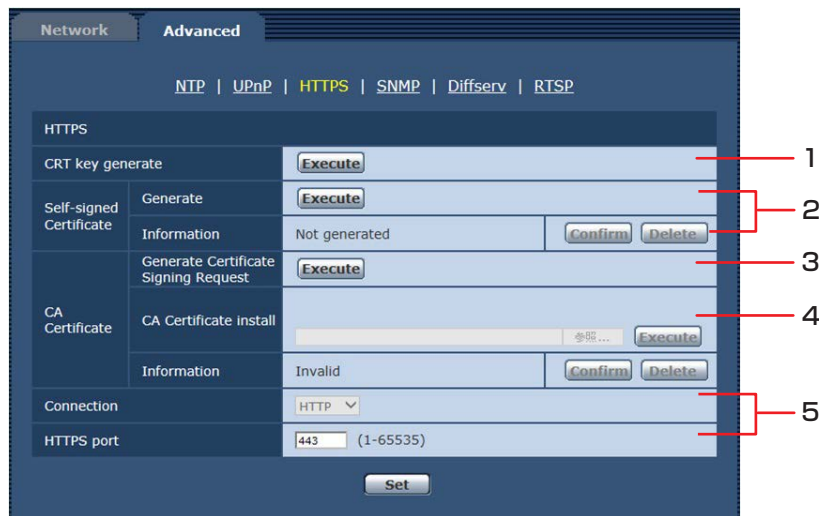
半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNPNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	/ - _

(NOTE)

- RTSP Request URL (1)~(4)に同じURLを指定することはできません。

■ HTTPSの設定方法 [HTTPS]

カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるためのHTTPSを設定します。
HTTPSの設定は次の手順で行います。



〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、認証機関への申請～サーバー証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。
- 自己証明書あるいはサーバー証明書はいずれか一方を使用します。本機では、自己証明書の生成とサーバー証明書のインストールがともに行われた場合は、サーバー証明書を優先して使用します。

■ CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成

[CRT key generate]

〈NOTE〉

- 自己証明書、サーバー証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、1024 bitの場合で1分程度、2048 bitの場合は2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、Webブラウザを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

1. [CRT key generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[CRT key generate]ダイアログが表示されます。

2. [CRT key generate] - [RSA key size]で、生成するCRT鍵の長さを[1024bit] / [2048bit]から選択する

〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、RSA鍵長は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

3. [Execute]ボタンをクリックする

CRT鍵の生成が始まります。

CRT鍵の生成が終了すると、[Current CRT key]に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

〈NOTE〉

- 生成したCRT鍵を変更(更新)したい場合は、手順1～3の操作を行います。CRT鍵と自己証明書、サーバー証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、あらかじめ自己証明書の生成あるいはサーバー証明書の申請を行う必要があります。
- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。[CRT key generate]ダイアログの[Current CRT key]で[Apply]ボタンをクリックすると、[Previous CRT key]ダイアログが表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。

[Previous CRT key]で、[Apply]ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。

■ 自己証明書(セキュリティ証明書)の生成

[Self-signed Certificate - Generate]

〈NOTE〉

- CRT鍵が生成されていない場合、自己証明書の生成を行うことはできません。

1. [Self-signed Certificate] - [Generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[Self-signed Certificate - Generate]が表示されます。

2. 生成する証明書の情報を入力します。

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。(省略可能)	2文字：国名コード(日本の場合：JP)
State	都道府県名を入力します。(省略可能)	128文字
Locality	市区町村名を入力します。(省略可能)	128文字
Organization	組織名を入力します。(省略可能)	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。(省略可能)	64文字
CRT key	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

〈NOTE〉

- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit]で入力可能な文字は、0～9(半角)、A～Z(半角)、a～z(半角)、半角記号 - . _ + / () です。
- カメラをインターネットに公開している場合、[Common Name]にはインターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスすると、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスすることにセキュリティ警告画面が表示されます。
- [Common Name]にIPv6アドレスを入力する場合は、アドレスを [] で囲ってください。
例：[2001:db8::10]

3. 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックする

自己証明書が生成されます。

〈NOTE〉

- 生成した自己証明書の情報は、[Self-signed Certificate] - [Information]に表示されます。自己証明書(セキュリティ証明書)の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Not generated	未生成自己証明書が生成されていない場合
Invalid (Reason: CA Certificate installed)	自己証明書が生成済みで、サーバー証明書もインストール済みの場合 ・この場合、サーバー証明書が有効になります。
自己証明書の[Common Name]	自己証明書が生成済みで、有効な場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、[Self-signed Certificate - Confirm]ダイアログに表示されます。



- [Delete] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)を削除します。
- [Connection]で[HTTPS]が選択されている場合は、自己証明書(セキュリティ証明書)の削除を行うことはできません。

■ 署名リクエスト(CSR)の生成

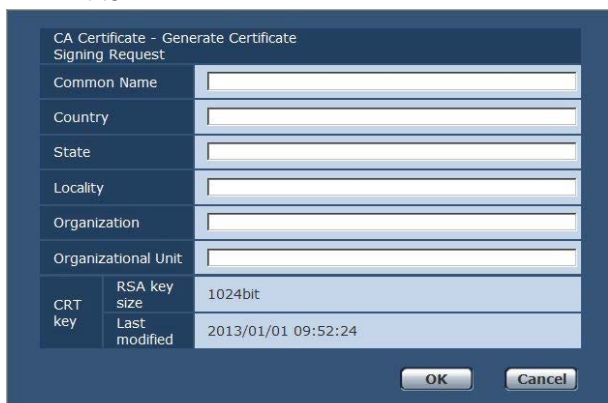
[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]

〈NOTE〉

- CRT 鍵が生成されていない場合、署名リクエスト(CSR)の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト(CSR)を生成する場合、Webブラウザのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの[ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]タブで、以下の設定を行ってください。
- カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
- [レベルのカスタマイズ]で[ダウンロード]-[ファイルのダウンロード]を[有効にする]に設定する。
- [レベルのカスタマイズ]で[ダウンロード]-[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]を[有効にする]に設定する。

1. [CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]の[Execute] ボタンをクリックする

[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]ダイアログが表示されます。



2. 生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。	2文字：国名コード
State	都道府県名を入力します。	128文字
Locality	市区町村名を入力します。	128文字
Organization	組織名を入力します。	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。	64文字
CRT key	現在のCRT 鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit]で入力可能な文字は、0~9(半角)、A~Z(半角)、a~z(半角)、半角記号 - . _ + / () です。

3. 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。

4. [名前を付けて保存]ダイアログで、署名リクエスト(CSR)にファイル名を付け、パーソナルコンピュータに保存する

保存した署名リクエスト(CSR)を使用して認証機関に申請します。

〈NOTE〉

- 生成した署名リクエスト(CSR)とCRT 鍵の組に対して、サーバー証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT 鍵を生成/更新すると、発行されるサーバー証明書が使用できなくなります。
- 本機で生成する署名リクエスト(CSR)は、PEM形式です。

■ サーバー証明書のインストール

[CA Certificate - CA Certificate install]

<NOTE>

- 署名リクエスト (CSR) が生成されていない場合、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) のインストールを行うことはできません。
- サーバー証明書のインストールには認証機関から発行されたサーバー証明書が必要です。

1.[CA Certificate - CA Certificate install] の[Browse] ボタンをクリックする

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

2.サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックします。

サーバー証明書がインストールされます。

<NOTE>

- インストールしたサーバー証明書に登録されているホスト名が、[CA Certificate] - [Information] に表示されます。また、サーバー証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Invalid	サーバー証明書がインストールされていない場合
サーバー証明書の [Common Name]	サーバー証明書がインストール済みで、有効な場合
Expired	サーバー証明書の有効期限が切れた場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書 (セキュリティ証明書) の内容が、「CA Certificate - Confirm」ダイアログに表示されます。([Organizational Unit] の欄のみアスタリスクが表示されます。)



- [Delete] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書 (セキュリティ証明書) を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) の削除を行うことはできません。
- サーバー証明書を更新する場合は、手順 1～手順 2 の操作を行います。
- 有効なサーバー証明書 (セキュリティ証明書) を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書 (セキュリティ証明書) のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) が必要になります。
- サーバー証明書の有効期限が切れると、HTTPS 機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法が HTTP に変更されます。サーバー証明書の有効期限が切れる前に、サーバー証明書の更新を行ってください。
- サーバー証明書の有効期限は、認証機関から発行されたサーバー証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

■ 接続方法の設定 [Connection]

1.[Connection] で、カメラへのアクセス方法を設定する

HTTP: HTTP 接続のみ可能になります。

HTTPS: HTTPS 接続のみ可能になります。

<NOTE>

- HTTPS 接続の場合、AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200 をネットワークで接続できません。

2.[HTTPS port] に、HTTPS で使用するポート番号を設定する

設定可能なポート番号: 1～65535

以下のポート番号は、本機で使用していませんので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000～61000

工場出荷時の設定: 443

3.[Set] ボタンをクリックします。

カメラが再起動し、HTTPS でカメラへのアクセスが有効になります。

<NOTE>

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。

・自己証明書を使用する場合

HTTPS でカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書 (セキュリティ証明書) をパーソナルコンピューターにインストールしてください。(→98ページ)

・サーバー証明書を使用する場合

あらかじめご使用の Web ブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。

- HTTPS でカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

■ HTTPS でカメラにアクセスする

1.パーソナルコンピューターでWeb ブラウザーを起動します。

2.カメラのIPアドレスを、Web ブラウザーのアドレスボックスに入力します。

入力例: https://192.168.0.10/

<NOTE>

- HTTPS ポートの番号が「443」から変更されている場合は、「https://カメラのIPアドレス:ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
例: https://192.168.0.11:61443
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Web ブラウザー (メニューバーの [ツール] - [インターネットオプション]) からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3.[Enter] キーを押します。

ライブ画面が表示されます。

セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールします。(→98ページ)

[User auth.] を [On] に設定した場合、ライブ画面が表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

<NOTE>

- HTTPS を使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔 (フレームレート) も遅くなる場合があります。

● セキュリティ証明書のインストール

HTTPSを使用してカメラにアクセスするときに、アクセスするカメラのセキュリティ証明書がパーソナルコンピュータにインストールされていない場合に、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順に従ってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスすることにセキュリティの警告画面が表示されません。

(NOTE)

- [Common Name]に設定している内容でセキュリティ証明書がパーソナルコンピュータにインストールされます。そのため、「ホスト名」に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス/ホスト名に合わせる必要があります。異なる場合は、アクセスすることにセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス/ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、[Common Name]には、インターネットからアクセスするアドレス/ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスすることにセキュリティ警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書が正しくインストールされると、カメラにアクセスしたWebブラウザのアドレスボックスに鍵のアイコンが表示されます。(Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0の場合)
- Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合、一部画面が異なります。

1. HTTPSでカメラにアクセスする

2. セキュリティ警告画面が表示されたら、[このサイトの閲覧を続ける(推奨されません)。]をクリックする



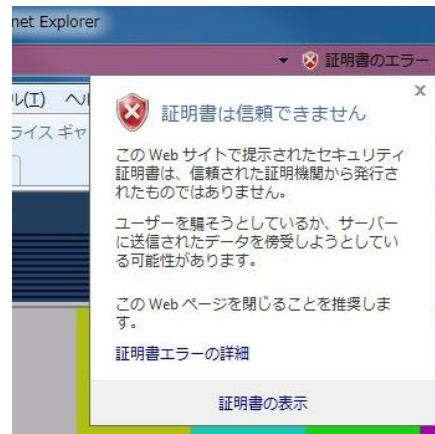
ライブ画面が表示されます。

なお、認証画面が表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

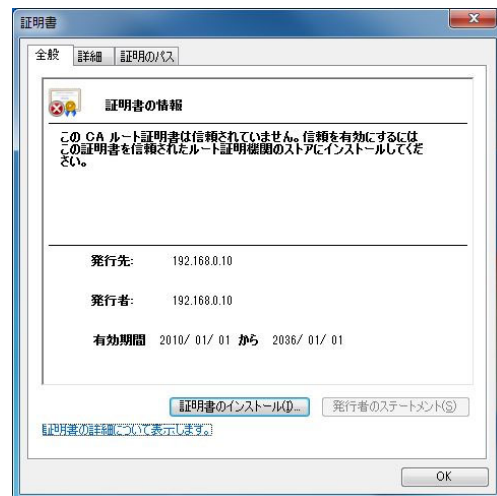
(NOTE)

- カメラ以外の機器/サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3. URL上の [証明書のエラー] をクリックし、[証明書の表示] をクリックする



4. [証明書のインストール(I)...] をクリックする



(NOTE)

- [証明書のインストール(I)...]が表示されない場合は、一度Internet Explorerを閉じて、[管理者として実行(A)...]を選択し起動してください。
[スタート] - [プログラム] - [Internet Explorer] を右クリックして、[管理者として実行(A)...]をクリックします。
- Windows 8、Windows 8.1の場合、C: ¥Program Files ¥Internet Explorer以下にある [iexplore] を右クリックして、[管理者として実行(A)...]をクリックします。

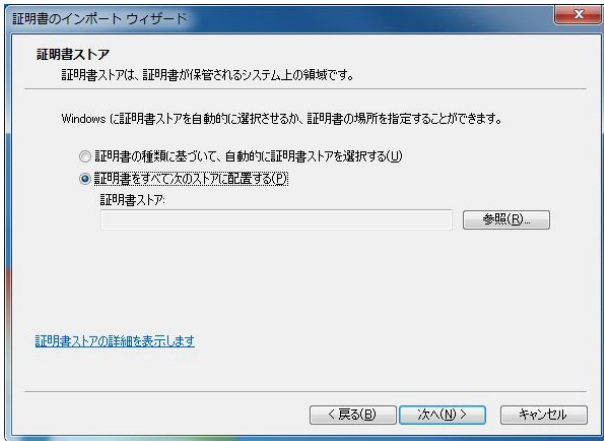
5. 証明書のインポートウィザードに表示される [次へ] をクリックする



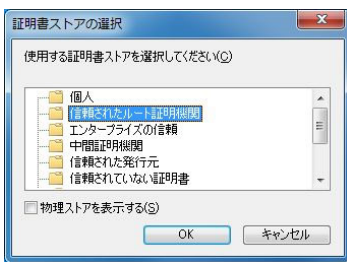
(NOTE)

- Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合、[保存場所]を選択して、[次へ]をクリックしてください。

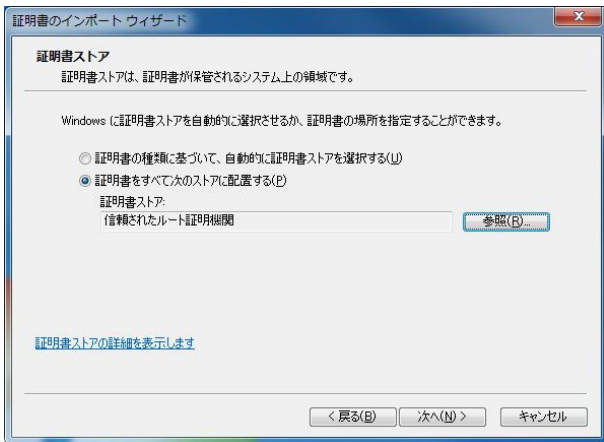
6. [証明書]をすべて次のストアに配置する (P)]を選択し、[参照 (R)...]をクリックする



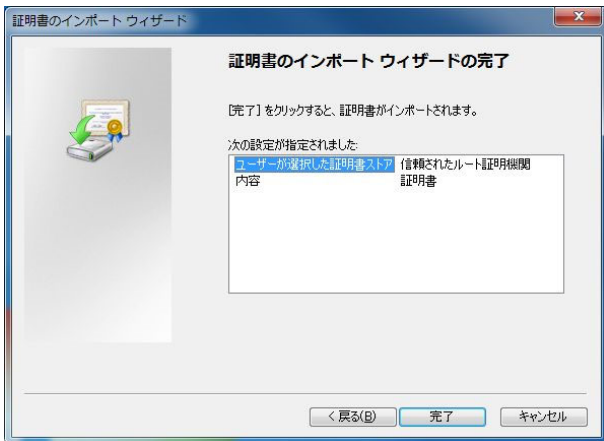
7. [信頼されたルートの証明機関]を選択し、[OK]をクリックする



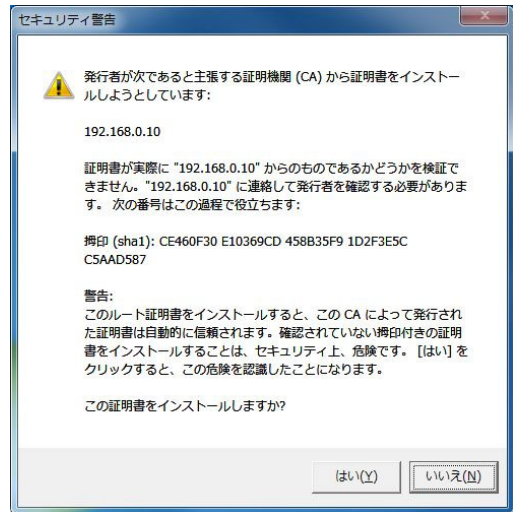
8. [次へ]をクリックする



9. [完了]をクリックします。



10. [はい]をクリックします。



インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

11. [OK]をクリックします。



証明書をインポートしたあと Web ブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

メンテナンス画面 [Maintenance]

システムログの確認やソフトウェアのバージョン確認、本機の初期化などを行います。

[System log]、[Product info.]、[Status]、[Default reset]、[Back up]の5つのタブで構成されています

■ システムログ画面 [System log]

本機の内部メモリーに最大30000件までシステムログを保存できます。

保存できるシステムログの最大数を越えた場合は、古いログから上書きされます。

本機の電源を切っても、ログは保存されます。

〈NOTE〉

- システムログ画面で確認できる件数は最大100件です。それ以上はCGIコマンドでログを取得して確認できます。

No	Time & date	Description
1	Feb/01/2017 00:08:37	jpeg Stop admin 192.168.0.30
2	Feb/01/2017 00:08:36	jpeg ch1 Play admin 192.168.0.30
3	Feb/01/2017 00:08:35	h264 ch1 Stop admin 192.168.0.30
4	Feb/01/2017 00:08:33	h264 ch1 Play admin 192.168.0.30
5	Feb/01/2017 00:08:29	<Login> admin

No

システムログの通し番号が表示されます。

Time & date

ログの発生日時が表示されます。

ログの発生日時は、24 時間形式で表示されます。

Description

システムログの内容が表示されます。

各システムログの詳しい内容については、107ページを参照してください。

■ 製品情報確認画面 [Product info.]

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。

[Model no.]、[MAC address]、[Serial no.]、[Firmware version]など本機の各情報が表示されます。

Model no.	IAA00001		
MAC address	00-80-45-0D-00-03		
Serial no.	IAA00001		
Firmware version	CPU Software	Interface	V02.20
		Camera Main	V02.20
		Servo	V01.01
	Network	V02.20	
EEPROM	FPGA	Interface	V01.00
		Lens	V01.02
		AVIO	V01.04
Com	V01.02		
Activation	NDI HX This product is compatible with NDI HX technology of NewTek.		
Viewer software installation counter	5		
Firmware file <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="Execute"/>			
Status	Select the firmware file (.sit / .com / .spt / .swm / .eep / .fbs / .lav / .foo).		

Model no.

本機の品番が表示されます。

MAC address

本機のMAC アドレスが表示されます。

Serial no.

本機の製造番号が表示されます。

Firmware version

CPU Software - Interface

インターフェース部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software - Camera Main

カメラ部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software - Servo

サーボ部のソフトバージョンを表示します。

CPU Software - Network

ネットワーク部のソフトバージョンを表示します。

EEPROM - Interface

インターフェース部の設定データのバージョンを表示します。

FPGA - Lens

レンズ部のFPGA バージョンを表示します。

FPGA - AVIO

AV制御部のFPGA バージョンを表示します。

FPGA - Com

通信部のFPGA バージョンを表示します。

Activation

アクティベーションされている機能についての情報が表示されます。

Viewer software installation counter

本機から自動インストールを実施した表示用プラグインソフトウェアの数が表示されます。

Firmware file

ファームウェアのアップデートを行います。

アップデートの方法については、「ファームウェアのアップデート」(下記)をご参照ください。

Status

本機の現在の状態を表示します。

●ファームウェアのアップデート

以下の手順で、ファームウェアのアップデートを行ってください。

1. お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをパーソナルコンピューターのハードディスクにダウンロードする

〈NOTE〉

- 保存ディレクトリーには、スペース・全角文字は使用できません。
- 保存ディレクトリー名とダウンロードしたソフトウェア名を合わせて、250文字以内にしてください。

2. [参照] ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する

3. [Execute] ボタンをクリックする

アップデート実行の確認画面が表示されます。

アップデートを行った後は、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。

〈NOTE〉

- ファームウェアのアップデートは、必ずアップデート対象の機器と同じネットワーク (LAN) 内にあるパーソナルコンピューターから実施してください。

〈NOTE〉

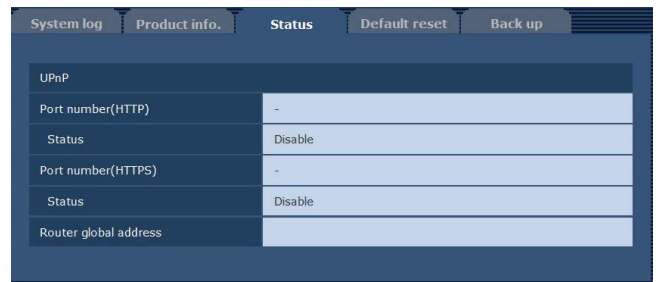
- [Execute] ボタンを押した後、アップデート処理中を示すプログレスバーが表示されるまで、Camera Main ソフトの場合で約1分、NetworkソフトおよびAVIO FPGAの場合で約3分の時間がかかります。その他のファームウェアの場合は、1分以内でプログレスバーが表示されます。
- アップデートは、本機と同じサブネット内にあるパーソナルコンピュータで行ってください。
- アップデート用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認くださいのうえ、その指示に従ってください。
- アップデート時に使用するソフトウェアは、当社指定の下記ファイルを使用してください。

CPU Software Interface	.sifファイル
CPU Software Camera Main	.scmファイル
CPU Software Servo	.sptファイル
CPU Software Network	.snwファイル
EEPROM Interface	.eepファイル
FPGA Lens	.flsファイル
FPGA AVIO	.favファイル

- アップデート中は、本機の電源を切らないでください。(プログレスバー表示が消えるまで)
- アップデート中は、アップデートが終了するまで一切の操作を行わないでください。

■ ステータス確認画面 [Status]

本機のステータスを確認することができます。



● UPnP

Port number (HTTP)

UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

Status

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

Port number (HTTPS)

UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

Status

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

Router global address

ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

■ 初期化画面 [Default reset]

本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。



Reset to the default (Except the network settings)

[Execute]ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。

ログイン用のユーザー名およびパスワードも初期値 (admin/12345)に戻ります。

初期化動作を行うと、約3分間操作できません。

〈NOTE〉

- 次の設定項目は初期化されません。
 - [IPv4 network] 以下のすべての項目
 - [IPv6 network] 以下のすべての項目
 - [HTTP port]
 - [HTTPS - Connection]
 - [HTTPS - HTTPS port]
 - HTTPS : CRT 鍵、サーバー証明書
 - [UPnP] 以下のすべての項目
 - [Line speed]
 - [Bandwidth control(bit rate)]
- [AWB]および[ABB]の調整値は、初期化されません。

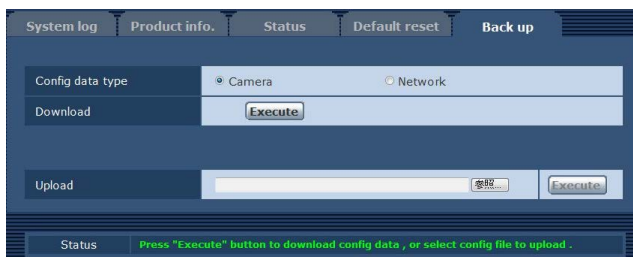
Reboot

[Execute]ボタンをクリックすると、本機を再起動します。

再起動後は、本機の電源をONしたときと同様、約2分間操作できません。

■ バックアップ画面 [Back up]

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存したり、パーソナルコンピュータに保存してある設定を本機に適用することができます。



Config data type

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存する際の設定データの種別を指定します。

設定値:

Camera	カメラの設定内容
Network	ネットワークの設定内容

Download

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存します。

[Execute]ボタンで保存先ダイアログ画面を表示したら、保存先のフォルダーを指定します。

[Config data type]で[Camera]を選択した場合に保存される設定は、下記の通りです。

- Scene Scene1 の設定内容
- Scene Scene2 の設定内容
- Scene Scene3 の設定内容
- Scene Scene4 の設定内容
- System の設定内容
- Preset の設定内容

〈NOTE〉

- [Execute]ボタンをクリックしてから保存先ダイアログ画面が表示されるまで、カメラの設定ファイルの場合で約10秒、ネットワークの設定ファイルの場合で約20秒かかります。

Upload

ダウンロード機能でパーソナルコンピュータに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。

[参照]ボタンをクリックしてダイアログ画面を表示し、保存したファイルを指定します。

[Execute]ボタンをクリックするとメッセージダイアログ画面が表示され、[OK]ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。アップロード完了後にメッセージダイアログ画面が表示され、[OK]ボタンをクリックすると、本機は自動的に再起動します。

〈NOTE〉

- アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。
また、ダウンロードしたファイルの拡張子(.cdt /.ndt)は変更しないでください。
- ダウンロード/アップロード中は、本機の電源を切らないでください。
- ダウンロード/アップロード中は、ダウンロード/アップロードが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- カメラの設定ファイルの場合、アップロード完了ダイアログ画面が表示されるまで約2分かかります。

携帯端末による Web 画面表示

携帯端末から本機に接続し、本機の画像 (MJPEG形式のみ) を表示します。自動で最新画像に更新されます。

携帯端末からパン、チルト、ズームなどの操作を行うこともできます。対象機種は、次の通りです。(2014年8月現在)

携帯端末	仕様
iPad iPhone iPod touch	iOS 7.1
Android™ 端末	Android 4.3

〈NOTE〉

- 対応OSとWebブラウザに関する最新情報については、下記のWebサイトのサポートデスクをご覧ください。
日本語: <https://panasonic.biz/cns/sav/>
英語: <https://pro-av.panasonic.net/>
- Android端末では標準のWebブラウザを使用してください。
- Android端末の標準のWebブラウザでは、JPEG形式のみの表示になります。
- 認証ダイアログが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。
初期設定のユーザー名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー名	admin
パスワード	12345

セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。(→86ページ)

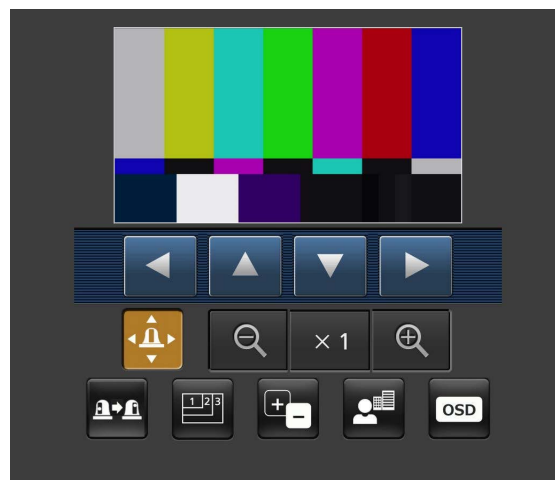
- [User auth.] (→85ページ) が [On] に設定されており、アクセスレベルが [3. Live only] に設定されているユーザーが本画面を表示した場合には、下記のボタンは表示されません。
 - パン/チルト
 - ズーム
 - プリセット
 - アイリス
 - フォーカス
 - カメラメニュー (OSD メニュー) 操作
- 携帯端末が文字コードUTF-8 に対応していない場合、正常に文字を表示することができません。
- 本機にAndroid端末を同時に複数台接続すると、動作が不安定になる場合があります。

1. 携帯端末で「http://IP アドレス/mobile/」*1 を入力し、決定ボタンを押す





本機の画像が表示されます。

*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。ただし、無線接続対応の携帯端末で同じLAN内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。

パン/チルト



このボタンを押すと、パン/チルトを操作するためのボタンが画面上に表示されます。




	カメラを左方向へパンします。
	カメラを上方向へチルトします。
	カメラを下方向へチルトします。
	カメラを右方向へパンします。


〈NOTE〉

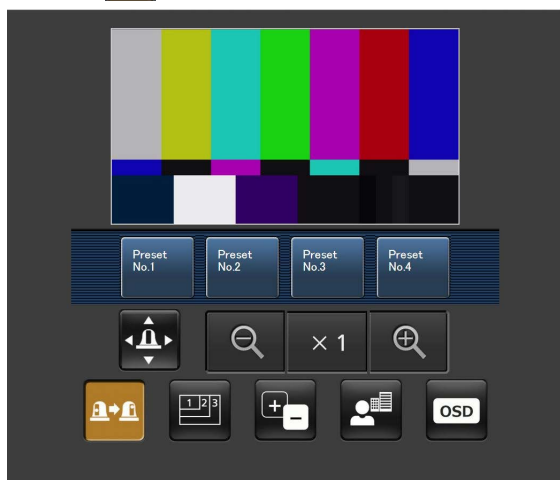
- パンボタンとチルトボタンを同時に押しても、斜め動作はできません。(先に押されたボタンが優先になります。)

ズーム





本機のズーム操作を行います。


	ズーム (倍率) を「広角」方向に調整します。
	ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。
	ズーム (倍率) を「望遠」方向に調整します。

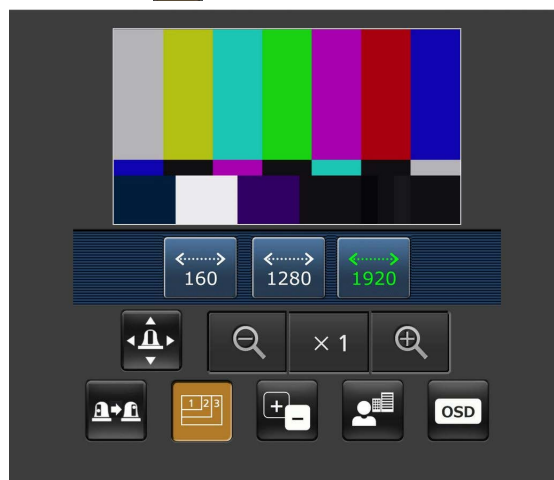
プリセット 



このボタンを押すと、プリセットポジションを選択するためのボタンが画面上に表示されます。






	
	表示されたボタンを選択すると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラのパン/チルト位置が移動します。
	再現内容は、[Preset Scope](→55ページ、81ページ、83ページ)で指定した内容です。
	

解像度切り替え 



このボタンを押すと、解像度を選択するためのボタンが画面上に表示されます。

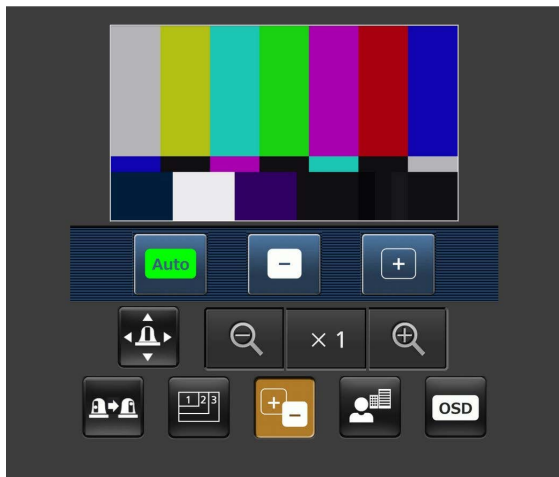
現在選択中の解像度ボタンは、文字色が緑色で表示されます。
[Video over IP]タブの[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]で設定されている解像度が表示されます。

	1920 × 1080ドットで画像を表示します。
	1280 × 720ドットで画像を表示します。
	640 × 360ドットで画像を表示します。
	320 × 180ドットで画像を表示します。
	160 × 90ドットで画像を表示します。




<NOTE>


- [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]に設定している解像度によっては、「解像度切り替え」ができないことがあります。

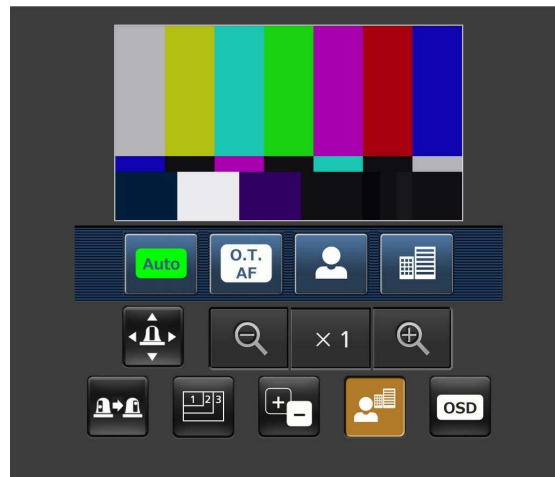
アイリス 







このボタンを押すと、アイリス操作をするためのボタンが画面上に表示されます。

	アイリスのオート/マニュアルを切り替えます。オート設定の場合、ボタンのラベル色が緑色になります。
	アイリスを「閉じる」方へ調整します。オート時は無効です。
	アイリスを「開く」方へ調整します。オート時は無効です。

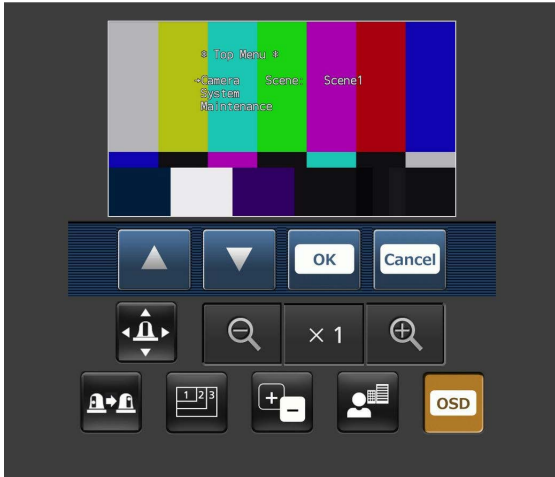
フォーカス 







このボタンを押すと、フォーカス进行操作するためのボタンが画面上に表示されます。

	フォーカスのオート/マニュアルを切り替えます。オート設定の場合、自動的にフォーカス(焦点)を調整します。また、オート設定の場合、ボタンのラベル色が緑色になります。
	フォーカス(焦点)がマニュアルのときに押すと、一時的に自動でフォーカス(焦点)を調整します。オート時は無効です。
	フォーカス(焦点)を「近」方向に調整します。オート時は無効です。
	フォーカス(焦点)を「遠」方向に調整します。オート時は無効です。

カメラメニュー(OSD メニュー)操作 



このボタンを押すと、カメラメニュー操作をするためのボタンが画面上に表示されます。
同時に、本機の画像にもカメラメニューが表示されます。

	<p>▲ ▼ OK Cancel ボタンを押して、本機のカメラメニューの操作ができます。 これらのボタンを押してカメラメニュー以外の操作に切り替わると、本機の画像へのカメラメニュー表示も終了します。カメラメニューの詳細については、59ページを参照してください。</p>
	
	
	

タリーランプ点灯状態表示

接続中のカメラのタリーランプ点灯状態を定期的にチェックし、表示が更新されます。
タリーランプが点灯中の場合、IP映像表示エリア枠が赤に変わります。
タリーランプが消灯すると、元に戻ります。

(NOTE)

- タリーランプ点灯状態の変化が携帯端末の表示に反映されるまで、2 秒程度かかる場合があります。
- [Tally] (→56ページ、84ページ)を [Disable]に設定した場合は、タリー信号が入力されていても本機のタリーランプは点灯しませんが、タリーランプ点灯状態表示は赤色の文字に変わります。

(NOTE)

- HTTP ポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://IP アドレス:ポート番号/mobile/」*1 を入力して、本機のポート番号を指定してください。
- ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] タブの [HTTPS] - [Connection] (→92ページ) で [HTTPS] を設定している場合は、下記のように入力してください。
https://IPアドレスポート番号/mobile
- 認証ダイアログが表示された場合は、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。
携帯端末によっては、画面が切り替わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 携帯端末からは、音声の受信はできません。
- 携帯端末画面を表示中に、パーソナルコンピュータから [User auth.] (→85ページ) を [On] に変更した場合には、携帯端末画面の更新ができなくなることがあります。このようなときは、携帯端末で起動中の Web ブラウザーを一旦終了させた後、携帯端末画面を再度開き直してください。
- 画像のサイズが大きい場合、携帯端末によっては画像の表示ができないことがあります。このような場合には、[JPEG] の [Image quality] (→72ページ) を低画質に近づけると、表示されることがあります。
- お使いの携帯端末および契約プランによっては、アクセスできない場合があります。
- Android 端末の場合、複数のボタンを同時に押すと、ボタンを離しても押された状態のままになることがあります。このようなときは、押された状態のままになっているボタンのみを再度押して解除してください。
例) パン (右) ボタンとパン (左) ボタンを同時に押すと、ボタンを離してもパン (右) ボタンまたはパン (左) ボタンのいずれか一方のボタンが押された状態のままとなり、パン動作が止まらない
→ 押された状態になっているボタン (パン (右) ボタンまたはパン (左) ボタン) を再度押すと、パン動作は止まります。

*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN 側のグローバルIPアドレスです。
ただし、無線接続対応の携帯端末で同じLAN 内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。

システムログ表示について

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	内容詳細
接続エラー	No response from the NTP server.	<ul style="list-style-type: none">サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	Undefined error.	<ul style="list-style-type: none">NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	NTP update succeeded.	<ul style="list-style-type: none">時刻修正が成功しました。

HTTPSに関するログ表示

分類	表示内容	内容詳細
HTTPS	Self-signed Certificate - Generated	<ul style="list-style-type: none">自己証明書の生成が完了しました。
	Self-signed Certificate - Deleted	<ul style="list-style-type: none">自己証明書を削除が完了しました。
	Certificate Signing Request - Generated	<ul style="list-style-type: none">署名リクエストの生成が完了しました。
	CA Certificate - Installed	<ul style="list-style-type: none">サーバー証明書のインストールが完了しました。
	CA Certificate - Deleted	<ul style="list-style-type: none">サーバー証明書の削除が完了しました。
	Previous CRT key - Applied	<ul style="list-style-type: none">CRT鍵として過去のCRT鍵を適用しました。
	Previous CRT key - Applied	<ul style="list-style-type: none">CRT鍵の生成が完了しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	(ユーザー名またはIPアドレス)	<ul style="list-style-type: none">ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

アクセスコマンドに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
映像配信要求	jpeg ch[番号] Play [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">jpeg配信開始要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	jpeg Stop [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">jpeg配信停止要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	mjpeg ch[番号] Play [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">mjpeg配信開始要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	h264 ch[番号] Play [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">h264配信開始要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	h264 ch[番号] Stop [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">h264配信停止要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
音声配信要求	audio Play [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">音声配信開始要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
	audio Stop [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">音声配信停止要求を行ったユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。
その他CGIコマンド	[CGIコマンド] [ユーザー名] [IPアドレス]	<ul style="list-style-type: none">特定のCGIコマンドを実行したユーザーの本機ログイン時のユーザー名とIPアドレスを表示します。ただし、すべてのCGIコマンドが実行毎に表示されるわけではありません。

リミッターについて

本機には、パン・チルトの可動範囲を制限する設定(リミッター)があります。

設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり、リモートカメラが接触する場合があります。

このような場合、障害物の手前でリミッターを設定することにより、接触を防ぐことができます。

リミッターの位置は、可動範囲の上限・下限・左限・右限の4か所が設定できます。

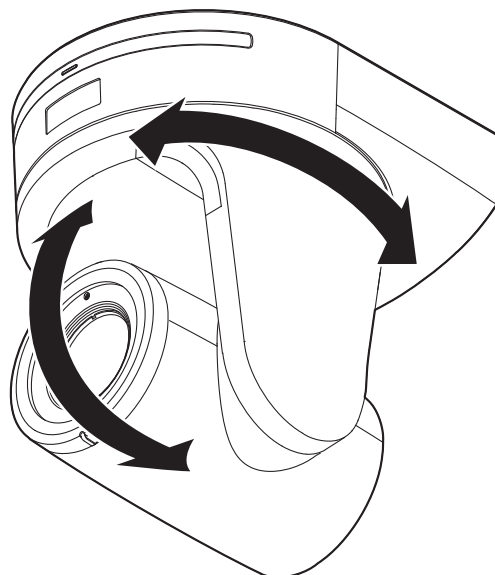
一度設定されたリミッター位置は、電源を切っても消えません。

リミッターの設定と解除は、ワイヤレスリモコンとコントローラーまたはWeb設定画面[Setup]で行うことができます。

最後に行った設定または解除が優先されます。

コントローラーの操作については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ここでは、ワイヤレスリモコンを使ったリミッターの設定について説明します。



リミッターの設定と解除

リミッターの基本操作

1.<MENU> ボタンを押す

短く押してください。2秒間押すとカメラメニューが表示されます。その場合は、再度<MENU> ボタンを2秒間押して、カメラメニューを終了してください。

そのあと手順 **1** からやり直してください。

2.<PRESET> ボタンを押しながら、<▲ / ▼ / ◀ / ▶> ボタンのいずれかを2秒間押す

それぞれ上限、下限、左端、右端のリミッターの設定(または解除)を行います。このときタリーランプが点滅します。設定のときは1回点滅し、解除のときは2回点滅します。

手順 **1** と **2** の間に他のボタン操作を行った場合は、手順 **1** からやり直してください。

リミッターの設定

以下の手順でリミッター位置を設定することができます。設定すると、タリーランプが1回点滅します。

1.<CAM1> ~<CAM4> ボタンのいずれかを押しして本機を選ぶ

・可動範囲の上限位置を設定

ワイヤレスリモコンの<▲>または<▼> ボタンを押し、上限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。(<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▲> ボタンを2秒間押します。)

・可動範囲の下限位置を設定

ワイヤレスリモコンの<▲>または<▼> ボタンを押し、下限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。(<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▼> ボタンを2秒間押します。)

・可動範囲の左端位置を設定

ワイヤレスリモコンの<◀>または<▶> ボタンを押し、左端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。(<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<◀> ボタンを2秒間押します。)

・可動範囲の右端位置を設定

ワイヤレスリモコンの<◀>または<▶> ボタンを押し、右端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。(<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▶> ボタンを2秒間押します。)

リミッターの解除

設定されているリミッター位置を、以下の手順で解除することができます。

解除すると、タリーランプが2回点滅します。

1.<CAM1> ~<CAM4> ボタンのいずれかを押しして本機を選ぶ

2.以下の方法でリミッターを解除する

・可動範囲の上限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。(<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▲> ボタンを2秒間押します。)

・可動範囲の下限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。(<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▼> ボタンを2秒間押します。)

・可動範囲の左端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。(<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<◀> ボタンを2秒間押します。)

・可動範囲の右端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。(<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながら<▶> ボタンを2秒間押します。)

リミッターの再設定

リミッターの再設定をするには、現在設定されている設定を解除する必要があります。

設定されているリミッター位置を以下の手順で再設定することができます。

1.再設定したいリミッター位置の設定を、「リミッターの解除」の手順で解除する

2.「リミッターの設定」の手順で、リミッター位置を設定する

セーフモード

セーフモードについて

本機は、回転台(パン・チルト)が外力によって強制的に動かされたり、回転が阻害されたりしたときにセーフモードになります。セーフモードになると、安全確保および機器の損傷を防止するために、一部またはすべての操作を受け付けなくなります。

機器の異常検知について

本機が異常を検知した場合、機能を停止して再起動、または初期設定動作を行い、30秒程度で通常状態に復帰します。

〈NOTE〉

- ・異常検知すると、映像が出力されなくなることがありますが、5秒～10秒で復帰します。

故障と思ったら

■ 操作関係

症状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	• ACアダプターがACコンセントに確実に接続されていますか？	---
	• ACアダプターの電源プラグが正しく接続されていますか？	---
	• LANケーブルがIP制御用LAN端子<LINK/ACT>に確実に接続されていますか？	P.17
	• PoE+(IEEE802.at準拠)対応の給電装置と本機のネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	施工説明書
	• 複数のPoE+端末を接続できる給電装置によっては、給電できるトータル電力の制限を超えると、電源給電されないものがあります。 → PoE+給電装置の取扱説明書をお読みください。	---
	• コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	施工説明書
	• ワイヤレスリモコンで操作の場合 → 「ワイヤレスリモコンで操作できない」の項目もご覧ください。	---
操作できない (ワイヤレスリモコン、 コントローラー共通)	• 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。	P.24
	• セーフモード機能がはたらいている場合があります。	P.110
	• リミッター機能を設定していませんか？	P.108~P.109
	• 操作したい本機を正しく選んでいますか？	P.25
ワイヤレスリモコンで操作できない	• 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ → ワイヤレスリモコンをワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、状態表示ランプが点滅しない場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。	---
	• IR IDスイッチは正しく設定されていますか？	P.17、P.21
	• 本機の近くに蛍光灯やプラズマモニターがあり、それらからの光がワイヤレスリモコン信号受光部に当たっていませんか？	P.15
コントローラーで操作できない	• コントローラーと正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。	施工説明書
	• AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200をネットワークで接続する場合は、ユーザー認証とホスト認証をOFFにする必要があります。	P.85、P.86
	• 本機に対応するためにコントローラーのアップデートが必要です。 → アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。 日本語 : https://panasonic.biz/cns/sav/ 英語 : https://pro-av.panasonic.net/	---
	• HTTPS接続の場合、AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200をネットワークで接続できません。	P.92、P.97
操作と逆方向に回転する	• 据え置き設定は正しく選択されていますか？	P.55、P.83
	• コントローラーと接続している場合、コントローラー側で逆転の設定がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。	---

症 状	原因・対策	参照ページ
Web ブラウザーからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • IP制御用LAN端子<LINK/ACT>にカテゴリ5以上のLANケーブルは接続されていますか？ 	施工説明書
	<ul style="list-style-type: none"> • IP制御用LAN端子の[LINK] LEDは点灯していますか？ → 点灯していない場合は、LANに正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 LANケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 	施工説明書
	<ul style="list-style-type: none"> • 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。 	P.24
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？ 	P.86
	<ul style="list-style-type: none"> • 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ → 次の方法で接続を確認してください。 【Windows の場合】 Windows のコマンドプロンプトで > ping [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20 分以内にIP 簡単設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更する。 【Mac の場合】 OS X のターミナルで > ping -c 10 [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20 分以内にIP 簡単設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更する。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	P.97
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ → 本機およびアクセス機器(パーソナルコンピューター・携帯端末・コントローラーなど)、他のカメラのIP アドレスを確認してください。 	P.58
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定したサブネットマスクが設置先のネットワークサブネットと一致していますか？ → 本機およびアクセス機器に設定されているサブネットマスクをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	P.58
	<ul style="list-style-type: none"> • Web ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？(本機とパーソナルコンピューターが同一サブネットに接続されている場合) → Web ブラウザーの[プロキシ設定]でプロキシサーバーが設定されている場合は、本機のIP アドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 	---
<ul style="list-style-type: none"> • 本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っていますか？(本機とパーソナルコンピューターが異なるサブネットに接続されている場合) → 本機に設定されているデフォルトゲートウェイをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	P.58	

症 状	原因・対策	参照ページ
Web設定画面 [Setup] の設定値がうまく更新されない、表示されない	<p>【Windowsの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> パーソナルコンピュータのキーボードの [F5] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 <p>【Macの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> パーソナルコンピュータのキーボードの [Command] + [R] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> 以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 <p>【Windowsの場合】</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [削除] ボタンをクリックする。 [閲覧の履歴の削除] ダイアログボックスで、[インターネット一時ファイル] チェックボックスをオンにして [削除] ボタンをクリックする。 [OK] ボタンをクリックする。 <p>【Macの場合】</p> <ol style="list-style-type: none"> Safari で [Safari] - [キャッシュを空にする] を選択する。 [キャッシュを空にしてもよろしいですか?] ポップアップの [空にする] ボタンをクリックする。 	---
	<p>【Windowsの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット一時ファイルの設定において、「保存しているページの新しいバージョンの確認」が「Webサイトを表示するたびに確認する」に設定されていない場合、Web設定画面がうまく表示されないことがあります。 <p>→ 以下の手順を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [設定] ボタンをクリックする。 [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスで、[保存しているページの新しいバージョンの確認] の [Webサイトを表示するたびに確認する] ラジオボタンをオンにする。 [OK] ボタンをクリックする。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 <p>→ 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。</p>	---
設定ファイルのダウンロードができない	<p>【Windowsの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルのダウンロード機能が無効になっていませんか？ <p>→ 以下の手順を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [セキュリティ] タブをクリックし、「このゾーンのセキュリティのレベル」の [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。 [セキュリティ設定] ダイアログボックスで、[ファイルのダウンロード] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 【Internet Explorer 8 のみ】 [ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 [OK] ボタンをクリックする。 [OK] ボタンをクリックする。 	---
タリーランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> [Tally] の設定が [Disable] になっていませんか？ <p>→ [Tally] の設定が [Disable] の場合には、本機のタリーランプは点灯しません。設定を [Enable] に変更してください。</p>	---
状態表示ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> [Status Lamp] の設定が [Disable] になっていませんか？ <p>→ [Status Lamp] の設定が [Disable] の場合には、本機正常動作中の状態表示ランプは点灯しません。設定を [Enable] に変更してください。</p>	P.56、P.84
パーソナルコンピュータや外部機器、リモートコントローラーからの制御が不安定になる	<ul style="list-style-type: none"> Android端末が2台以上接続されていませんか？ <p>→ Android端末では、本機に同時接続できる台数は1台のみです。</p>	---
認証画面が連続して表示される	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ <p>→ 本機にアクセス中に、別のWebブラウザでログイン中のユーザーのユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り替えたりするたびに、認証画面が表示されます。Webブラウザを閉じて、本機にアクセスし直してください。</p>	P.85、P.86
	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー認証方式の設定を変更していませんか？ <p>→ [User auth.] - [Authentication] の設定を変更した場合は、Webブラウザを閉じて、アクセスし直してください。</p>	P.85

症 状	原因・対策	参照ページ
画面表示に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPSモードでアクセスしていませんか？ HTTPSでは、復号処理のため、表示が遅くなります。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？ → プロキシを経由しないようにWebブラウザの設定を行ってください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照していませんか？ → 複数のユーザーが同時に本機のIP映像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、IP映像の更新速度が遅くなったりする場合があります。 	---
携帯端末からカメラにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • URLが間違っている、または、URLの最後に「/mobile」が未入力になっていませんか？ → URLが正しく入力されているか確認してください。携帯端末から本機にアクセスする場合は、パーソナルコンピューターからアクセスするとき使用するURLの最後に「/mobile」と入力する必要があります。 	P.103
	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯端末のHTTPSのSSL暗号方式が本機と異なっていませんか？ → 本機の[HTTPS] - [Connection]を[HTTP]に設定して、再度アクセスしてください。 	P.92
	<ul style="list-style-type: none"> • HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	P.106
パーソナルコンピューターの[ネットワーク]にカメラのショートカットアイコンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • UPnPのWindowsコンポーネントが追加されていますか？ → お使いのパーソナルコンピューターに、UPnPのWindowsコンポーネントを追加してください。 	P.91

■ 映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	• 接続した機器と正しく接続されていますか？	施工説明書
	• 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？	P.25
	• 映像信号設定は正しく選択されていますか？	P.53、P.82
	• 設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力していますか？	P.17
映像が上下逆になる	• 据え置き設定は正しく選択されていますか？	P.55、P.83
複数の色の帯(カラーバー)が表示される	• カメラ映像に切り替えてください。	P.28
メニュー画面が表示される	• カメラメニューを終了してください。	P.36~P.44
メニュー画面が見にくい	<ul style="list-style-type: none"> • お使いのHDMIモニターによっては、下記のような現象が見られる場合があります。特にSDフォーマットでは、この現象が顕著に見られますが、異常ではありません。 • カメラメニュー表示の文字の解像度が背景の映像変化によって変化する • モニター側の輪郭強調によって、カメラメニューの黒影の前に白い線が出る • モニター側の輪郭強調によって、カメラメニューの白部分に背景の色が載る 	---
自動でフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none"> • フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。 	P.28
	<ul style="list-style-type: none"> • 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はマニュアル設定にして手でフォーカスを合わせてください。 	P.29
マニュアルフォーカスのとき、ズームでフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none"> • テレ端でフォーカスは調整されましたか？ → フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス調整後、ズームしてください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 使用条件によっては、フォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はフォーカスをオート設定で使用してください。 	P.28
ナイトモードでフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none"> • 可視光で撮影していませんか？ → 可視光と赤外線では屈折率の違いによりフォーカス位置が異なります。本機では、ナイトモード時は波長900 nm付近の赤外線を想定しています。 必要に応じてマニュアル調整を実施してください。 	P.29
1080/59.94pで映像が出力されない	<ul style="list-style-type: none"> • Format設定で[59.94p]に設定されていますか？ → Format 設定をしてください。 	P.53、P.82
1080/29.97PsF時に映像がカクカクした感じに見える	<ul style="list-style-type: none"> • 正常に動作しています。 → PsF(Progressive segmented Frame)方式では、1フィールドと2フィールドの両方に同じ画を収録することでプログレッシブと同様の映像を出力しますので、若干カクカクした感じに見えることがあります。 	---
映像の色がおかしい	• ATW(自動追尾式ホワイト調整)を有効にしてください。	P.32
	<ul style="list-style-type: none"> • 場面によってはATWでは正しい色にならない場合があります。 → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。 	P.31~P.32
映像が明るすぎる、または暗すぎる	• アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手で調整してください。	P.29
	• アナログ映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。	---
映像が白黒になる	<ul style="list-style-type: none"> • ナイトモードになっていませんか？ → ナイトモードでは出力は白黒になります。 	P.47、P.77
ホワイトバランス自動調整(AWB)ができない	<ul style="list-style-type: none"> • ナイトモードになっていませんか？ → ナイトモードではホワイトバランス自動調整(AWB)はできません。 	P.47、P.77

故障と思ったら (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
ナイトモードで画面が明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ナイトモードでは、盗撮防止のため絞りは開放に設定されます。光源側で明るさを調整してください。 	P.29
ナイトモードでアイリスが操作できない		
被写体がゆがんで見える	<ul style="list-style-type: none"> 本機はMOS撮像素子を使用しており、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、被写体がすばやく横切った場合、ゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。 	---
撮影中にフラッシュをたくと、画面の上側あるいは下側だけが明るくなる	<ul style="list-style-type: none"> MOS撮像素子では、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、フラッシュをたくとそのフィールドでは下側が明るくなり、次のフィールドでは上側が明るくなります。これは故障ではありません。 	---
明るさが周期的に変わったり、色が変化したり、横じまが流れて見えたりする	<ul style="list-style-type: none"> 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下で発生することがあります。(フリッカー) このようなときは電子シャッタースピードを、電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをお勧めします。 	---
細かい線や周期的な模様を撮影したとき、ちらついて見えたり、色がついたりする	<ul style="list-style-type: none"> 撮像素子上で画素が規則正しく配列されているため発生します。被写体の空間周波数と画素ピッチが近づくと目立ちますので、アングルを変えるなどしてください。 	---
音声入力にノイズが発生する	<ul style="list-style-type: none"> 以下のことが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - カメラ、スイッチングハブ、周辺機器のアースが接地されていない - 電力線などが近くに配線されている - 周辺に、強い電界や磁界を発生する機器がある(テレビやラジオの送信アンテナ、エアコンのモーター、電源トランスなど) <p>周辺機器の見直しで改善されない場合は、アンプ付きマイクを使用するか、出力インピーダンスの低いオーディオ出力を接続してください。</p>	P.7

■ IP映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
画像が表示されない	【Windows の場合】 ・表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ → 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	P.23
	【Windows の場合】 ・インターネット一時ファイルの設定において、「保存しているページの新しいバージョンの確認」が「Webサイトを表示するたびに確認する」に設定されていない場合、ライブ画面 [Live] のIP映像が表示されないことがあります。 → 以下の手順を行ってください。 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、「閲覧の履歴」の[設定]ボタンをクリックする。 ③ [インターネット一時ファイルと履歴の設定]ダイアログボックスで、「保存しているページの新しいバージョンの確認」の[Webサイトを表示するたびに確認する]ラジオボタンをオンにする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。	---
画像がぼやける	・フォーカスは正しく調節されていますか？ → フォーカス調節を確認してください。	---
画像が更新されない	・ご使用のWebブラウザやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。 ・ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。 ・本機のIP映像設定を変更した場合、一時的に画像の表示が止まる場合があります。 → マルチスクリーン表示を含む、本機へのアクセス状況を確認し、中断可能なアクセスを停止してください。 その後、以下の手順を確認してください。 【Windowsの場合】 パーソナルコンピューターのキーボードの[F5]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 【Macの場合】 パーソナルコンピューターのキーボードの[Command] + [R]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 【携帯端末の場合】 WEBブラウザの[更新]ボタンを押すなどして画面の更新を実施し、設定値の取得要求を行ってください。	---
画像がうまく更新されない、表示されない	・以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 【Windowsの場合】 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、「閲覧の履歴」の[削除]ボタンをクリックする。 ③ [閲覧の履歴の削除]ダイアログボックスで、「インターネット一時ファイル」チェックボックスをオンにして[削除]ボタンをクリックする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。 【Macの場合】 ① Safariで[Safari] - [キャッシュを空にする]を選択する。 ② 「キャッシュを空にしてもよろしいですか？」ポップアップの[空にする]ボタンをクリックする。	---
	・以下の手順で、Wi-Fiの再設定を行ってください。 【携帯端末(iOS)の場合】 [設定]アイコン - [一般] - [リセット]から、[ネットワーク設定をリセット]を実行後、新たにWi-Fi設定を行ってください。	---
	・ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	---
H.264画像が表示されない	・表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.264画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。	---
	・インターネット経由でカメラとパーソナルコンピューターを接続していませんか？ → [Internet mode(over HTTP)]の設定を[On]にします。	P.72

症 状	原因・対策	参照ページ
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> • 伝送路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されず、映像が乱れる場合があります。 → ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> • 伝送路にて映像パケットの順序入替が発生し、映像が乱れる場合があります。 → インターネットサービスプロバイダーを、カメラ側とパーソナルコンピュータ側で同一のものにすることで回避できる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 	---
携帯端末で、しばらく放置すると画面が暗くなる	<ul style="list-style-type: none"> • 携帯端末の省電力機能がONになっていませんか？ → 携帯端末の省電力機能をOFFにして、常に画像が表示されるようにしてください。 	---
複数のWeb ブラウザーを起動してH.264画像を表示したとき、1つのWeb ブラウザーに複数のカメラ画像が切り替わり表示される	<p>[Windows の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> • パーソナルコンピュータのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 → この現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 それでも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Windows 7を例に説明します。ご使用の環境によっては、設定を変更できない場合もあります。 <ol style="list-style-type: none"> ① デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから[画面の解像度]を選択する ② [詳細設定]をクリックする ③ [トラブルシューティング]タブを選択し、[設定の変更]をクリックする ④ [ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックする(管理者アカウント以外でログオンしている場合は、パスワードおよび、必要に応じてユーザー名も入力し、[はい]をクリックする) ⑤ [ハードウェアアクセラレータ]の項目を一番左の[なし]に変更し、[OK]ボタンをクリックする 	---
NDI HX対応スイッチャーで映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • [IP映像設定タブ [Video over IP]]の各種設定値が変更されている可能性があります。 → [Parameter Setting]の[Parameter]項目で[NDI HX]を選択することで、[Video over IP]の各種設定値をリセットしてください。 	P.72~P.74
	<ul style="list-style-type: none"> • [ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]]の [RTSP] 項目の [RTSP port] や [RTSP Request URL (1) ~ (4)] の設定値が変更されている可能性があります。 → 工場出荷時の設定に戻してください。 	P.93
	<ul style="list-style-type: none"> • [ユーザー認証設定画面 [User auth.]]の [User auth.] が [On] に設定されている可能性があります。 → 設定を [Off] に戻してください。 	P.85
NDI HX対応スイッチャーで音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • [音声 [Audio]]の [Audio encoding format] が [G.726] に設定されている可能性があります。 → 設定を [AAC-LC(High quality)] に戻してください。 	P.75

■ Web画面

お使いのパーソナルコンピュータのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えることはありません。

【Windowsの場合】

下記の説明で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerに表示されるメッセージバーのことです。

Internet Explorer 9.0/10.0/11.0の場合：

「情報バー」は、Internet Explorerの下方に表示されます。



Internet Explorer 8.0の場合：

「情報バー」は、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されます。



症 状	原因・対策	参照ページ
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • [許可 (A)] を選択してください。 	---
<p>【Internet Explorer 8.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください…」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 情報バーをクリックし、[このサイトのポップアップを常に許可 (A)…] を選択してください。「このサイトのポップアップを許可しますか？」画面が表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>【Internet Explorer 9.0/10.0/11.0】 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcV4SSetup.exe' アドオンをインストールしようとしています。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • [インストール (I)] を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする (I)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>【Internet Explorer 8.0】 下記メッセージの情報バーが表示される 「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります：'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcV4SSetup.exe' をインストールするには、ここをクリックしてください…」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 情報バーをクリックし、[ActiveXコントロールのインストール (C)…] を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする (I)] ボタンをクリックしてください。 	---
<p>ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] を選択します。[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリックしてください。 	---

故障と思ったら (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
IP映像が表示用の枠と一致していない	<ul style="list-style-type: none"> • 画像のDPI設定が120 DPI以上に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → パーソナルコンピュータ画面上で右クリックし、「画面の解像度」-「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックし、「小-100%(規定)」に設定してください。 	----
	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorerのズーム機能における拡大レベルが100%以外に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → Internet Explorerのメニューバーから「表示(V)」-「拡大(Z)」を選択し、「100%」をクリックしてください。 	----
画面レイアウトが崩れている、または画面の一部のボタンが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorerのメニューバーから「ツール(T)」-「互換表示設定(B)」を選択し、本機を互換表示しないように設定してください。 	----

保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品 8年

当社では、HDインテグレートッドカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス(保守・点検)

定期メンテナンス(保守・点検)は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。


■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	HDインテグレートッドカメラ
品番	AW-HN130W AW-HN130K
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

電源電圧: DC === 12 V (ACアダプター付属)
DC === 42 V - 57 V (PoE+電源)
消費電流: 1.8 A (ACアダプター付属)
0.6 A (PoE+電源)

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C

保存温度 : -20 °C ~ 50 °C

許容湿度 : 20 % ~ 90 % (結露なきこと)

質量 : 約3.1 kg (取付金具含む)

寸法(幅 × 高さ × 奥行)

: 180 mm × 228 mm × 234 mm
(突起部、飾りカバー、天井直付金具を除く)

仕上げ : AW-HN130W: パールホワイト
AW-HN130K: メタリックブラック

対応コントローラー

: AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200
・コントローラーは、本機に対応するためのアップデートが必要です。アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートデスクを参照してください。
日本語 : <https://panasonic.biz/cns/sav/>
英語 : <https://pro-av.panasonic.net/>

■ 入力

入力端子 : DC 12 V IN、
G/L IN (BNC)
・BBS (Black Burst Sync)、
3値同期に対応
・BBSではカラーサブキャリアにはロックしません。
PoE+(IEEE802.3at準拠)

■ 出力

映像出力

HDMI : HDMIコネクター
・HDCPには対応していません。
・ピエラリンクには対応していません。

HD/SD SDI OUT

: SMPTE424/SMPTE292/SMPTE259準拠
75 Ω (BNC × 1)

VIDEO OUT : NTSC/PAL

1.0 V [p-p]/75 Ω (BNC × 1)

■ 入出力

入出力端子

LAN : IP制御用LAN端子 (RJ-45)

RS-422 : CONTROL IN RS-422A (RJ-45)

マイク/ライン入力

・φ 3.5 mmステレオミニジャック
入力インピーダンス: ハイインピーダンス
・マイク入力時
使用可能マイク : ステレオマイク
(プラグインパワー方式対応、
メニューにてOn/Off)
供給電圧 : 2.5 V ± 0.5 V
マイク入力感度 : 約-40 dBV ± 3 dBV
(0 dB=1 V/Pa、1 kHz)
・ライン入力時
入力レベル : 約-10 dBV ± 3 dBV

■ 機能/性能

[カメラ部]

撮像素子 : 1/2.86型Full-HD 3MOS

レンズ : 電動20倍ズームF1.6~F3.4
(f=4.5 mm~90 mm
35 mm換算 : 32.13 mm~642.5 mm)

フォーカス : オート/マニュアル切り替え

フォーカス距離 : ズーム全域 : 800 mm
Wide端 : 400 mm

色分解光学系 : 3MOS

最低照度 : 2 lx(50 %, F1.6、36 dB)

水平解像度 : 1000 TV本Typ (中心部)

ゲイン切り替え : Auto、0 dB ~ 36 dB

フレームミックス

: 0 dB、6 dB、12 dB、18 dB、24 dB
・1080/29.97p、1080/23.98p、
1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、
1080/25p、1080/25PsFフォーマットのど
きは設定できません。

電子シャッター :

・59.94p/59.94i時
1/100、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
・29.97p時
1/30、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
・23.98p時
1/24、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
・50p/50i時
1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、
1/2000、1/4000、1/10000
・25p時
1/25、1/60、1/120、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、1/10000

定格 (つづき)

シンクロスキャン：

- 59.94 Hz時
60.15 Hz～642.21 Hz
- 50 Hzの時
50.15 Hz～535.71 Hz

ガンマ : HD、SD、FILMLIKE1、FILMLIKE2、FILMLIKE3
0.30～0.75 (マニュアル設定)

ホワイトバランス

: AWB A、AWB B、ATW、3200K、5600K、
VAR (2000K～15000K)

クロマ量可変 : OFF、-99%～40%

シーンファイル : Scene1、Scene2、Scene3、Scene4

出力フォーマット

: 1080/59.94p、1080/29.97p*¹、
1080/23.98p*³、1080/59.94i、
1080/29.97PsF*³、1080/23.98PsF、
720/59.94p、480/59.94p(i)*²、1080/50p、
1080/25p*¹、1080/50i、1080/25PsF*⁴、
720/50p、576/50p(i)*²

*¹ Native出力

*² 480/59.94p(i)、576/50p(i)の場合、HDMI出力
にはP信号を出力、SDI出力にはI信号を出力します。

*³ OVER 59.94i出力 (ご使用になるモニターは、
59.94iの信号として認識されます)

*⁴ OVER 50i出力 (ご使用になるモニターは、50iの信
号として認識されます)

同期方式 : 内部/外部同期 (BBS/3値同期)

【回転台部】

据付方法 : 据え置きまたは吊り下げ
• 安全のため、指定の取付金具にて
固定が必要です。

カメラ/回転台コントロール：

IP接続ケーブル	<ul style="list-style-type: none">• PoE+イーサネットハブありの場合 LANケーブル*⁵ (カテゴリー5e以上、ス トレートケーブル) 最大100 m• PoE+イーサネットハブなしの場合 LANケーブル*⁵ (カテゴリー5以上、ス トレートケーブル) 最大100 m
RP接続ケーブル	LANケーブル* ⁵ (カテゴリー5以上、ストレ ートケーブル) 最大1000 m RS-422A AWシリーズプロトコル

*⁵ STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

PAN/TILT動作スピード

: 0.08°/s～60°/s

PAN動作範囲 : ±175°


TILT動作範囲 : -30°～210°

- PAN、TILTの位置によっては、本体が映像に映り
こむことがあります。

静粛性 : NC35以下

■ ACアダプター


入力 : AC (～) 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz、1.2 A
出力 : DC (==) 12 V、3.0 A、36 W

 は安全項目です。

付属のACコードは、定格がAC 125 V以下です。
AC 100 Vのコンセントに接続してください。

海外で使用する場合は、その国に合ったACコードを準備してくだ
さい。

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

～ AC (交流)
== DC (直流)
 クラスII 機器 (二重絶縁構造)

数字

3200K	32
5600K	32

A

ABB	78
Access level	86
Activation	87, 100
Advanced	90
AGC Max Gain	47, 76
ATW	32
Audio	56, 75
Audio bit rate	75
Audio encoding format	75
Audioボタン	67
Authentication	85
Automatic installation of viewer software	70
Auto port forwarding	91
AWB	31, 78

B

Back up	102
Bandwidth control (bit rate)	89
Basic	70
B Gain	48, 78
B Pedestal	48, 78
Brightness	46, 47, 67, 76, 81
Burst tolerance level	73

C

CA Certificate	
CA Certificate install	92, 97
Generate Certificate Signing Request	92, 96
Information	92
CAM/BAR	65
Camera	45, 46
Camera short cut	91
Camera title	70, 85
Chroma Level	48, 78
Color Bars Setup	53, 83
Color Correction	50, 51, 80
COLOR TEMP	38, 40
Color Temperature	48, 78
Common	88
Compression	65
Config data type	102
Connection	92, 97
Contact	93
Control time period	73
CPU Software	
Camera Main	57, 100
Interface	57, 100
Network	57, 100
Servo	57, 100
CRT key generate	91, 95

D

Day/Night	47, 77
DC IN端子	17
Default gateway	88
Default Gateway	58
Default reset	102
Description	100
Destination IP address (1)	87
Destination IP address (2)	87
Detail	48, 78
Detail Band	48, 78

D.EXTENDER	39, 41
DHCPv6	88
Diffserv	93
Digital Extender	55, 84
Digital Zoom	55, 83
DNR	49, 79
DNS	88
Down CONV. Mode	53, 82
Download	102
DRS	48, 79
DSCP(0-63)	93

E

Easy IP Setup accommodate period	89
EEPROM	
Interface	57, 100
End time & date	91

F

Firmware file	100
Firmware VER	57
Firmware version	100
Firmware Version	57
Flesh Tone Noise SUP.	78
FleshTone NoiseSUP.	48
Flip Detect Angle	55, 83
Focus	66, 81
Focus ADJ With PTZ.	55, 81, 83
Focus Mode	55, 83
Format	53, 54, 82
FPGA	
AVIO	57, 100
Com	57, 100
Lens	57, 100
Frame Mix	47, 77
Frame rate	73
FREEZE DURING	39, 41
Freeze During Preset	55, 81, 83
Frequency	53, 54, 82

G

Gain	47, 76
Gamma	48, 79
Gamma Type	48, 78
Genlock	52, 82
G/L IN端子	17

H

H.264(1) · H.264(2) · H.264(3) · H.264(4)	72
H.264 transmission	72
HDMI Out	56, 84
HDMI端子	17
Horizontal Phase	52, 82
Horizontal Phase Step	52
Host auth.	86
Host check	86
HTTP max segment size(MSS)	89
HTTP port	88
HTTPS	91, 94, 97
HTTPS port	92

I

Image	71
Image adjust	75, 76
Image capture size	72, 73
Image Capture Size	65
Image / Position	75
Image quality	65, 72, 73

Image quality (JPEG)	72
Image Save	81
Initial display settings for "Live" page	71
Initialize	57, 58
Input Volume	56
Install Position	55, 83
Internet mode (over HTTP)	72
IP	56, 84
IP address	84, 86
IP Address	58
IP address(IPv4)	88
IP address (IPv6)	88
IP Network	57, 58
IPv4 network	88
IPv6 network	88
IP簡単設定ソフトウェア	22
IP制御用LAN端子	17
IR IDスイッチ	17, 21
Iris Mode	46, 76

J

JPEG	72
JPEG transmission	72

K

Knee Mode	49, 79
Knee Point	49, 79
Knee Slope	49, 79

L

Limitation Setting	81
Linear Matrix	50, 80
Line speed	89
Live	63, 64, 68
Location	93

M

MAC address	100
Maintenance	45, 57, 100
Manual	88
Master Detail	48, 78
Matrix	46, 49, 50, 51
Matrix Settings	79
Matrix Type	49, 80
Max bit rate (per client)	73
Max Digital Zoom	55, 83
Max RTP packet size	89
Mic input interval	75
Mic input volume	75
Model no.	100
Model Select	84
Multicast address	74
Multicast port	74
Multicast TTL/HOP Limit	74
Multi-screen	65, 68
Multi-screen setup	84

N

ND Filter	47, 77
Network	87
Network Settings	88
No	100
Noise Suppress	48, 78
NTP	90
NTP port	91
NTP server address	90
NTP server address setting	90

O

OIS	39, 41, 55, 84
Op. Lock	66
OSD Menu	65
OSD Menu Operation	65
OSD Mix	56, 84
OSD Off With Tally	56, 84
OSD Status	56, 84
Others	52, 55, 56, 83
Output	52, 53, 82

P

Parameter	72
Parameter Setting	72
Password	86
Pedestal	48, 78
Phase	50, 51, 80
Picture	46, 48, 49, 77
Picture Level	46, 76
Plugin Power	56, 75
Port number(HTTP)	101
Port number(HTTPS)	101
Power ON	66, 70
Preset	67, 80
Preset D-Extender	55, 83
Preset position	75, 80
Preset Scope	55, 81, 83
Preset Setting	81
Preset Speed	55, 81, 83
PRESET SPEED	39, 40
Preset Speed Table	55, 81, 83
Primary DNS server address	88
Primary server address	88
Priority stream	87
Product info.	100
Protocol Model Select	56

R

Reboot	102
Recommended network setting for internet	90
Refresh interval	74, 87
Refresh interval (JPEG)	72
Reset to the default (Except thenetwork settings)	102
Retype password	86
R Gain	48, 78
Router global address	101
R Pedestal	48, 78
RS-232C通信端子	17
RS-422端子	16
RTSP	93
RTSP port	93
RTSP Request URL	93

S

Saturation	50, 51, 80
Scene	46, 67, 76
SDI Out	56, 84
SDI OUT端子	17
Secondary DNS server address	88
Secondary server address	88
Self-signed Certificate	
Generate	92, 95
Information	92
Serial no.	100
Setup	63, 69
Shutter Mode	46, 76
Smart Picture Flip	55, 83
Smoother live video display on the browser (buffering)	70

SNMP	92	Wireless Control	56
SNMPv1/v2		Z	
Community	93	Zoom	66, 81
SNMPv3		あ	
Authentication	93	アイリス	29, 105
Encryption method	93	い	
Password	93	色温度	38, 40
User name	93	お	
SNMP version	92	音声入力端子	17
Speed	67, 81	か	
Speed With Zoom POS.	55, 81, 83	解像度	104
Standby	66, 70	外部同期信号入力フォーマット	17
Start time & date	91	各映像フォーマット時の同時出力条件	18
Status	100, 101	飾りカバー固定用ねじ穴	17
Status Lamp	56, 84	飾りカバーツメ用角穴	17
Step/Synchro	46	カメラ台座部固定用穴	16
Stream	65, 71	カメラタイトル表示部	67
Stream Menu	65	カメラ取り付け用ねじ穴	17
Stream Type	87	カメラヘッド部	16
Subnet mask	88	カメラメニュー	38, 40, 45, 59, 106
Subnet Mask	58	く	
Summer time(daylight saving)	91	黒レベル	34
System	45, 52, 82	け	
System log	100	ゲイン	29
System name	93	ケーブル抜け止めクランプ	17
T		ゲンロック	35
Tally	56, 84	こ	
Tally Brightness	56, 84	光学式画揺れ補正機能	39, 41
Time adjustment	90	コントロールパッド/ボタン	67, 81
Time adjustment interval	91	さ	
Time & date	70, 100	サービススイッチ	17
Date/time	70	撮影	24, 27
End time & date	70	撮影モード	26
NTP	70	し	
Start time & date	70	シーンファイル	26
Summer time (daylight saving)	70	システムログ	107
Time zone	70	自動追尾式ホワイト調整	32
Time zone	91	シャッタースピード	29
Top Menu	45	周波数	54
Transmission priority	73	状態表示ランプ	16
Transmission type	74	初期化	58
U		シングル表示モード	64
Unicast port1 (Image)	74	す	
Unicast port2 (Audio)	74	水平位相調整	35
Upload	102	ズーム	103
UPnP	91, 101	スナップショットボタン	67
User auth.	85	せ	
User check	86	セーフモード	110
User mng.	85	セキュリティ証明書	98
User name	85	接続機器表示	67
USER ボタン	39, 41	接地	7
V		接地端子	17
VAR	32	設置面用取付金具	16
V Detail Level	48, 78		
Video Out	56, 84		
VIDEO OUT 端子	17		
Video over IP	71		
Viewer software installation counter	100		
W			
Web 画面	62		
Web 設定画面	63, 69		
White Balance Mode	48, 78		
White Clip	49, 79		
White Clip Level	49, 79		

さくいん (つづき)

設定	36
全画面表示ボタン	67

た

タリーランプ	16, 106
--------------	---------

ち

チルト	103
チルトヘッド部	16

て

デイモード	38, 40
デジタルエクステンダー	39, 41
電源	24

と

盗難防止ワイヤー取り付け穴	17
---------------------	----

な

ナイトモード	38, 40
--------------	--------

は

パン	103
----------	-----

ひ

表示用プラグインソフトウェア	23
----------------------	----

ふ

フォーカス	29, 105
付属品	12
ブラックバランス	33
プリセット	104
プリセットスピード	39, 40
プリセットメモリー	30

へ

別売品	12
-----------	----

ほ

ホワイトバランス	31
----------------	----

ま

マスターペダスタル	34
マニュアル撮影	29
マルチ表示モード	68

め

メインエリア	66, 70
--------------	--------

ら

ライブ画面	63, 64, 68
落下防止ワイヤー	16

り

リミッター	108, 109
リモコンID	21

わ

ワイヤレスリモコン	15, 19, 21
ワイヤレスリモコン信号受光部	16

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

©Panasonic Corporation 2018